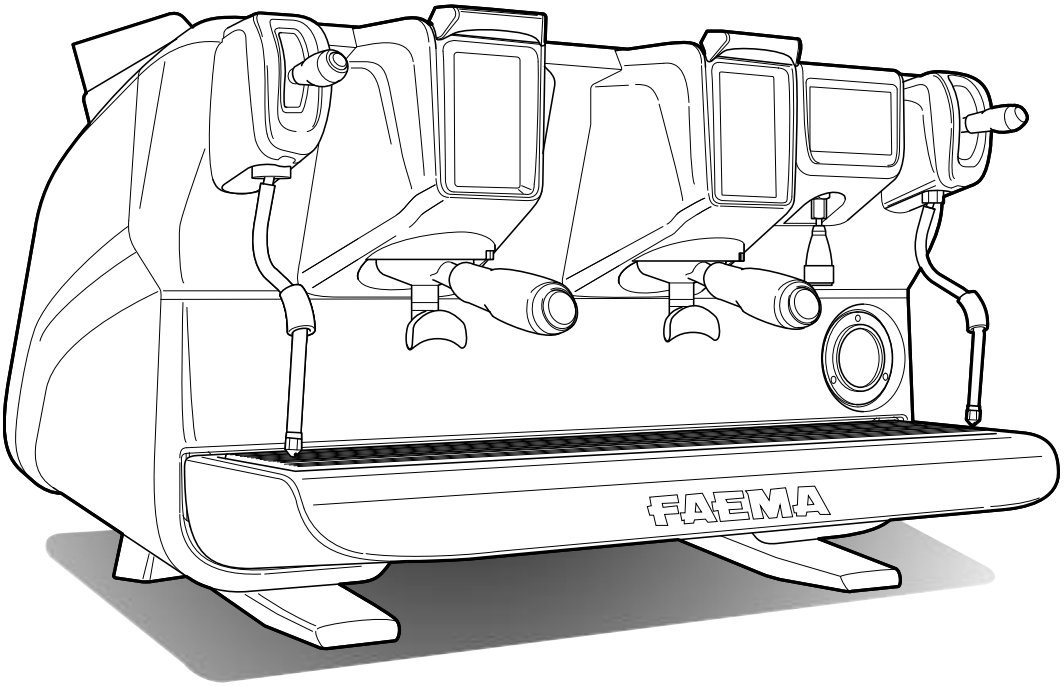
エスプレッソコーヒーマシン 【ファエマ】

FAEMA

取 扱 説 明 書

お客様用

型式：E71GTI A/2
E71GTI A/3
（業務用）



このたびは、当社のエスプレッソコーヒーマシンをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。
必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

据付説明付

もくじ

安全上のご注意 ..... 1～8

各部の名称とはたらき ..... 9～12
- 本体 ..... 9・10
- タッチパネル ..... 11・12

使用前の準備 ..... 13～15
- 電源を入れる前に 13
- カップの保温 13
- 電源の入れかた ..... 13～15

各メニューの抽出のしかた ..... 16～27
- エスプレッソコーヒーの抽出のしかた ..... 16～21
- 熱湯の出しかた ..... 22・23
- 蒸気の使いかた ..... 24～27
  - 蒸気ノズルを使って飲料を温める ..... 25～27

洗浄、清掃のしかた ..... 28～45
- 洗浄と清掃の一覧 28
- 営業中に随時おこなってください ..... 29・30
  - 蒸気ノズルの洗浄 ..... 29・30
- 終業時に毎日おこなってください ..... 31～46
  - エスプレッソ抽出器の手動洗浄 ..... 31～33
  - エスプレッソ抽出器の自動洗浄 ..... 34～42
  - 蒸気ノズルの洗浄 43
  - 熱湯ノズルの洗浄 43
  - ドレンプレート、ドレンパンの洗浄 ..... 44～45
- 週に２～３回おこなってください 46
  - 本体外装の清掃 46

お手入れと点検 ..... 47・48

プログラム設定について ..... 49～90
- プログラム設定画面 ..... 49・50
- プログラム設定のメニュー ..... 51～57
- 日付の設定 ..... 58・59
- 時刻の設定 ..... 60・61
- 自動ON・OFFタイマーと定休日の設定 ..... 62～64
- 言語の選択 65
- エスプレッソコーヒー抽出杯数および熱湯の使用回数の管理 ..... 66～68
- 各エスプレッソ抽出アイコン、エスプレッソ抽出レバー、および各熱湯取出しアイコンの使用回数の管理 ..... 69～71
- エスプレッソコーヒー抽出量と蒸らし時間の変更（数値で変更する方法） ..... 72～74
- エスプレッソコーヒー抽出量と蒸らし時間の変更（エスプレッソコーヒーを抽出しながら設定する方法） ..... 75～78
- 熱湯の取出量と取出温度の変更 ..... 79・80
- 機械を省電力モードにする 81
- 洗浄時刻の設定 ..... 82～84
- カップウォーマーの温度設定 ..... 85・86
- コーヒーボイラーの温度設定 ..... 87・88
- エスプレッソ抽出器下部と背面パネルの照明の設定 ..... 89・90

テクニカルモードのプログラム設定 ..... 91～96
- プレインフュージョン時間の設定変更 ..... 91～93
- 右端のエスプレッソ抽出器の「レシピ」を他のエスプレッソ抽出器にコピー ..... 94～96

その他の機能 ..... 97・98
- コーヒーボイラーの電源OFF機能（省電力） 97
- メインボイラー圧力のグラフィックメーター表示 98

据え付けについて ..... 99～115
- 据付工事 ..... 99～103
- 据付け ..... 104～113
- 据付後の動作確認 ..... 114・115

仕様 116

商品保証書 117

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください

表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警 告

専門業者

据付工事は、お買上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。

アースとる

アースを必ずとること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電、火災の原因になります。

屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。

湿気禁止

湿気の多い所や、水などがかかり易い場所で使用しないこと

本体や電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。

水掛け禁止

本体に直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

禁止

電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、ショート、感電、火災の原因になります。

禁止

電源コードや電源プラグが破損している場合は使用しないこと

そのまま使われますと、ショート、感電、火災の原因になります。

点検清掃

電源プラグ使用の場合、電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着した場合や、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。

⚠ 警 告

連絡

漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。

接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

やけどや感電の恐れがあります。

ガス栓閉

ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓をあけて換気すること

本機の電源スイッチを「ON（入）」にしたり、電源プラグを抜いたり（電源プラグ使用の場合）すると、引火爆発し危険です。

濡手禁止

濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、本機の電源スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

ノズル確認

蒸気レバーを操作するときは、蒸気ノズルがドレンプレートに向いているか確認すること

ノズル先端に人の手などがあると、蒸気レバーを操作した場合、やけどの原因になります。

ノズル下ろす

蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れずに元の位置（ドレンプレートに向ける）に下ろしておくこと

誤って蒸気レバーを操作した場合、やけどの原因になります。

禁止

顔や手、または人に蒸気ノズルを向けないこと

蒸気がかかると、やけどの原因になります。

ドレンプレート

コーヒー、蒸気、熱湯を取り出す場合、必ずドレンプレート上に容器を置くこと

容器を手に持ったまま取り出すと、やけどの原因になります。

洗浄

蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること

洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

禁止

蒸気ノズルは、洗浄剤の入った希釈液に漬け置きしたまま機械の電源を切らないこと

機械内部の温度が低下したときに蒸気を出すと、機械内部に希釈液を吸い込む恐れがあり、健康障害の原因になります。

⚠ 警 告

注意

メインタッチパネルのメインボイラー圧力の表示が1.6bar以上になるときは電源を切ること

メインボイラー圧力の適正範囲は1.0～1.4barです。漏電、ショート、感電の原因になります。

接触禁止

蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと

蒸気ノズルの金属部分に直接触れると、やけどの原因になります。

専用電源切

自動洗浄以外の清掃や点検のときは、必ず電源スイッチを『OFF（切）』にして、本機専用電源も切ること

感電、やけどの原因になります。

禁止

電源プラグを使用している場合、プラグを抜く時は、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

異常時は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグ使用の場合は電源プラグを抜くか、本機専用電源を『OFF(切)』にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。

禁止

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理したりしないこと

やけどや感電をしたり、修理に不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。

改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。

専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に連絡すること

据え付けに不備があると、水漏れや漏電、ショート、感電、火災などの原因になります。

専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注 意

水平据付

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついていたり、かたむいていたりすると水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になります。

防水処置

水をこぼしてもよい所に据え付けること

使用中にミルクや湯などが周囲に飛び散り、床面などを濡らします。
濡れると不都合な所には、据え付けないでください。

相談

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

凍結により給水管が破裂した場合、周囲を濡らす原因になります。
凍結の恐れがある場所へ据え付けされる場合は、お買上げ店にご相談ください。

飲料水

給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること

飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。

禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器などを置かないこと

落下するとケガをしたり、水がこぼれて機械内部に入った場合、電機部品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。

可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機の電源スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると、発火の原因になります。

禁止

本体にもたれたり、乗ったりしないこと

やけどや製品転倒によるケガの原因になります。

専用電源切

点検するときは、必ず電源スイッチを切って、電源プラグを使用の場合は電源プラグを抜くか、本機専用電源を『OFF（切）』にすること

感電、ケガの原因になります。

排水点検

排水管に詰まりがないか始業時に点検をおこなうこと

排水管が詰まると、排水が流れず周囲を濡らす原因になります。

断水時閉弁

断水のときは、電源スイッチを『OFF（切）』にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時、不衛生な水が機械に給水されます。

⚠ 注 意

水入れ替え

断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になります。

水分禁止

カップウォーマー部にカップを置くとき、カップの水分を十分に拭き取ること

水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります

禁止

エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないこと

やけどの原因になります。

注意

エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること

手などにかかりますと、やけどの原因になります。

注意

熱湯を出す場合は、飛び散ることがあるので注意すること

やけどする恐れがあります。

注意

蒸気ノズルの蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜くときは、熱湯が勢いよく飛び出るので注意すること

熱湯が手などにかかりますと、やけどの原因になります。

耐熱容器

飲料を温めるときの容器は、耐熱性のあるものを使用すること

熱で容器が変形や破損した場合、やけどの原因になります。

冷めるまで待つ

使用中や使用直後、カップウォーマー周辺は熱くなっているため、カップウォーマーに触る場合は、冷めるのを待ってから触ること

冷めていない状態で触ると、やけどの原因になります。

熱湯注意

エスプレッソ抽出器と抽出容器を洗浄する際は、熱湯が手にかからないようにすること

やけどする恐れがあります。

注意

エスプレッソ抽出容器の洗浄後、中に熱湯が残っていることがありますので手などにかからないように注意すること

やけどの原因になります。

⚠ 注 意

禁止

エスプレッソ抽出器のシャワープレートを洗浄する際は、エスプレッソ抽出アイコンをタップして、熱湯を出しながら洗浄ブラシを使って洗浄しないこと

熱湯が手などにかかりますと、やけどする恐れがあります。

専用洗浄剤

エスプレッソ抽出器の洗浄には付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」を使用すること

他の洗浄剤を使用すると、エスプレッソ抽出器、抽出容器に付着したコーヒーの成分が落ちないことがあり、腐敗すると雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

熱湯注意

エスプレッソ抽出器の洗浄で、洗浄漂白剤「バブルクリーン」を使った後は、必ずすすぎ洗いをすること

すすぎ洗いをおこなわないと漂白剤成分が残り、健康障害の原因になります。

熱湯注意

エスプレッソ抽出容器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること

熱湯がかかりますと、やけどの原因になります。

耐熱容器

蒸気ノズルを洗浄するときの容器は耐熱性のあるものを使用すること

熱で容器が変形や破損した場合、やけどやケガの原因になります。

素手禁止

熱湯ノズルの先端部分を取り外す際に、熱湯ノズルが熱くなっている場合は、水で濡らした布を使用して取り外すこと

素手でおこないますと、やけどの原因になります。

禁止

付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと

健康障害の原因になります。

洗浄剤保管

付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」は、子供の手の届かない所に保管すること

誤って口に入れたり、飲み込まれますと、健康障害の原因になります。

手袋着用

付属の洗浄漂白剤「バブルクリーン」を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること

素手で取り扱うと、手荒れの原因になります。

手袋着用

付属の乳成分専用液体洗浄剤「ミルクリーン」を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること

素手で取り扱うと、手荒れの原因になります。

⚠ 注 意

熱器具禁止

本機の周囲に、熱器具を置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。

専用電源切

一週間以上ご使用にならない場合は、安全のため電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にし、電源プラグを使用の場合は、コンセントから抜くこと

発熱、発火の原因になります。

動作点検

漏電遮断器は月に１回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。

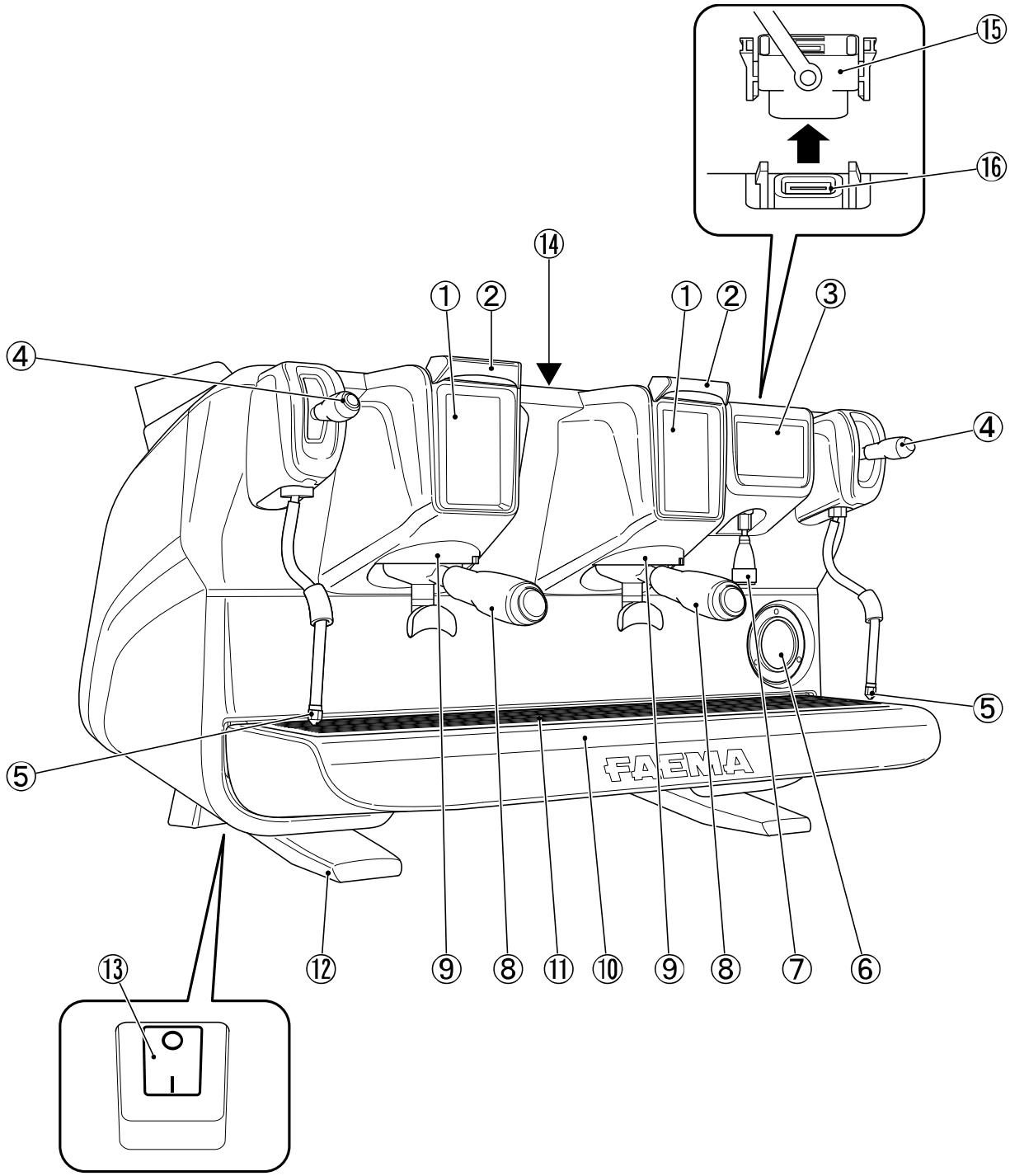
テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

各部の名称とはたらき

本機は、エスプレッソを抽出するコーヒーマシンです。

本体



図はE71GTI A/2です。

①エスプレッソ抽出タッチパネル

各エスプレッソメニューの抽出をおこないます。

詳しくは「エスプレッソ抽出タッチパネル」（11ページ）を参照してください。

②エスプレッソ抽出レバー

エスプレッソコーヒーの抽出を手動でおこないます。

詳しくは「エスプレッソ抽出レバーを使ってコーヒーを抽出する場合」（20ページ）を参照してください。

③メインタッチパネル

熱湯の取出しやプログラムの設定変更をおこないます。

詳しくは「メインタッチパネル」（12ページ）を参照してください。

④蒸気レバー

蒸気ノズルから蒸気を出すときに操作します。

⑤蒸気ノズル

蒸気レバーを操作すると、蒸気がここから出ます。

⑥ポンプ圧力計

給水ポンプの圧力を示します。

⑦熱湯ノズル

熱湯がここから出ます。

⑧エスプレッソ抽出容器

コーヒー粉をここに入れます。

エスプレッソが抽出容器下のノズルから出ます。

⑨エスプレッソ抽出器

エスプレッソ抽出容器をここにセットし、エスプレッソを抽出します。

⑩ドレンパン

こぼれたコーヒーや熱湯などを受けます。

⑪ドレンプレート

各メニューの抽出時にカップなどをここに置きます。

⑫アジャスト脚

本体を水平にするために調整します。

⑬電源スイッチ

本体の電源を「ON（入）」、または「OFF（切）」にします。

⑭天板（カップウォーマー）

コーヒーカップをここに置いて温めておきます。

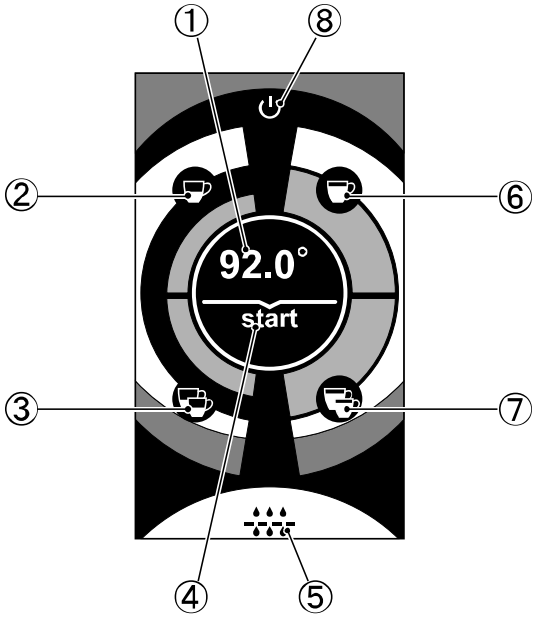
⑮USBポートキャップ

⑯USBポート

サービスマンが使用します。

タッチパネル

エスプレッソ抽出タッチパネル



E71GTI A/2は、エスプレッソ抽出タッチパネルが２個あります。
E71GTI A/3は、エスプレッソ抽出タッチパネルが３個あります。

①コーヒーボイラー設定温度表示

コーヒーボイラーの設定温度を表示しています。

②『エスプレッソ抽出１杯用（小）』アイコン

③『エスプレッソ抽出２杯用（小）』アイコン

④『スタート/ストップ』アイコン

エスプレッソコーヒーの抽出を途中で止めるときにタップします。
任意の量のエスプレッソコーヒーを抽出する際、このアイコンをタップするとエスプレッソコーヒーが抽出されます。
もう一度タップすると止まります。

⑤『フラッシング』アイコン

エスプレッソコーヒーを抽出する前に、コーヒー抽出ラインを湯通ししたいときに使用します。
このアイコンをタップすると、エスプレッソ抽出器から設定した時間、熱湯が出ます。
工場出荷時は2秒間に設定されています。

⑥『エスプレッソ抽出１杯用（大）』アイコン

⑦『エスプレッソ抽出２杯用（大）』アイコン

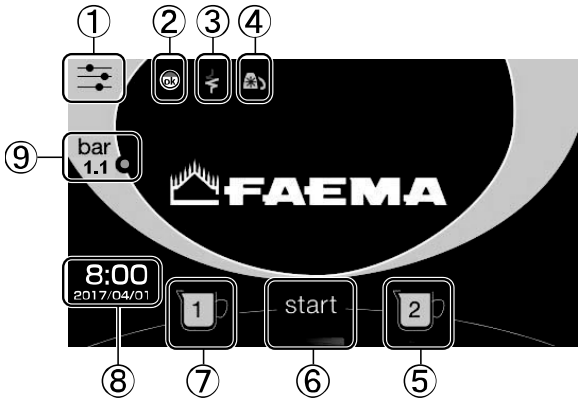
⑧『コーヒーボイラー電源』アイコン

このアイコンをタップすると、コーヒーボイラーの電源をOFFにして省電力化を図ることができます。
「コーヒーボイラー電源OFF機能(省電力)」（97ページ）を参照してください。

抽出中にエスプレッソ抽出アイコンをもう一度タップすると、抽出を途中で止めることができます。

エスプレッソコーヒーの抽出量と蒸らし時間は、エスプレッソ抽出アイコンごとに設定を変更することが可能です。

メインタッチパネル



①『 』アイコン

このアイコンをタップすると、プログラム設定モードに入ります。

②メインボイラー水位の状態表示

給水中は水位が上昇するアニメーションが表示されます。
適量範囲まで給水されるとが表示されます。

③メインボイラーを加熱するヒーターの状態表示

加熱（通電）中は、通電をアニメーションで表示します。
始業時は、メインボイラーが満水になると加熱を始めます。

④カップウォーマーの温度設定表示

現在のカップウォーマーの温度設定を表示しています。

タップするごとにカップウォーマーの強さを変更することができます。

⑤『熱湯取出し2』アイコン

設定した時間、熱湯が出ます。
工場出荷時は10秒間に設定されています。
熱湯取出し中にタップすると、熱湯が止まります。

⑥『熱湯スタート』アイコン
　兼　『熱湯ストップ』アイコン

熱湯取出し中は、経過時間が秒で表示されます。
熱湯を連続して取り出す場合、このアイコンを１度タップすると熱湯が出続けます。
もう１度タップすると止まります。
（60秒で強制終了します。）

⑦『熱湯取出し1』アイコン

設定した時間、熱湯が出ます。
工場出荷時は5秒間に設定されています。
熱湯取出し中にタップすると、熱湯が止まります。

⑧日付時刻表示

現在の日付と時刻を表示しています。

⑨メインボイラー圧力表示

現在のメインボイラーの圧力を表示しています。
設定圧力（工場出荷設定は1.1bar）に到達するとエスプレッソコーヒーの抽出が可能です。
ここをタップすると、タッチパネル中央にグラフィックメーターが表示されます。
もう一度タップするとグラフィックメーターの表示が消えます。
「メインボイラー圧力のグラフィックメーター表示」（98ページ）を参照してください。

使用前の準備

電源を入れる前に

水道栓と浄水器の栓を開いてください。

本機専用電源（漏電遮断機付サーキットブレーカー）を『ON（入）』にしてください。

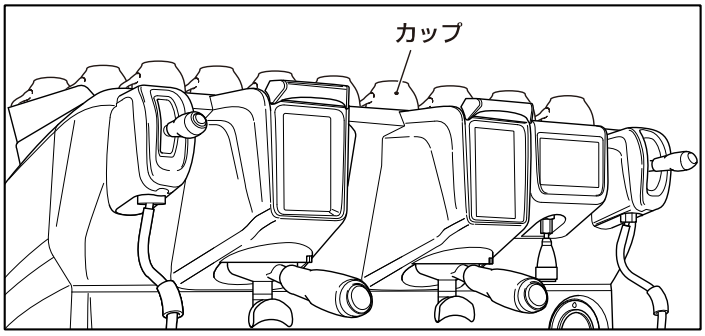
カップの保温

カップウォーマー部に保温するカップを並べてください

カップウォーマーを利用する場合は、カップウォーマー部にカップを伏せて並べてください。

⚠ 注 意

カップウォーマー部にカップを置くときは、カップの水分を十分に拭き取ること
水分が機械内部に入ると、漏電、ショート、感電の原因になります。



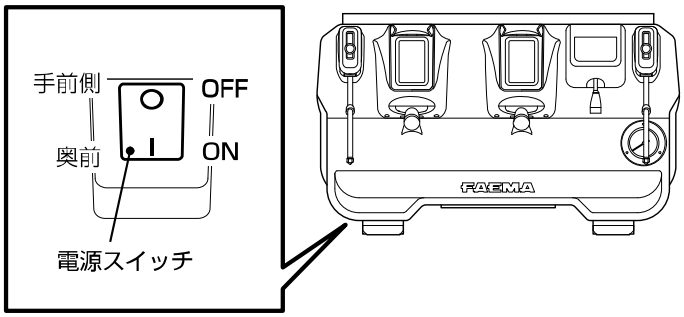
カップウォーマーの温度を変更する場合は、「カップウォーマーの温度設定」（85ページ）を参照して変更してください。

電源の入れかた

1. 電源スイッチを「ON（入）」にしてください

本体左下部にある電源スイッチを「ON（入）」にしてください。

電源スイッチ（緑）が点灯します。



電源スイッチを「ON（入）」にしてから約45秒経過すると、メインタッチパネルに下のような画面が表示され、ウォーミングアップを開始します。

ウォーミングアップとは、本機の電源スイッチを「ON（入）」にしたとき、ボイラータンクへ自動給水し、ボイラータンク内の水を加熱する一連の動作のことです。

ウォーミングアップ中、本機内部から「カチ、カチ」という音がしますが、これは本機内にある電磁弁の開閉音で異常ではありません。

メインボイラー内の水量が減っている場合は自動的に給水が始まり、メインタッチパネル左上のメインボイラー水位の状態表示がアニメーションで（ ➡ ➡ ➡ ）表示されます。
適量範囲まで給水されるとメインタッチパネル左上のマークが に変わります。

給水が完了すると、ヒーターに通電され、ボイラータンク内の水を沸かします。

加熱中は、メインタッチパネル上のマークがアニメーション表示されます。

また、加熱中にメインボイラーの圧力が高まってくると、メインタッチパネル左の bar 0.0 の数値が上昇します。

メインボイラーの圧力が設定圧力（工場出荷設定は1.1bar）に到達すると、マークのアニメーションが止まり、ウォーミングアップ完了です。
ウォーミングアップの完了までに約15分かかります。
（時間は目安です。水温その他の条件により異なります。）

メモ

ウォーミングアップ中に、エスプレッソ抽出アイコン、熱湯取出しアイコンをタップしても右のように「マシンコールド　タイキ　オマチクダサイ」と画面に表示され、動作しません。
ただし、エスプレッソ抽出タッチパネルの『スタート/ストップ』アイコンをタップする、またはエスプレッソ抽出レバーを操作すると、抽出動作はしますが、ぬるいコーヒーが抽出されます。
　ウォーミングアップが完了するまでお待ちください。

⚠ 警 告

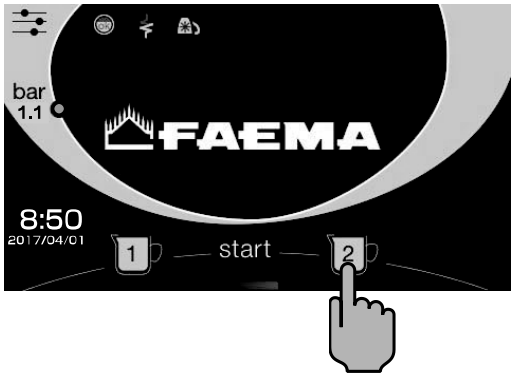
メインタッチパネルのメインボイラー圧力の表示が1.6bar以上になるときは電源を切ること
メインボイラー圧力の適正範囲は1.0～1.4barです。

2. 熱湯を出して、熱湯ラインに残っている前日のお湯を排出してください

熱湯ノズルを真下に向けてから、『熱湯取出し2』アイコンをタップして、熱湯を出してください。

⚠ 注 意

熱湯を出す場合は、飛び散ることがあるので注意すること
やけどする恐れがあります。



メモ

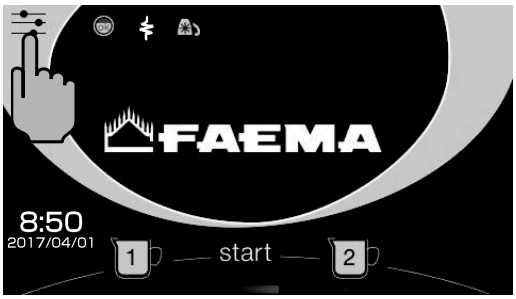
本機には自動 ON・OFF タイマー機能があります。
設定の方法については、「自動 ON・OFF タイマーと定休日の設定」（62 ページ）を参照してください。
　自動ON・OFFタイマー機能を設定すると、自動ONの時刻になると電源が入り、ボイラータンクへの給水をおこない、ウォーミングアップ（昇温）をおこなった後、待機の状態になります。

メインボイラーの水の入替え機能

メインボイラー内の約60～70%の水を自動で入れ替えることができます。

メインボイラー内の水を入れ替える場合は、下記の操作をおこなってください。

メインボイラーのウォーミングアップ完了後にメインタッチパネル左上の『 』アイコンをタップしてください。



メモ

メインボイラー内の水の入れ替えは、ウォーミングアップが完了してからおこなってください。
ウォーミングアップが完了していなくてもメインボイラー内の水の入替えを開始することができますが、水の入替え量は少なくなります。

プログラム設定画面が表示されます。

メインタッチパネルの『イレカエ』アイコンをタップしてください。

水の入替え機能が作動し、メインタッチパネルに「ボイラーハイスイ」と排水動作の進行状況（%）が表示されます。

熱湯ノズルから約3分30秒間、熱湯が出ます。

排水中は、メインボイラーヒーターはOFFとなります。

メインボイラーの排水を途中で止める場合は、メインタッチパネル中央下のいずれかの熱湯取出しアイコンをタップしてください。

排水動作終了後は、通常状態に復帰するまで、自動で少量給水と昇圧を繰り返します。

水の入替え所用時間は合計で約10分です。
（時間は目安です。水温その他の条件により異なります。）

各メニューの抽出のしかた

エスプレッソコーヒーの抽出のしかた

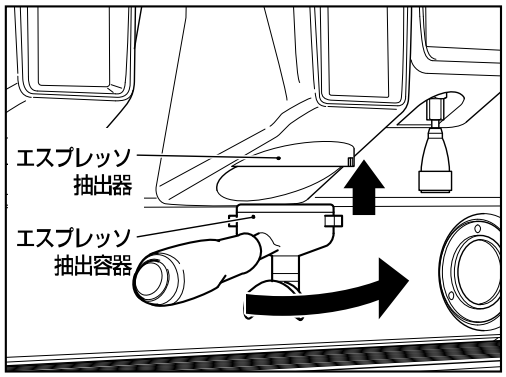
抽出のしかたは、E71GTI A/2の場合は、1連目、2連目とも全て同じです

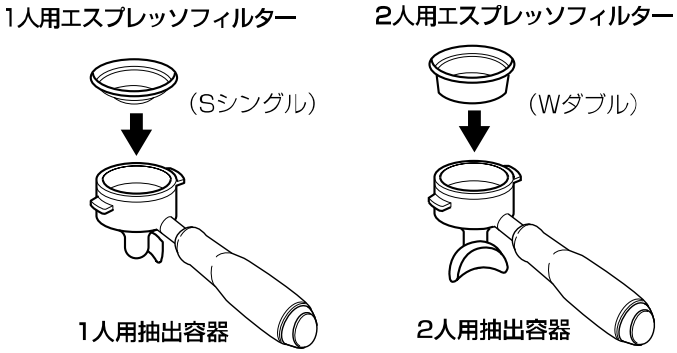
E71GTI A/3の場合は、1連目から3連目まで全て同じです

1. エスプレッソ抽出容器を温めてください

エスプレッソ抽出容器が冷たい状態で抽出をおこなうと、抽出したコーヒーがぬるくなります。

エスプレッソ抽出容器は、エスプレッソフィルターを付けた状態であらかじめ抽出器にセットしてください。



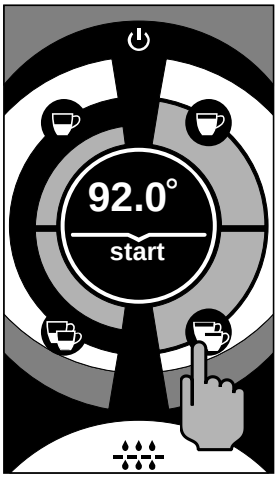


エスプレッソ抽出容器をすぐに温めたい場合

コーヒー粉を入れずに、エスプレッソフィルターを付けたエスプレッソ抽出容器を抽出器にセットしてください。

熱湯の飛び散りを防ぐためエスプレッソ抽出容器の下にカップなどを置いてください。

『エスプレッソ抽出2杯用（大）』アイコンをタップし、熱湯を出してエスプレッソ抽出容器を温めてください。

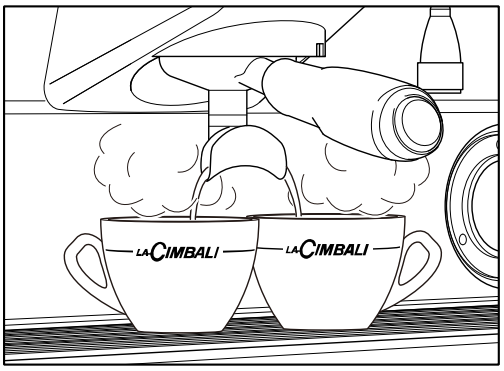


エスプレッソ抽出容器にコーヒー粉を入れる際、付着した水分を乾いた清潔な布で拭き取ってからコーヒー粉を入れてください。

⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないこと
やけどの原因になります。

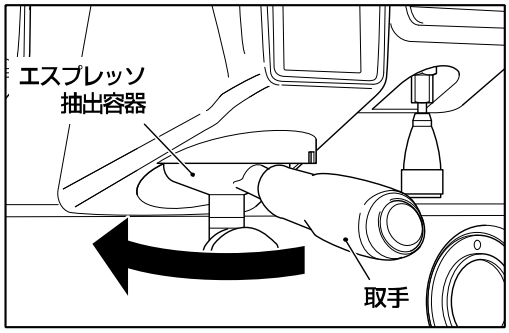
エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること
手などにかかりますと、やけどの原因になります。



2杯取りの抽出容器を温める場合

2. コーヒー粉をセットしてください

エスプレッソ抽出容器の取手を持ち、時計方向に回して抽出器から外してください。



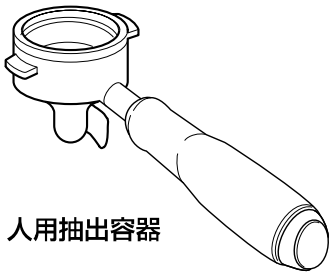
⚠ 注 意

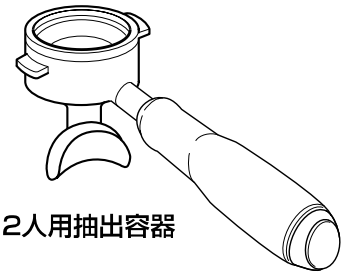
エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないこと
やけどの原因になります。

エスプレッソフィルターの中に抽出杯数に合わせた量のコーヒー粉を入れてください。

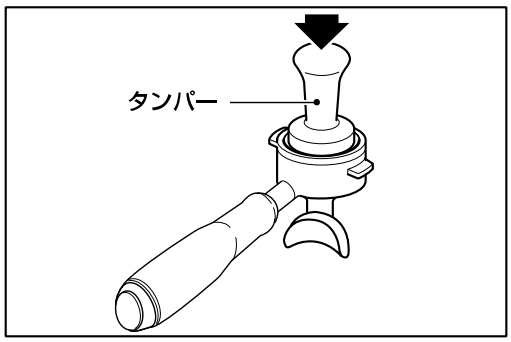
	フィルター	コーヒー粉	カップ数
1人分の場合	1人用	8〜10g	1個
2人分の場合	2人用	16〜18g	2個

※ 当社のエスプレッソ専用ミルをご使用いただきますと、定量のコーヒー粉が簡単に取り出せます。





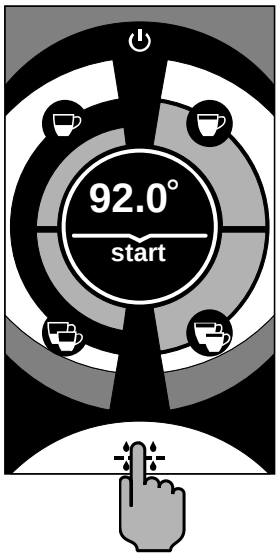
タンパーでコーヒー粉を押さえて、平らにしてください。



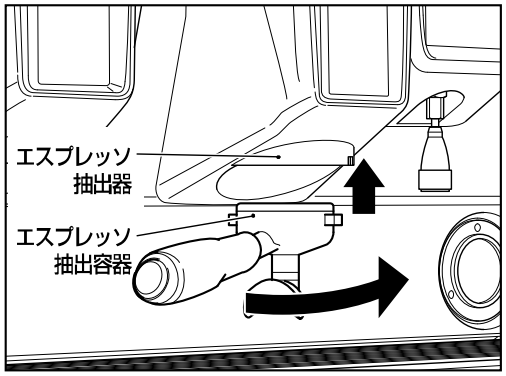
お願い

このとき、エスプレッソフィルターのふちに付いたコーヒー粉を拭き取ってください。
コーヒー粉がホルダーと本体との間に入ると適正な圧力がかからない可能性があります。

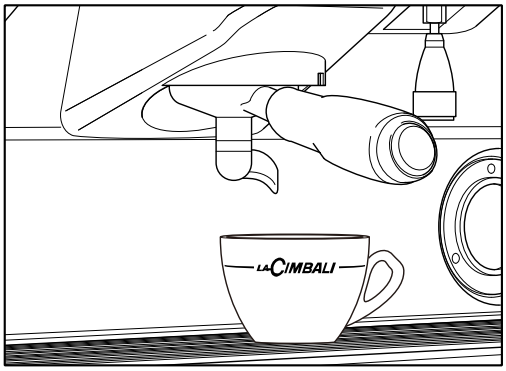
エスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器に取り付ける前に、エスプレッソ抽出タッチパネルの『フラッシング』アイコンをタップして、熱湯を出してください。
エスプレッソ抽出器から約2秒間熱湯が出ます。



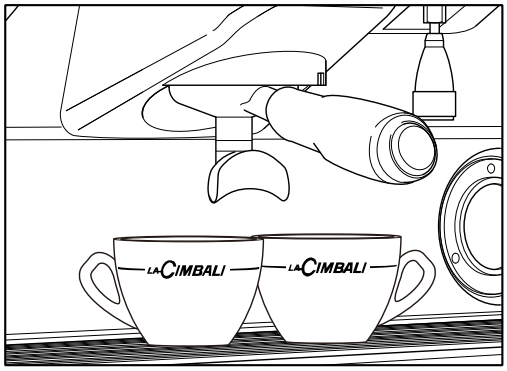
エスプレッソ抽出容器を左約45°の方向から抽出器にはめ込み、エスプレッソ抽出容器の取手が手前（90°）になるぐらいまで右方向に締め込んでください。



3. エスプレッソ抽出口の下にカップをセットしてください



1 人用の場合



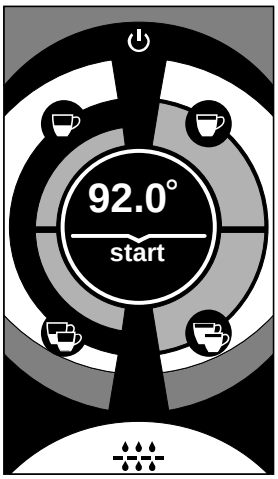
2 人用の場合

⚠ 警 告

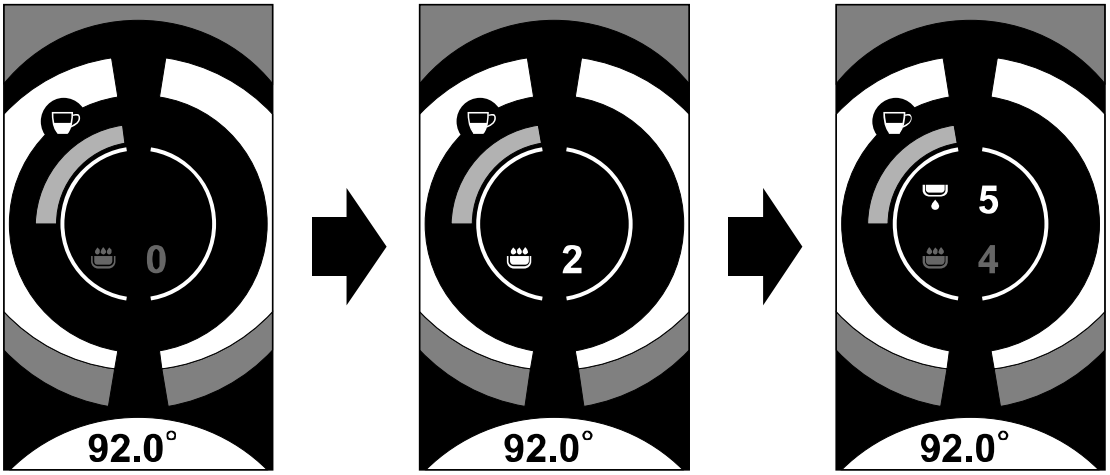
エスプレッソコーヒーを抽出する場合は、必ずドレンプレート上にカップを置くこと
カップを手に持ったままエスプレッソコーヒーを抽出すると、やけどの原因になります。

4. エスプレッソ抽出タッチパネルのエスプレッソ抽出アイコンをタップしてください

抽出したいエスプレッソ抽出アイコンをタップしてください。

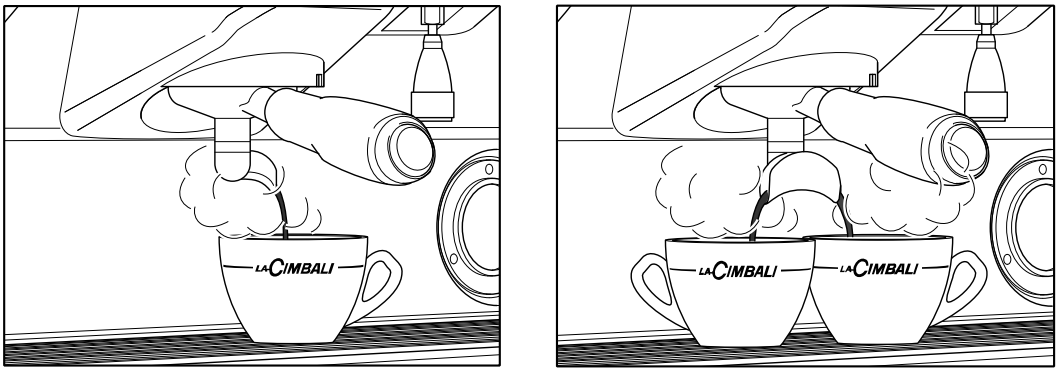


味合わせの際に設定した一定量のエスプレッソコーヒーが抽出され、自動的に止まります。



プレインフュージョン中　　蒸らし中　　エスプレッソコーヒー抽出中

エスプレッソ抽出中は、タップしたエスプレッソ抽出アイコンのみ表示され、画面の中央に経過時間が表示されます。
蒸らしが終了するまでは、下段に経過時間が表示され、蒸らしが終了すると上段に合計経過時間(プレインフュージョン ＋ 蒸らし ＋ エスプレッソコーヒー抽出)が表示されます。



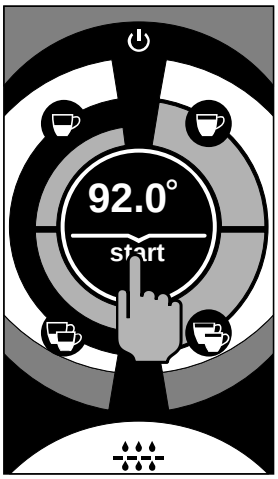
1 人用の場合　　2 人用の場合

途中で抽出を止めたい場合は、エスプレッソ抽出タッチパネルの中央をタップしてください。
抽出後のエスプレッソ抽出容器のコーヒーカスは、すぐに捨てずに抽出容器の保温のために次の使用時までそのままにしておいてください。
エスプレッソ抽出容器を保温することができます。

任意の量のコーヒーを抽出する場合

コーヒー粉をセットして『スタート/ストップ』アイコンをタップするとエスプレッソコーヒーの抽出が始まります。

お好みの量のエスプレッソコーヒーが出たら、エスプレッソ抽出タッチパネルの中央をタップして抽出を止めてください。

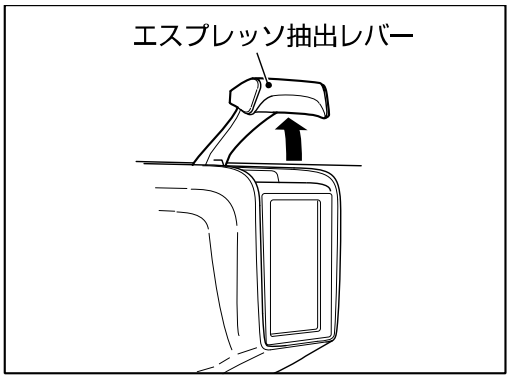


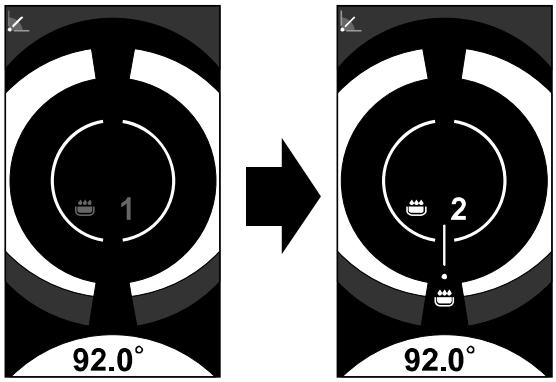
『エスプレッソ抽出レバー』を使ってコーヒーを抽出する場合

本機は、エスプレッソ抽出タッチパネルの上にある『エスプレッソ抽出レバー』を使って、エスプレッソコーヒーを抽出することもできます。

『エスプレッソ抽出レバー』の操作は２段階でおこないます。

コーヒー粉をセットして『エスプレッソ抽出レバー』を45°の位置まで起こしてください。
　プレインフュージョン後、蒸らしをおこないます。
　画面の数値は、動作の経過時間（秒）になります。





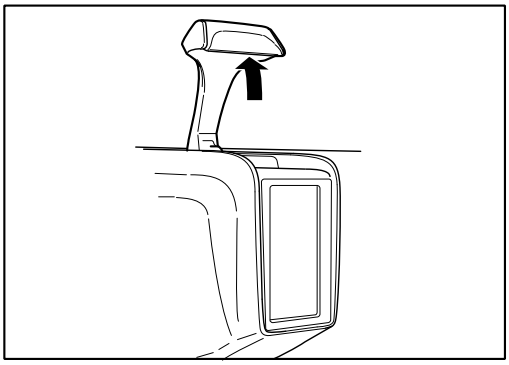
プレインフュージョン中　　蒸らし中

　プレインフュージョン時間はプログラム設定された時間で、工場出荷時は１秒に設定されています。

メモ

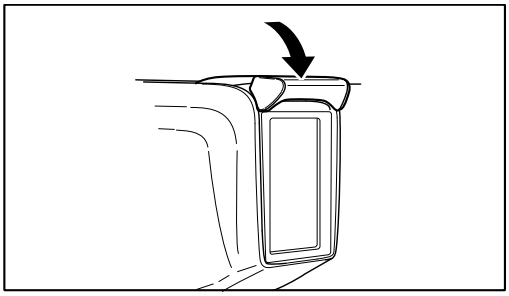
　蒸らし時間は最大１０秒です。
　　10秒を経過すると自動的に抽出動作に移行します。

お好みの時間蒸らした後、『エスプレッソ抽出レバー』を上に止まるところまで起こして、エスプレッソコーヒーを抽出してください。



エスプレッソコーヒー抽出中

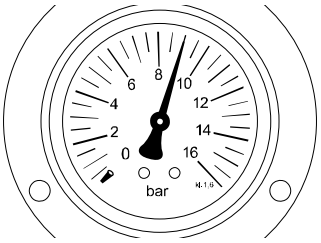
お好みの量のエスプレッソコーヒーが出たら、『エスプレッソ抽出レバー』を速やかに下まで倒して抽出を止めてください。



メモ

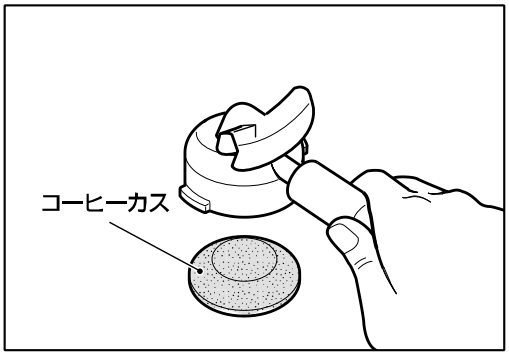
エスプレッソ抽出時のポンプ圧力計は約9〜10barになります。
本体右部にあるポンプ圧力計を確認してください。

ポンプ圧が 9〜10bar 付近にならない場合は、お買上げ店にご連絡ください。



5. 次の抽出をする場合は、コーヒーカスを捨ててください

エスプレッソ抽出容器を取り外し、コーヒーカスを捨ててください。

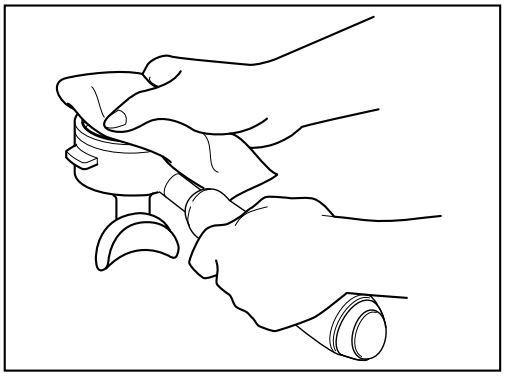


⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器から取り外した直後のエスプレッソ抽出容器は、熱くなっているため取手以外、直接触らないこと
やけどの原因になります。

6. エスプレッソ抽出容器を清掃してください

エスプレッソ抽出容器に付着したコーヒー粉は、乾いた清潔な布で拭き取るか、付属の洗浄ブラシで取り除いてください。



⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器から取り外したエスプレッソ抽出容器は、内部に熱湯などが残っていることがありますので手などにかからないように注意すること
手などにかかりますと、やけどの原因になります。

7. 次の抽出をおこなってください

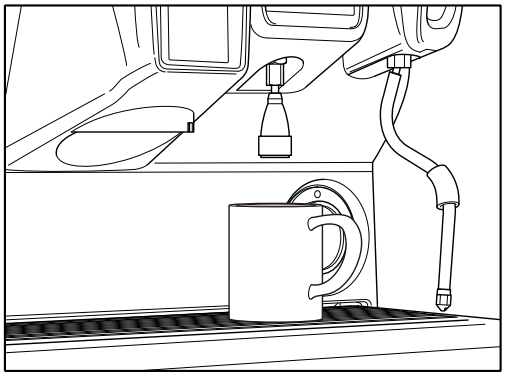
コーヒー粉をセットして次の抽出をおこなってください。

熱湯の出しかた

1. 熱湯ノズルの下にカップをセットしてください

⚠ 警 告

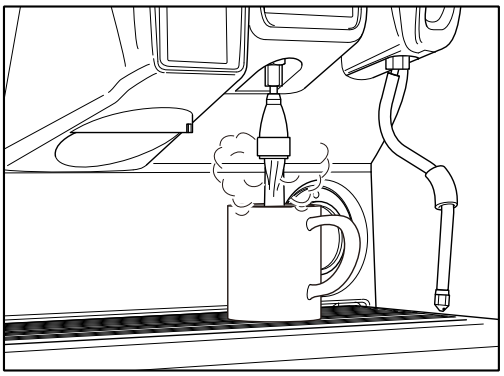
熱湯を出す場合は、必ずドレンプレート上にカップを置くこと
カップを手に持ったまま熱湯を出すと、やけどの原因になります。



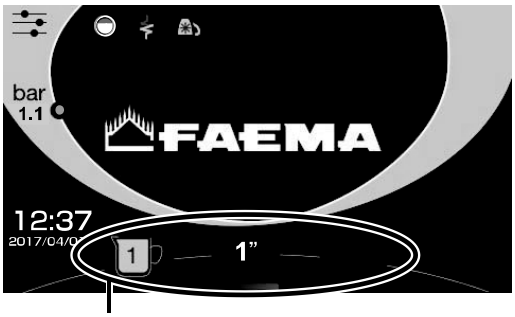
2. メインタッチパネルの『熱湯取出し１』アイコンか『熱湯取出し２』アイコン、または『熱湯スタート』アイコンをタップしてください

『熱湯取出し１』、または『熱湯取出し２』アイコンをタップすると、味合わせの際にプログラム設定した一定の時間、熱湯が出て、自動的に止まります。
1秒間に約50mLの熱湯が出ます。
(熱湯温度設定100%、メインボイラー圧力1.1bar時の場合です。
熱湯取出量は、熱湯温度設定と熱湯取出し開始時のメインボイラー圧力によります。)

工場出荷時、下記のように設定しています。
『熱湯取出し１』アイコン… 5秒
『熱湯取出し２』アイコン… 10秒



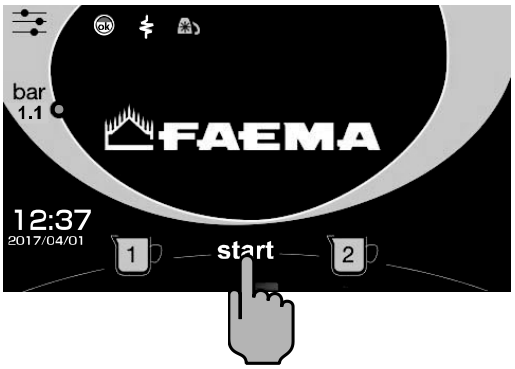
途中で熱湯取出しを止めたい場合は、メインタッチパネルの熱湯取出しアイコンをタップしてください。



熱湯取出しアイコンをタップすると止まります

熱湯を連続で取り出したい場合は、『熱湯スタート』アイコンを一度タップしてください。

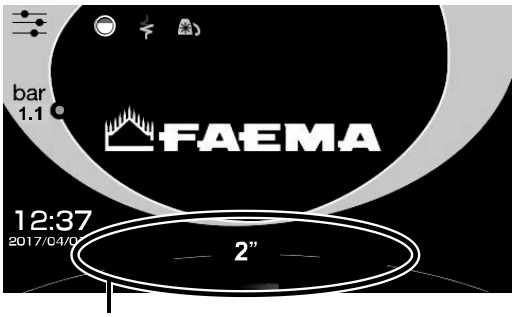
熱湯が出続けます。



メモ

熱湯取出し時間は最大 60 秒です。
60秒を経過すると強制終了します。

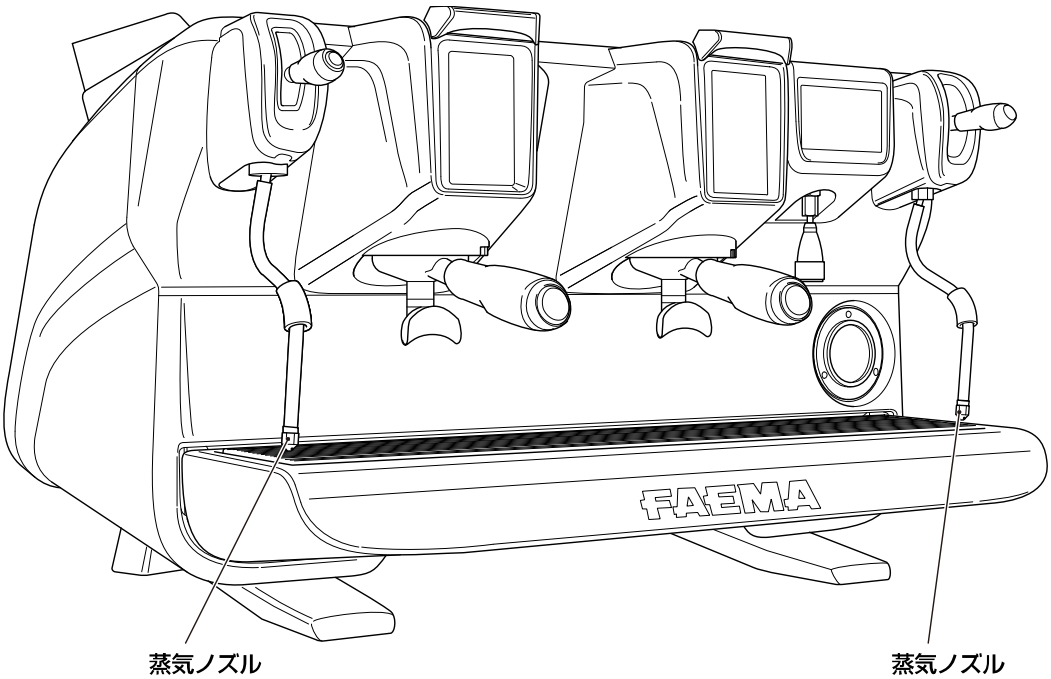
熱湯取出しを止める場合は、メインタッチパネルの熱湯取出しアイコンをタップしてください。



熱湯取出しアイコンをタップすると止まります

蒸気の使いかた

本機には、2本の蒸気ノズルが装備されています



蒸気を出すときは以下のことに注意してください

⚠ 警 告

蒸気レバーを操作するときは、蒸気ノズルがドレンプレートに向いているか確認すること
ノズル先端に人の手などがあると、蒸気レバーを操作した場合、やけどの原因になります。

蒸気ノズルを上げて作業した後は、忘れずに元の位置（ドレンプレートに向ける）に下ろしておくこと
誤って蒸気レバーを操作した場合、やけどの原因になります。

蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること
洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

蒸気ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接触れないこと
蒸気ノズルの金属部分に直接触れると、やけどの原因になります。

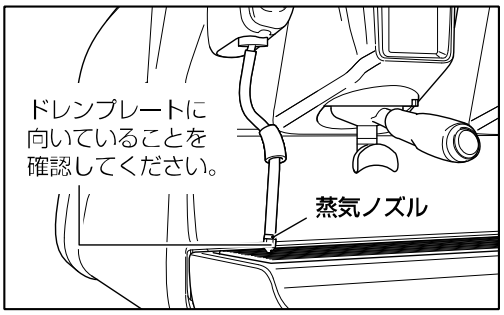
蒸気ノズルを使って飲料を温める

『蒸気レバー』を操作します。

1. 蒸気を出してください

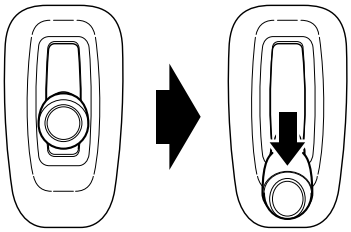
蒸気ノズルの先がドレンプレートに向いていることを確認してください。

初めに『蒸気レバー』を下げて蒸気配管内の結露水（熱湯）を抜いてください。



⚠ 注 意

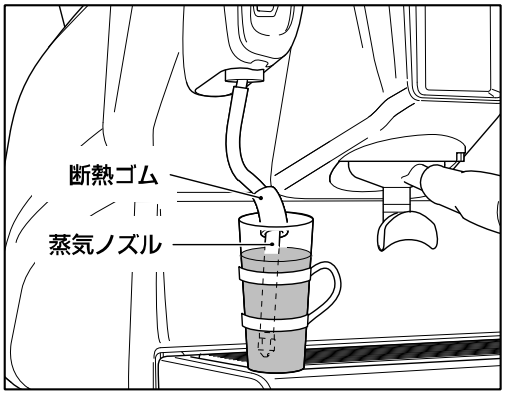
蒸気ノズルの蒸気配管内にたまった結露水（熱湯）を抜くときは、熱湯が勢いよく飛び出るので、注意すること
熱湯が手などにかかりますと、やけどの原因になります。



蒸気が出るようになったら、『蒸気レバー』を戻して蒸気を止めてください。

2. 飲料を温めてください

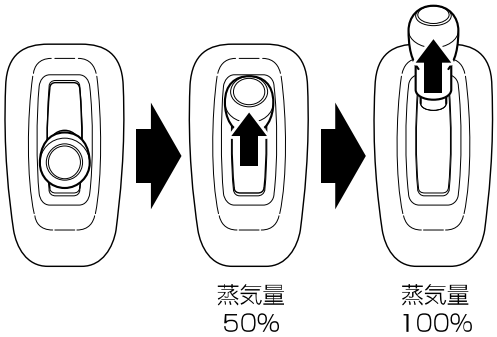
蒸気ノズルの先を飲料の入ったコップの底まで入れ、ドレンプレートの上に置いてください。



⚠ 注 意

飲料を温めるときの容器は耐熱性のあるものを使用すること
熱で容器が変形や破損した場合など、やけどの原因になります。

『蒸気レバー』を上げて蒸気を出してください。
『蒸気レバー』は２段階になっています。
１段階目　蒸気量50%
２段階目　蒸気量100%

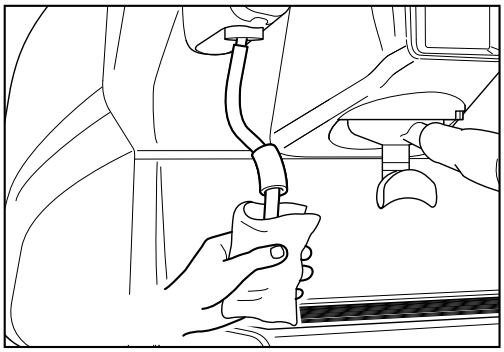


素手でコップにかるく触れながら、お好みの温度になるまで温まりましたら、『蒸気レバー』を戻して蒸気を止めてください。

蒸気ノズルの断熱ゴムの部分を持って蒸気ノズルをコップから出してください。
このとき、コップの取手をしっかり持って、落としたり、たおしたりしないようにしてください。

3. 蒸気ノズルを清掃してください

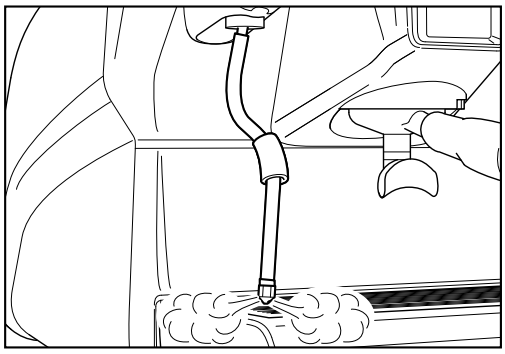
蒸気ノズル表面に付着した飲料を清潔な布で拭き取ってください。



⚠ 警 告

蒸気を使って飲料を温めた後は、必ず蒸気ノズルを洗浄すること
洗浄しないと、付着した飲料が腐敗して雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

もう一度、蒸気を出してノズル内に付着した飲料を除去してください。



お願い

上記の蒸気ノズルの清掃のほか、営業中に随時、水を使って蒸気ノズルを洗浄してください。
ノズル内に残った飲料が固まると、ノズル内が詰まり、故障の原因になります。

洗浄方法については、「蒸気ノズルの洗浄」（29 ページ）を参照してください。

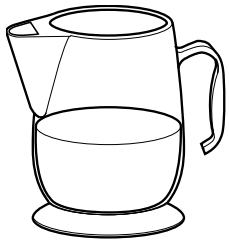
泡立てミルクのつくりかたの例

〈ポイント〉
ミルクポットは上部がすぼまっているものを使用します。
ミルクはよく冷えているものを使用します。
温度は手のひらで覚えるか温度計を用います。

1. ミルクポットによく冷えたミルクを入れてください

半杯分多めに入れてください。

1杯→1.5杯
2杯→2.5杯



2. 蒸気を出してください

「蒸気ノズルを使って飲料を温める」（25ページ）の手順「1.」と同様にしてください。

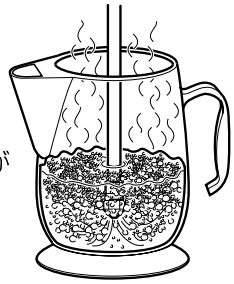
3. 蒸気ノズルの先端をミルクの表面より少し（3〜5㎜）中に入れ蒸気レバーを全開にしてください

蒸気レバーを全開にしないとミルクに空気を取り入れることができず、ミルクが泡立ちません。

蒸気の勢いで水面が少しへこみ、蒸気ノズルとミルクの間に隙間ができ、そこから空気が吸い込まれます。
（4秒前後／2杯分）

4. 空気を抱き込んだら、蒸気ノズルの頭をミルクの中に完全に入れ、蒸気で撹拌してください

このとき、含んだ空気を蒸気が細かく分解します。



5. 65〜68℃になったら、蒸気レバーを戻してください

素手でかるく触れ、熱くて触れられないくらいの温度になったら出来上がりです。
ミルクポットから蒸気ノズルを抜いてください。

6. この段階ではミルク内に大きな泡を含んでいますので、ミルクポットを回し、テーブルなどにミルクポットの底を「コンコン」と当てて、大きな泡を消してください

7. 泡立ちミルクをつくった後は、「蒸気ノズルを使って飲料を温める」（25ページ）の手順「3.」と同様に蒸気ノズルを清掃してください

洗浄、清掃のしかた

洗浄と清掃の一覧

本機は、必ず以下の洗浄と清掃をおこなう必要があります

洗浄と清掃をしないと、機械内部に残ったコーヒーやミルクが腐敗し雑菌が繁殖して、健康障害の原因になります

機械の故障や抽出されるコーヒーの品質が一定しない原因にもなります

営業中に随時おこなってください	**蒸気ノズルの洗浄** （29・30ページ参照）
終業時に毎日おこなってください	**エスプレッソ抽出器の洗浄** （31～42ページ参照） エスプレッソ抽出器の洗浄には、手動でおこなう手動洗浄と、タイマー機能を使って洗浄時刻を設定する自動洗浄があります。いずれかの方法で必ず洗浄をおこなってください。 **手動洗浄** （31～33ページ参照） **自動洗浄** （34～42ページ参照） タイマー機能の『センジョウ』で洗浄時刻を設定している場合、洗浄時刻になると、アラーム音とメインタッチパネルへの表示でお知らせします。 洗浄時刻を設定するには、「プログラムの設定について」の「洗浄時刻の設定」(82ページ)を参照してください。 **蒸気ノズルの洗浄** （43ページ参照） **熱湯ノズルの洗浄** （43ページ参照） **ドレンプレート、ドレンパンの洗浄** （44・45ページ参照）

週に2～3回おこなってください	**本体外装の清掃** （46ページ参照）

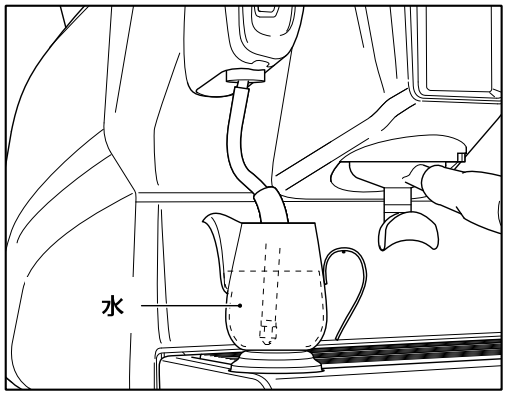
営業中に随時おこなってください

蒸気ノズルの洗浄

ミルク等の飲料を蒸気ノズルを使用して温めたときは、使用したノズルを洗浄してください。

1. 蒸気ノズルの洗浄の準備をしてください

蒸気ノズルの先を約300mLの水を入れた取手付の容器（耐熱性）の底まで入れて、ドレンプレートの上に置いてください。

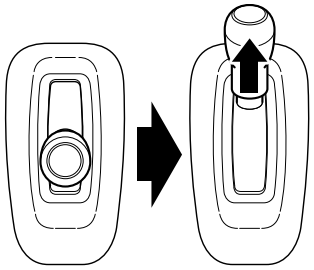


⚠ 注 意

飲料を温めるときの容器は耐熱性のあるものを使用すること
熱で容器が変形や破損した場合など、やけどの原因になります。

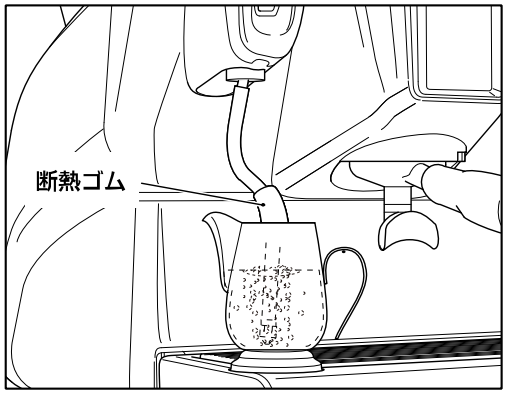
2. 蒸気ノズルの洗浄をおこなってください

1）蒸気を出してください。
蒸気ノズルは『蒸気レバー』を上に止まるところまであげてください。
蒸気により、ノズル先端に残った付着液を洗浄します。

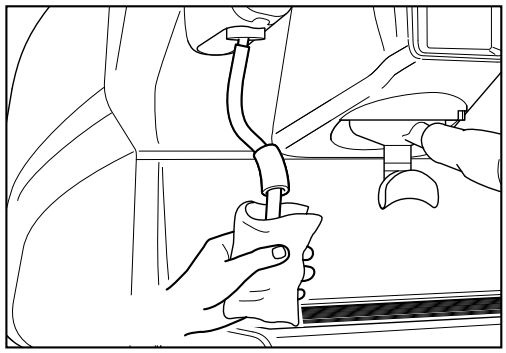


2）蒸気が出始めて10秒程度たったら蒸気を止めてください。

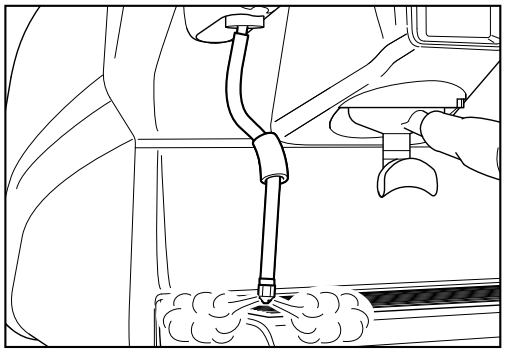
3）ノズルの断熱ゴムの部分を持ってノズルを容器から出してください。
このとき、容器の取手をしっかり持って、落としたり、たおしたりしないようにしてください。



4）ノズル表面を清潔な布などで拭いてください。



5）蒸気を2秒程出して、ノズル内の水分を除去してください。



⚠ 警 告

ノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと
やけどの原因になります。

終業時に毎日おこなってください

ここでは、終業時に必ずおこなう洗浄について説明します
終業時の洗浄には、「エスプレッソ抽出器の洗浄」、「蒸気ノズルの洗浄」、「熱湯ノズルの洗浄」、「ドレンプレート、ドレンパンの洗浄」があります
「エスプレッソ抽出器の洗浄」には、手動洗浄（31～33ページ参照）と、自動洗浄（34～42ページ参照）があります
どちらかの方法を選んで使用したエスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください

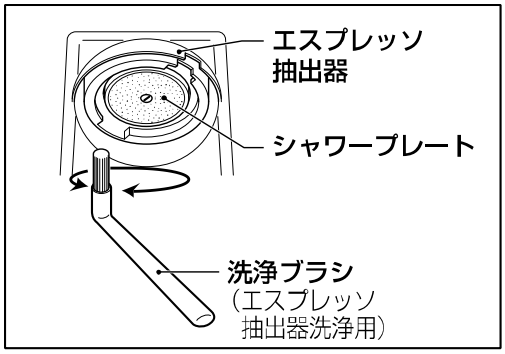
エスプレッソ抽出器の手動洗浄

1. エスプレッソ抽出容器を本体から外してください

洗浄に使用するエスプレッソ抽出容器(2人用)を水できれいにすすぎ洗いしてください。

2. シャワープレートを予備洗浄してください

1）付属の洗浄ブラシを使ってシャワープレート周辺に付着しているコーヒー粉を取り除いてください。



⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器のシャワープレートを洗浄する際は、エスプレッソ抽出アイコンをタップして、熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないこと
熱湯が手などにかかりますと、やけどする恐れがあります。

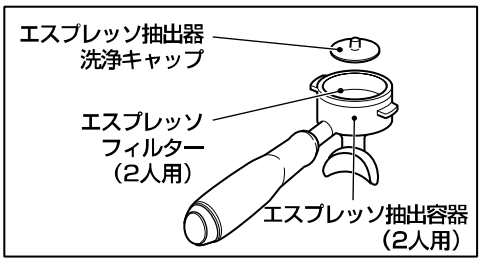
2）『スタート/ストップ』アイコンをタップして熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。

止めるときはエスプレッソ抽出タッチパネルの中央をタップしてください。

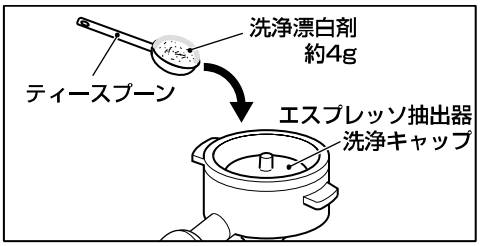
3. エスプレッソ抽出器内部を洗浄する準備をしてください

1）エスプレッソ抽出容器（2人用）に2人用のエスプレッソフィルターをセットしてください。

2）エスプレッソフィルターの中に、付属のエスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。



3）洗浄漂白剤「バブルクリーン」約4g（お手持ちのティースプーン山盛り1杯）を洗浄キャップの上に入れてください。



4. エスプレッソ抽出器内部を洗浄してください

1）洗浄漂白剤を入れたエスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器にセットしてください。

2）『スタート/ストップ』アイコンをタップして熱湯を出してください。

3）約5秒たったら、再度『スタート/ストップ』アイコンをタップして熱湯を止めてください。
抽出された熱湯がエスプレッソ抽出器内部に逆流して、洗浄漂白剤でコーヒー粉やアクを取り除きます。

4）エスプレッソ抽出器内に残った洗浄漂白剤の成分を洗い流すために『スタート/ストップ』アイコンをタップして約5秒間すすぎ洗いをしてください。

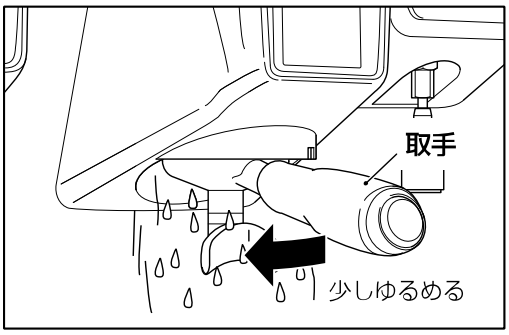
止めるときは、エスプレッソ抽出タッチパネルの中央をタップしてください。

すすぎ洗いは、洗剤成分が完全になくなるまで5～6回繰り返し熱湯を出しておこなってください。

5）エスプレッソ抽出容器を少しゆるめて、同様に『スタート/ストップ』アイコンをタップして十分に抽出器側のすすぎ洗いをしてください。

エスプレッソ抽出容器を少しゆるめることで、パッキンについたコーヒー粉を洗い流すことができます。

このとき、エスプレッソ抽出容器が落ちないように、取手を手で持っておいてください。



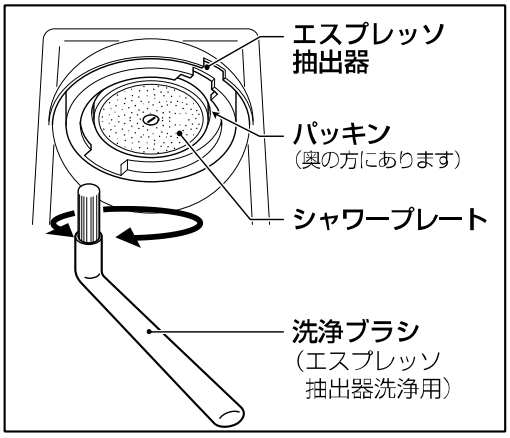
⚠ 注 意

洗浄漂白剤を使用して洗浄をおこなった後は、必ずすすぎ洗いすること
すすぎ洗いをおこなわないと漂白剤成分が残り、健康障害の原因になります。

5. エスプレッソ抽出器内のシャワープレート部を洗浄してください

1）エスプレッソ抽出容器を本体から外してください。

2）エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。

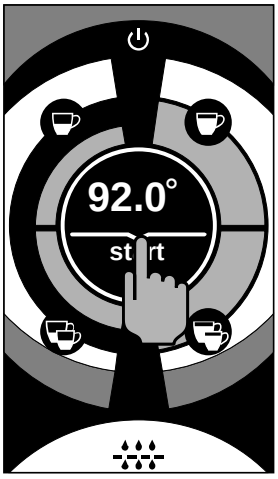


⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器のシャワープレートを洗浄する際は、エスプレッソ抽出アイコンをタップして、熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないこと
熱湯が手などにかかりますと、やけどする恐れがあります。

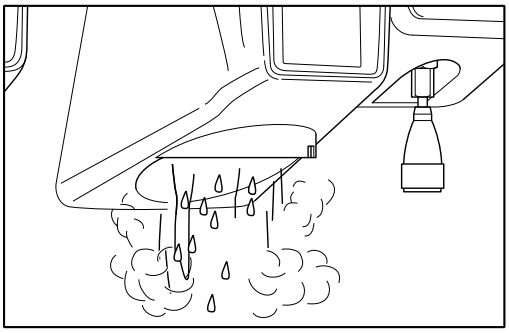
3）『スタート/ストップ』アイコンをタップして熱湯を出し、十分にすすぎ洗いをしてください。

止めるときは、エスプレッソ抽出タッチパネルの中央をタップしてください。



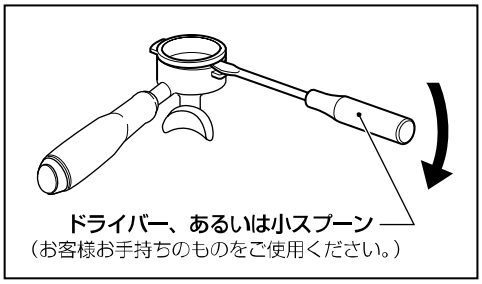
⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること
熱湯がかかりますと、やけどの原因になります。



6. エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄してください

1）エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソフィルターを外してください。（エスプレッソフィルターが固くて外れにくい場合は、右図のようにドライバーなどを使って外してください。）



2）エスプレッソ抽出容器、エスプレッソフィルター、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをお手持ちの食器用中性洗剤を入れたぬるま湯でていねいに洗ってください。

3）洗浄後は、すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

4）乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。

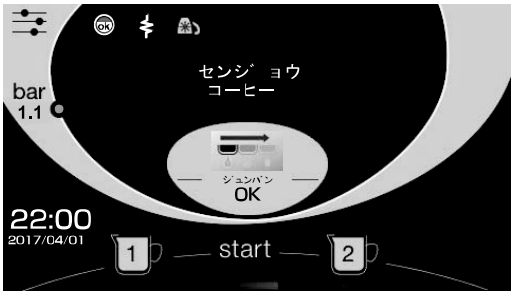
5）空気乾燥させてください。

エスプレッソ抽出器の自動洗浄

プログラム設定で『センジョウ』を設定している場合、洗浄時刻になると、メインタッチパネルに「センジョウ コーヒー」と表示され、「ピッピッ」というアラーム音が鳴ってお知らせします。

洗浄時刻になりましたら、エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなってください。

洗浄時刻を22:00に設定している場合、画面には右のように表示されます。



この表示とアラーム音は、エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなうまで1時間続きます。

自動洗浄が、１時間の間におこなわれなかった場合、「センジョウ コーヒー」の表示とアラーム音は消えます。

（自動洗浄が完了するまで、「センジョウ コーヒー」の表示とアラーム音を出し続ける設定に変更することができます。設定の変更を希望される場合は、お買い上げ店にご連絡ください。）

洗浄時刻を設定する際、すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄するか、１連目から順番に洗浄するかを選んで設定しておくことができます。

１連目から順番におこなう自動洗浄『ジュンバン』を選んでいる場合、自動洗浄中以外のエスプレッソ抽出器を使ってコーヒーを抽出することができます。

洗浄時刻の設定方法については、「洗浄時刻の設定」(82ページ)を参照してください。

洗浄時刻を設定していなくても、エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなうことが可能です。

洗浄設定時刻以外に自動洗浄をおこなう場合は40ページを参照してください。

メモ

洗浄時刻を設定していないとき、または洗浄時刻を設定していても「センジョウ コーヒー」が表示されていないときに自動洗浄をおこなう場合、下記の３つの洗浄方法から選択することができます。

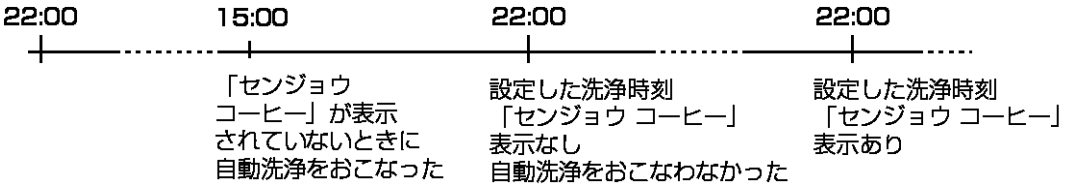
『ジュンバン』　：　１連目から順番にエスプレッソ抽出器を洗浄
『ドウジ』　：　全エスプレッソ抽出器を同時に洗浄
『シングル』　：　洗浄したいエスプレッソ抽出器を選択して洗浄（複数選択不可）

詳しくは40ページを参照してください。

メインタッチパネルに「センジョウ コーヒー」が表示されていないときに自動洗浄をおこなうと、その日は設定した洗浄時刻になっても「センジョウ コーヒー」が表示されません。

設定した洗浄時刻になったとき、過去24時間以内に自動洗浄をおこなっていた場合は、翌日の設定した洗浄時刻まで「センジョウ コーヒー」が表示されませんのでご注意ください。

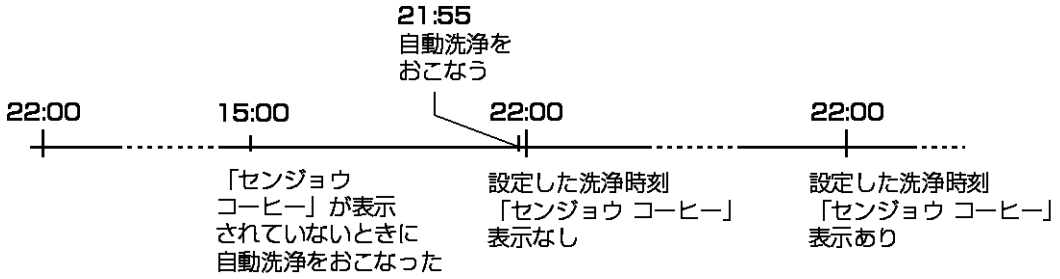
例：洗浄時刻を 22:00 に設定している場合



設定した洗浄時刻の過去24時間以内に自動洗浄をおこなっていて、設定した洗浄時刻にも自動洗浄をおこないたい場合は、設定した洗浄時刻になる前におこなってください。

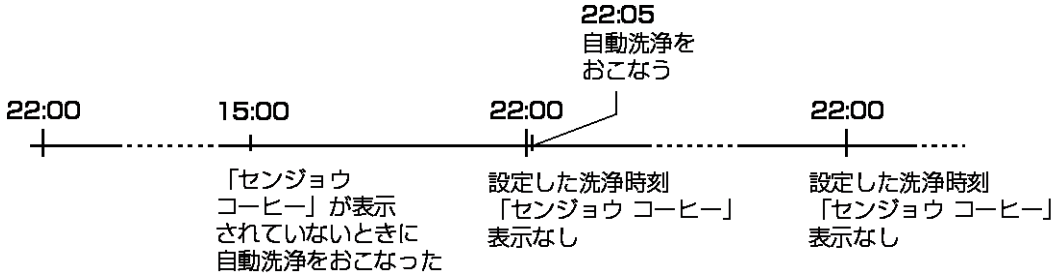
翌日より設定した洗浄時刻に「センジョウ コーヒー」が表示されるようになります。

例：洗浄時刻前の21:55に2回目の自動洗浄をおこなった場合



設定した洗浄時刻後に自動洗浄をおこなうと、翌日も設定した洗浄時刻になっても「センジョウ コーヒー」は表示されません。

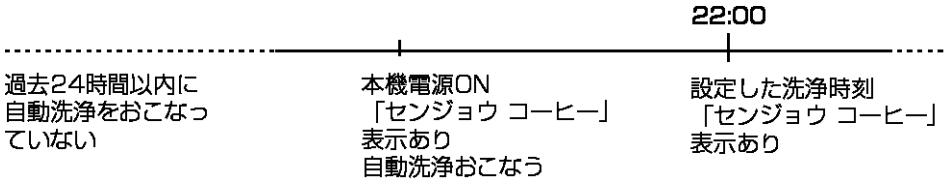
例：洗浄時刻後の22:05に2回目の自動洗浄をおこなった場合



洗浄時刻を設定している場合、電源を入れたとき、過去24時間以内に自動洗浄をおこなっていないと、「センジョウ コーヒー」が表示されます。

このとき、自動洗浄をおこなっても設定した洗浄時刻になると、再度「センジョウ コーヒー」が表示されます。

その場合は、「センジョウ コーヒー」の表示に従って、自動洗浄をおこなってください。



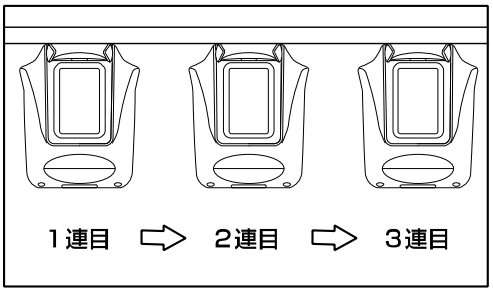
電源を入れたとき、過去24時間以内に「センジョウ コーヒー」が表示されたときに自動洗浄をおこなわずに1時間経過して表示が消えた場合は、「センジョウ コーヒー」は表示されません。

1. 自動洗浄をおこなうエスプレッソ抽出器より、エスプレッソ抽出容器を取り外してください

洗浄に使用するエスプレッソ抽出容器(2人用)を水できれいにすすぎ洗いしてください。

メモ

１連目から順番にエスプレッソ抽出器を洗浄する場合は、洗浄は左のエスプレッソ抽出器から順におこなわれます。（右図参照）



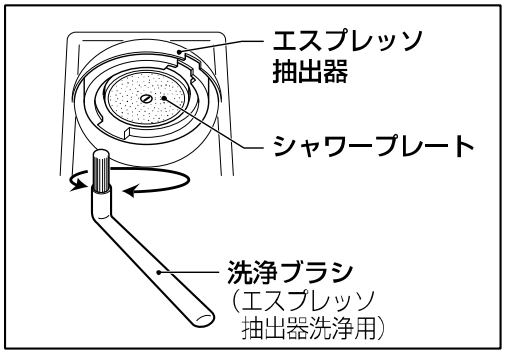
図は E71GTI A/3

2. シャワープレートを予備洗浄してください

1） 付属の洗浄ブラシを使ってシャワープレート周辺に付着しているコーヒー粉を取り除いてください。

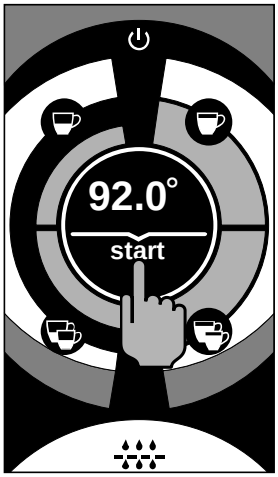
⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること
熱湯がかかりますと、やけどの原因になります。



2） エスプレッソ抽出タッチパネルの『スタート/ストップ』アイコンをタップして熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。

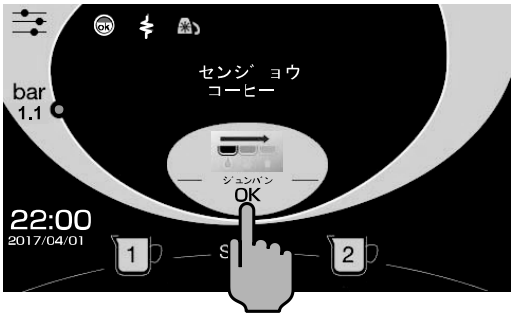
止めるときはエスプレッソ抽出タッチパネルの中央をタップしてください。

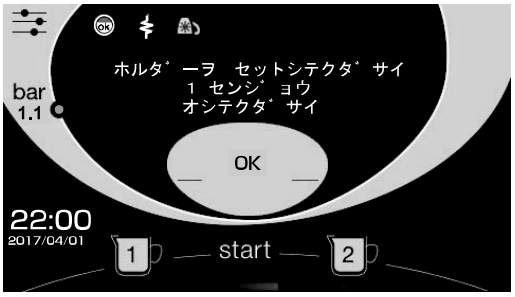


3. メインタッチパネルに表示されている「OK」をタップしてください

メインタッチパネルには右下のように表示されます。

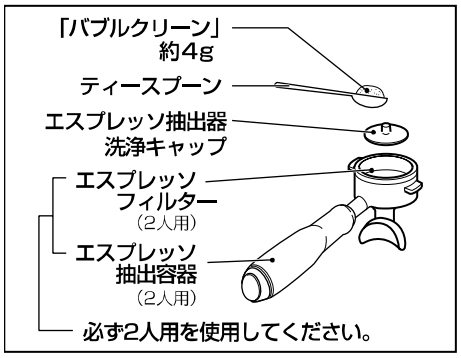
同時洗浄の場合はすべてのエスプレッソ抽出器に、１連目から順番に洗浄をおこなう場合は洗浄するエスプレッソ抽出器に、自動洗浄の準備をしてください。





4. 自動洗浄をおこなってください

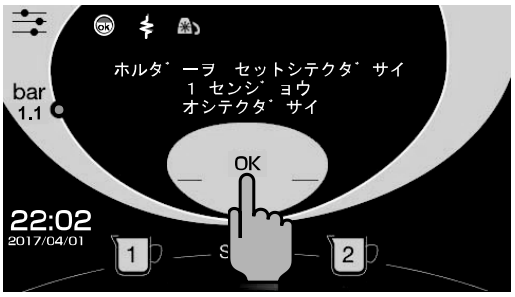
1）エスプレッソ抽出容器2人用（エスプレッソフィルターをセットしたまま）に、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをセットしてください。



2）洗浄漂白剤「バブルクリーン」約4g（お手持ちのティースプーン山盛り1杯）を洗浄キャップの上に入れてください。

3）エスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器に取り付けてください。

4）メインタッチパネルに表示されている『OK』をタップしてください。



自動洗浄が始まり、メインタッチパネルには右のように表示されます。

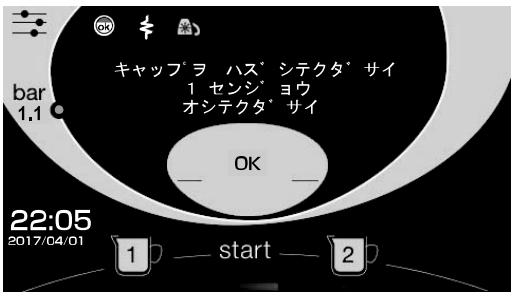
洗浄には約3分30秒かかります。

メモ

自動洗浄はメインボイラー圧力が設定圧力（標準は 1.1bar）に到達していないと始まりません。
ボイラー圧力が低下している場合は、ボイラー圧力が回復すると自動的に洗浄を始めます。

5. すすぎ洗いをおこなってください

洗浄が終了すると、メインタッチパネルには右のように表示されます。



1）エスプレッソ抽出容器を外し、洗浄キャップを取り外してください。

2）再度エスプレッソ抽出容器を取り付けてください。

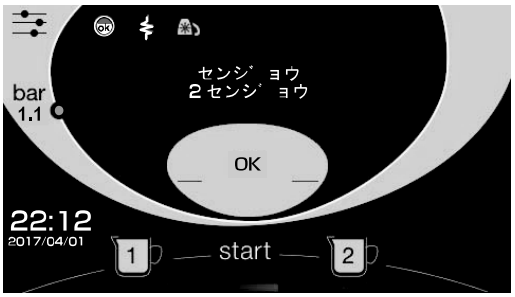
3）メインタッチパネルに表示されている『OK』をタップしてください。

すすぎ洗いが始まり、メインタッチパネルには右のように表示されます。

すすぎ洗いには約1分30秒かかります。

4）１連目から順番に洗浄を選択している場合は、すすぎ洗いが完了すると、メインタッチパネルには右のように表示されます。

同様の手順で、２連目以降のエスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなってください。



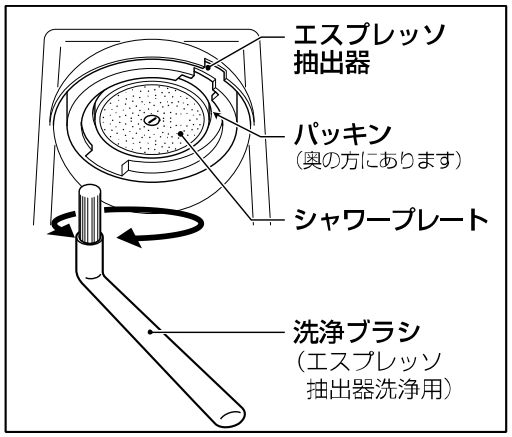
メモ

営業中、使用しなかったエスプレッソ抽出器は、洗剤を使用せずに、お湯だけの洗浄をおこなってください。

6. シャワープレートを洗浄してください

1）エスプレッソ抽出容器を本体から外してください。

2）エスプレッソ抽出器のシャワープレート、パッキンおよび周辺を付属の洗浄ブラシを使って洗ってください。

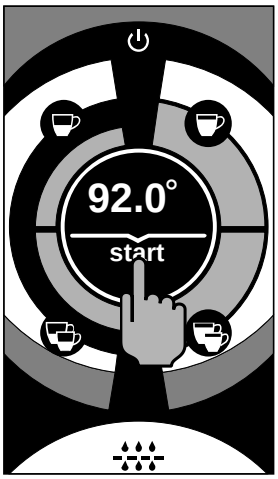


⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器のシャワープレートを洗浄する際は、エスプレッソ抽出アイコンをタップして、熱湯を出しながら、洗浄ブラシを使って洗浄をしないこと
熱湯が手などにかかりますと、やけどする恐れがあります。

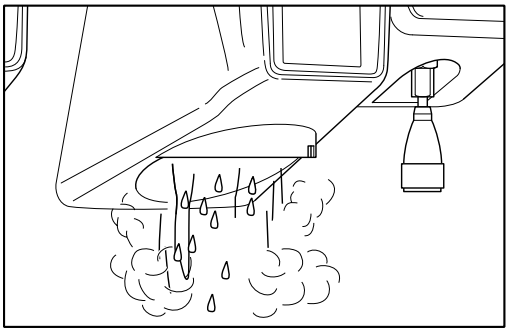
3）エスプレッソ抽出タッチパネルの『スタート/ストップ』アイコンをタップして熱湯を出し、シャワープレート部をすすぎ洗いしてください。

止めるときは、エスプレッソ抽出タッチパネルの中央をタップしてください。



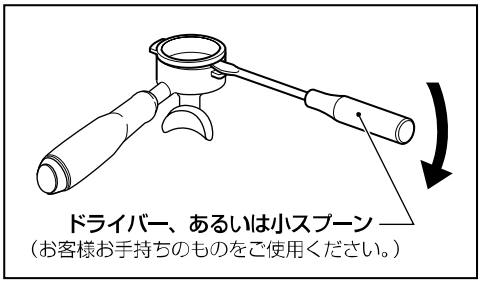
⚠ 注 意

エスプレッソ抽出器をすすぐときは、熱湯が飛び散るので、十分注意すること
熱湯がかかりますと、やけどの原因になります。



7. エスプレッソ抽出容器と各部品を洗浄してください

1）エスプレッソ抽出容器からエスプレッソ抽出器洗浄キャップ、エスプレッソフィルターを外してください。
（エスプレッソフィルターが固くて外れにくい場合は、右図のようにドライバーなどを使って外してください。）



2）エスプレッソ抽出容器、エスプレッソフィルター、エスプレッソ抽出器洗浄キャップをお手持ちの食器用中性洗剤を入れたぬるま湯でていねいに洗ってください。

3）すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

4）乾いた清潔な布で水分を拭き取ってください。

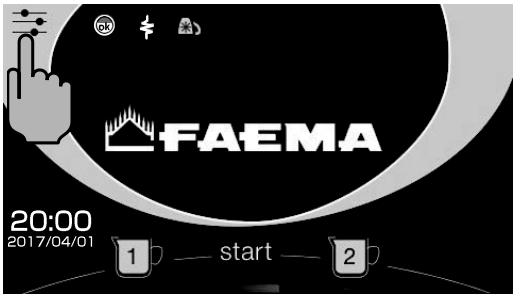
5）空気乾燥させてください。

洗浄時刻を設定していない場合のエスプレッソ抽出器の自動洗浄方法について

エスプレッソ抽出器は、終業時に毎日洗浄をおこなってください。
洗浄を怠りますと、機械の故障や抽出されるコーヒーの品質や量が一定しない原因になります。
また、機械内部に残ったコーヒーが腐敗すると、雑菌が繁殖して、健康障害の原因にもなります。

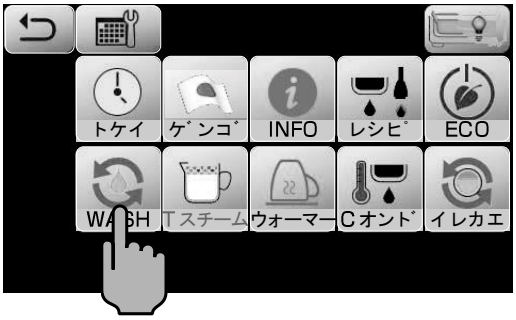
洗浄時刻を設定していない、または洗浄時刻を設定していても洗浄メッセージ「センジョウ コーヒー」が表示されていないときに自動洗浄をおこなう場合は、下記の手順で、自動洗浄を開始してください。

メインタッチパネルの『 』アイコンをタップして、プログラム設定モードの画面を表示させてください。



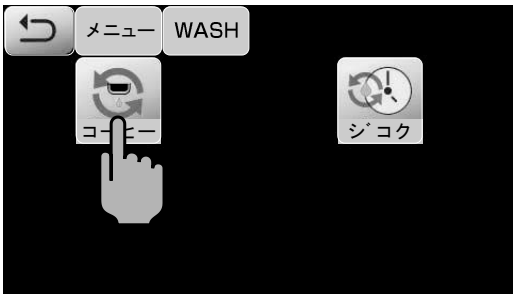
『WASH』アイコンをタップしてください。

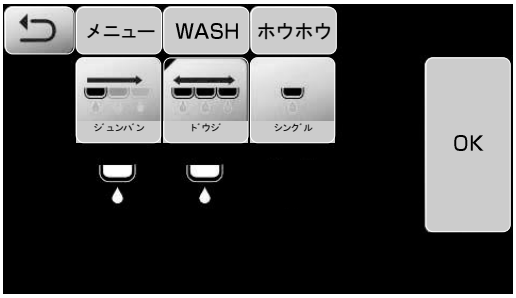
「WASH」の画面が表示されます。



『コーヒー』アイコンをタップしてください。

「ホウホウ」の画面が表示されます。



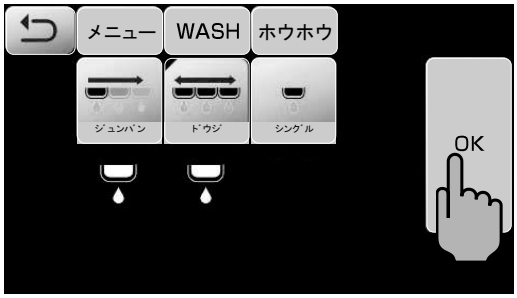


自動洗浄の方法には次の３つがあります。

『ジュンバン』　：１連目から順番に抽出器を洗浄
『ドウジ』　：全エスプレッソ抽出器を同時に洗浄
『シングル』　：洗浄したい抽出器を選択して洗浄（複数選択不可）

お好みの洗浄方法のアイコンをタップした後、『OK』アイコンをタップしてください。

選択した自動洗浄が始まります。



洗浄方法の選択画面をキャンセルして通常画面に戻りたい場合は、『 』アイコンを３回タップしてください。

エスプレッソ抽出器の自動洗浄中に電源が落ちた場合の注意事項

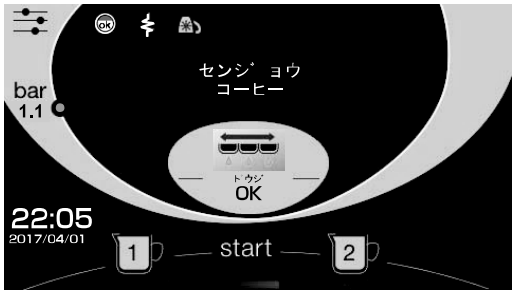
自動洗浄中に停電が起きた、または洗浄中に誤って電源スイッチを「OFF（切）」にしてしまったなどの理由で電源が停止した場合、洗浄は正しく終了しません。

途中で電源が切れた場合、その状況によってメインタッチパネルに表示される内容が異なります。

表示内容に従って、改めて洗浄漂白剤「バブルクリーン」をセットして自動洗浄をやり直してください。

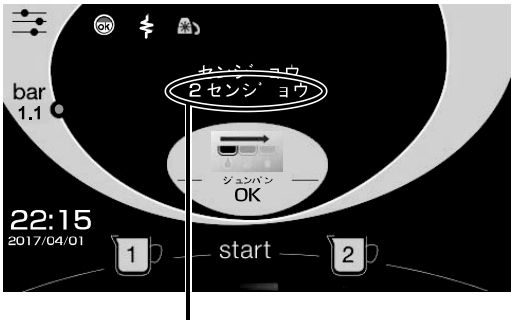
プログラム設定モードで自動洗浄時刻を設定しており、自動洗浄を促すメッセージの表示後、すべてのエスプレッソ抽出器の同時洗浄を開始し、洗浄途中で電源が切れた場合

→ 再度電源を「ON（入）」にした後、約１～２分後に自動洗浄を促すメッセージが表示されます。
すべてのエスプレッソ抽出容器に改めて洗浄漂白剤「バブルクリーン」を入れて自動洗浄をやり直してください。



プログラム設定モードで自動洗浄時刻を設定しており、自動洗浄を促すメッセージの表示後、１連目のエスプレッソ抽出器から順番におこなう洗浄を開始し、洗浄途中で電源が切れた場合

→ 再度電源を「ON（入）」にした後、約１～２分後に自動洗浄の途中で電源が切れたエスプレッソ抽出器番号が表示されます。
表示された番号のエスプレッソ抽出容器に改めて洗浄漂白剤「バブルクリーン」をセットして自動洗浄をやり直してください。



左側から２連目の
エスプレッソ抽出器の自動洗浄メッセージ

自動洗浄を促すメッセージが表示されていない時に、自動洗浄を実施し、洗浄途中で電源が切れた場合

→ 再度電源を「ON（入）」にしても、自動洗浄メッセージは表示されません。
初めから洗浄をやり直してください。

蒸気ノズルの洗浄

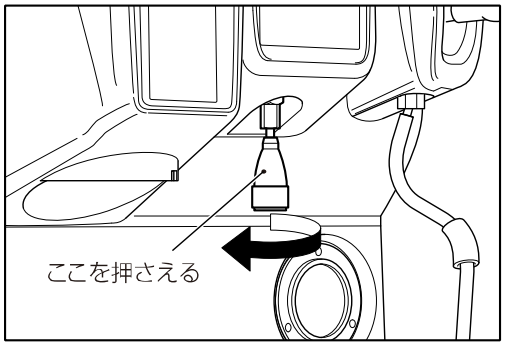
終業時にも蒸気ノズルの洗浄をおこなう必要があります。

洗浄については、「**蒸気ノズルの洗浄**」（29ページ）を参照して、同じ方法でおこなってください。

熱湯ノズルの洗浄

1. 熱湯ノズルの先端部分を取り外してください

熱湯ノズルの上の部分をしっかりと押さえ、熱湯ノズルの先端部分を時計方向に回して外してください。



⚠ 注 意

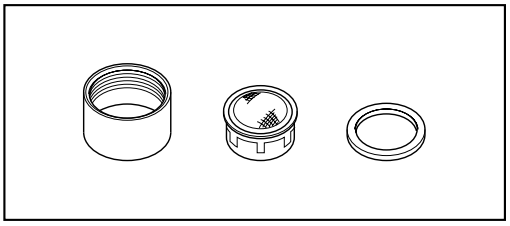
熱湯ノズルの先端部分を取り外す際に、熱湯ノズルが熱くなっている場合は、水で濡らした布を使用して取り外すこと
素手でおこないますと、やけどの原因になります。

2. 各部品を洗浄してください

1）先端部分の部品を分解して、水またはお湯でていねいに洗ってください。

2）乾いた布で水分を拭き取ってください。

3）各部品を組み立て、元通りに取り付けてください。



ドレンプレート、ドレンパンの洗浄

1. 電源スイッチを「OFF（切）」にしてください

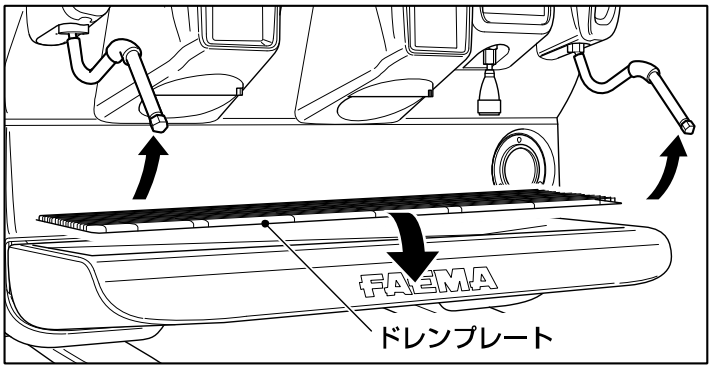
2. ドレンプレートを本体から取り外して洗浄してください

1）エスプレッソ抽出容器を取り外し、蒸気ノズルを上まで上げてください。

2）ドレンプレートを外して、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

3）すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

4）乾いた布で水分を拭き取ってください。



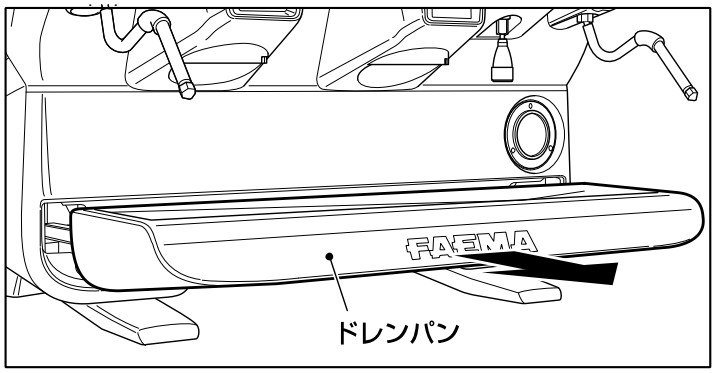
3. ドレンパンを本体から取り外して洗浄してください

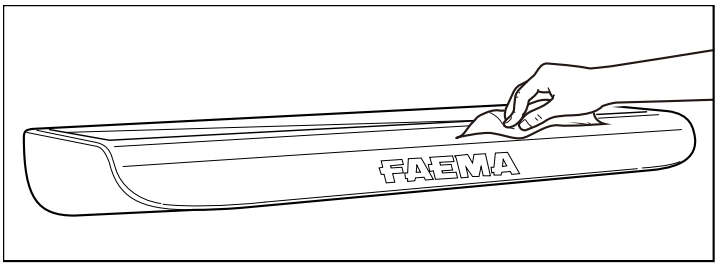
1）ドレンパンの両端を持って、ドレンパンを水平に引いて本体から取り外してください。

2）ドレンパンを、お手持ちの食器用中性洗剤を入れた水またはお湯でていねいに洗ってください。

3）すすぎ洗いをして洗剤成分を完全に洗い流してください。

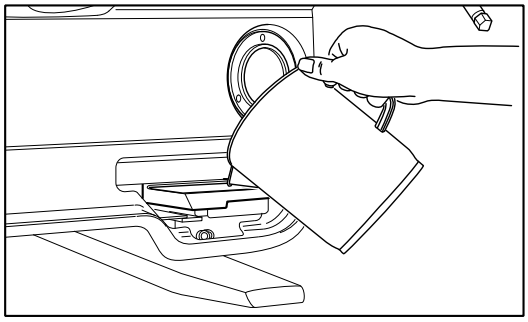
4）乾いた布で水分を拭き取ってください。





4. 排水口を洗浄してください

排水口に、約１Lのお湯を流してください。



5. ドレンパンとドレンプレートを本体に元どおりに取り付けてください

蒸気ノズルをドレンプレートに向けてください。

以上で終業時の清掃は終わりです。

水道栓を閉めてください。

週に2～3回おこなってください

ここでは、週に2～3回、また、汚れが目立ったときにおこなう洗浄と清掃について説明します

本体外装の清掃

1. 本体の外装は、中性洗剤を含ませた柔らかい布できれいに拭いてください

2. きれいな水でしぼった布で洗剤成分を拭き取ってください

⚠ 警 告

本体に直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

お手入れと点検

ここでは本機をお使いいただく上で、必要なお手入れと点検を一覧にして示しています

毎日のお手入れと点検

給排水管の点検	給排水管の接続部やバルブより水漏れや、配水管に詰まりがないか点検をおこなってください。 異常がある場合は、すぐにお買上げ店か専門業者に修理を依頼してください。
蒸気ノズルの洗浄	蒸気ノズルは営業中に随時、および終業時に毎日洗浄をおこなってください。 「洗浄、清掃のしかた」（29ページ、43ページ）を参照して、洗浄をおこなってください。
エスプレッソ抽出器の洗浄（手動または自動）	終業時には必ずエスプレッソ抽出器の洗浄をおこなってください。 「洗浄、清掃のしかた」（31ページ、34ページ）を参照して、エスプレッソ抽出器の手動洗浄または自動洗浄をおこなってください。
熱湯ノズルの洗浄	熱湯ノズルは、終業時に毎日洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」（43ページ）を参照して、洗浄をおこなってください。
ドレンプレート、ドレンパンの洗浄	ドレンプレート、ドレンパンは、終業時に毎日洗浄してください。 「洗浄、清掃のしかた」（44ページ）を参照して、洗浄をおこなってください。

週に2～3回のお手入れ

本体外装の清掃	本体の外装は、中性洗剤を使用し、柔らかい布でていねいに拭いた後、洗剤成分が残らないよう、きれいな水でしぼった布で拭き取ってください。 **⚠ 警 告** **本体に直接水をかけないこと** 漏電、ショート、感電の原因になります。

定休日明け、断水後のお手入れ

水の入れ替え	断水後や、定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えてください。 メインボイラー内の水の入れ替えのしかた 1）プログラムモードの画面で『イレカエ』アイコンをタップして、メインボイラーの水の入替え機能を作動させ、水を入れ替えてください。 （詳しくは15ページを参照してください。） 2）『蒸気レバー』を操作して、約1分間蒸気を排出してください。 コーヒーボイラー内の水の入れ替えのしかた 各エスプレッソ抽出器の『スタート/ストップ』アイコンを押して、約1分間熱湯を排出してください。

1ヶ月に1回点検

漏電遮断器動作確認	漏電遮断器は、１ヶ月に１回動作確認をおこなってください。 1）漏電遮断器のテストボタンを指先などで押してください。 2）「OFF（切）」に切り換わるか確認してください。 切り換われば正常です。 レバーが「OFF（切）」に切り換わらない場合は、そのままの状態ですぐにお買上げ店へご連絡ください。 3）正常な場合は「ON（入）」にしてください。

1年に1～2回の点検

浄水器カートリッジの交換	半年から1年ごとに浄水器カートリッジを交換してください。 カートリッジの注文と交換のしかたは、お買い上げ店におたずねください。
アース線の点検	アース線は、切れたり接続部がゆるんだりしていないか点検してください。 異常がある場合は、電気工事店に修理を依頼してください。
電源コードの点検	電源コードに異常な発熱や破損、重い物が乗ったり、挟み込まれたりしていないか点検してください。 異常がある場合は、すぐにお買上げ店か専門業者に修理を依頼してください。 電源プラグ使用の場合、電源プラグの刃と刃の取付面、およびコンセントにほこりが付いていないか点検してください。 ほこりが付いている場合は、清掃してください。

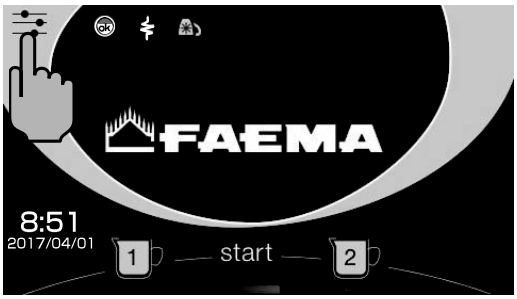
プログラム設定について

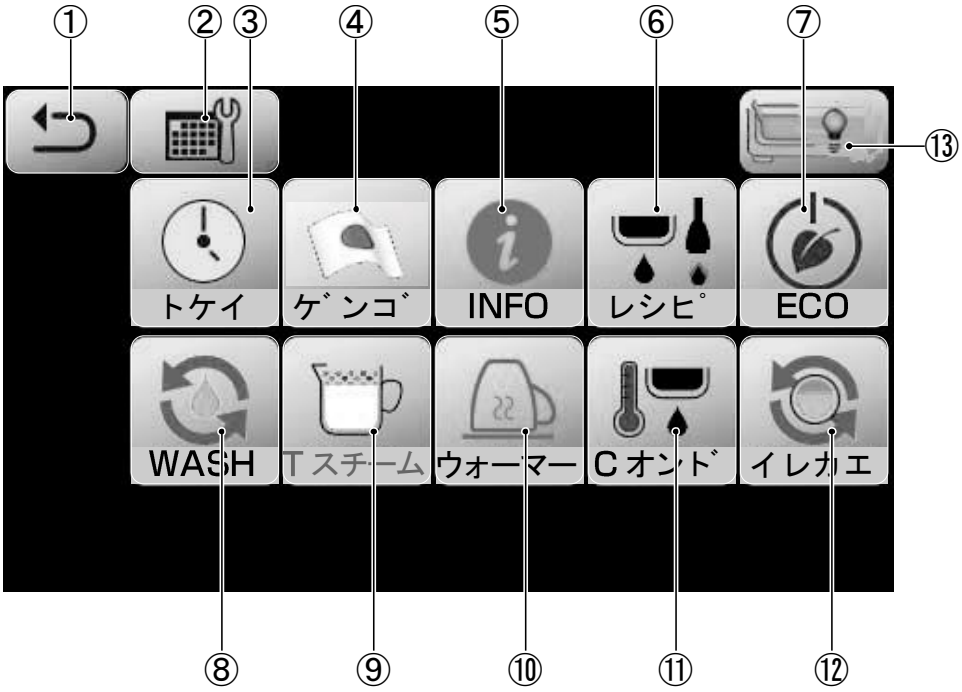
ここでは、本機の各設定の変更方法について説明します

プログラム設定画面

『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。





①『 』アイコン

前画面に戻ります。

②『 』アイコン

テクニカルモードに入ります。
91ページを参照してください。

③『トケイ』アイコン

現在の日付と時刻の設定と、自動ON･OFFタイマーの設定をします。
51ページを参照してください。

④『ゲンゴ』アイコン

メインタッチパネルに表示する言語を変更できます。
工場出荷時の設定は、日本語です。
51ページを参照してください。

⑤『INFO』

前回リセットしてから現在までのエスプレッソコーヒーの抽出杯数のほか熱湯を取り出した回数を確認することができます。
各エスプレッソ抽出アイコン、各熱湯取出しアイコン、『エスプレッソ抽出レバー』の使用回数も確認することができます。
52ページを参照してください。

⑥『レシピ』

エスプレッソ抽出アイコンの設定を変更できます。
54ページを参照してください。

⑦『ECO』

本機を省電力モードにします。
55ページを参照してください。

⑧『WASH』

自動洗浄方法を選択し、自動洗浄をおこなうことができます。
また、自動洗浄時刻の設定もできます。
55ページを参照してください。

⑨本機では使用しません。

⑩『ウォーマー』

本機上部のカップウォーマーの温度の強さを設定できます。
56ページを参照してください。

⑪『Cオンド』

各エスプレッソ抽出器の上部にあるコーヒーボイラーの設定温度を変更できます。
56ページを参照してください。

⑫『イレカエ』

メインボイラー内の約60～70%の水を入れ替える機能です。
57ページを参照してください。

⑬『 』アイコン

エスプレッソ抽出器下部と、背面パネルの照明の明るさの設定を変更できます。
89ページを参照してください。

プログラム設定のメニュー

「

」

現在の日付と時刻を設定します。
自動ON･OFFタイマーの設定をします。

メニュー	内容	設定 / 選択値
On/Off 62ページを参照してください。	自動ON･OFFタイマーの設定をします。 自動ON･OFFタイマーを設定すると、自動ONの時刻に電源が入り、ボイラータンクへの給水をおこない、ウォーミングアップをして待機します。 また、自動OFFの時刻になると、電源が切れます。	シヨウ YES： 自動ON･OFFタイマーを使用します。 自動OFFの時間帯はLED照明を消灯しますが、すべてのタッチパネルは表示されたままでメインタッチパネルに「マシン オフ」 と表示されます。 ECO： 自動ON･OFFタイマーを使用します。 自動OFFの時間帯はLED照明を消灯しますが、すべてのタッチパネルは表示されたままメインタッチパネルに「マシン オフ」 と表示されます。 自動OFFの時間帯はメインボイラー圧力を0.2barに保ちます。(コーヒーボイラーヒーターへは通電されません) NO： 自動ON･OFFタイマーは作動しません。
ジ゛コク 60ページを参照してください。	現在の時刻を設定します。	現在の時刻を設定します。
ヒヅ゛ケ 58ページを参照してください。	現在の日付を設定します。	現在の日付を設定します。

「

」

メインタッチパネルに表示する言語をイタリア語、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、日本語、オランダ語から選択できます。
工場出荷時の設定は、日本語です。
日本語を使用する場合は、他の言語のアイコンをタップしないでください。

65ページを参照してください。

メニュー	内容	設定 / 選択値
Italiano	—	イタリア語
English	—	英語
Francais	—	フランス語
Deutsch	—	ドイツ語
中文	—	中国語
Espanol	—	スペイン語
Portug.	—	ポルトガル語
ニホンゴ	—	日本語（工場出荷時の設定）
Nederl.	—	オランダ語

「 INFO 」

前回リセットしてから現在までのエスプレッソコーヒーの抽出杯数のほか熱湯を取り出した回数、『エスプレッソ抽出レバー』を使用した回数を確認することができます。

66ページ、または69ページを参照してください。

メニュー		内容	設定 / 選択値
カウンター	コーヒーグループ1	エスプレッソ抽出器ごとの抽出杯数を表示します。 「コーヒーグループ１」は、左側のエスプレッソ抽出器を表しています。 前回リセットしてから現在までのエスプレッソ抽出杯数です。 2杯取り用のエスプレッソ抽出アイコンは、1回の抽出でコーヒーを2杯抽出したものとしてカウントされます。『スタート/ストップ』アイコン、およびエスプレッソ抽出レバーによるコーヒーの抽出は、抽出時間が５秒以上なら１杯抽出したものとしてカウントします。	『リセット』アイコンをタップすると数値が０になります。
	コーヒーグループ2		
	コーヒーグループ3		
	コーヒーグループ４		
	ネットウ	前回リセットしてから現在までの熱湯取り出し回数を表示します。 メインタッチパネルに表示されている『熱湯スタート』アイコンをタップして熱湯を取り出した回数もカウントされます。	
	スチーム	本機では使用しません。	―
	スチーム+エアー	本機では使用しません。	―
	ホットミルク	本機では使用しません。	―
	コールドミルク	本機では使用しません。	―
	コーヒーゴウケイ	すべてのエスプレッソ抽出器からこれまでに抽出したコーヒー杯数の合計を表示します。 2杯取り用のエスプレッソ抽出アイコンは、1回の抽出でコーヒーを2杯抽出したものとしてカウントされます。『スタート/ストップ』アイコン、およびエスプレッソ抽出レバーによるコーヒーの抽出は、抽出時間が５秒以上なら１杯抽出したものとしてカウントします。	リセット不可。

<table>
<tr><th colspan="2">メニュー</th><th>内容</th><th>設定 / 選択値</th></tr>
<tr><td rowspan="4">カイスウ</td><td>ＧＲ１</td><td rowspan="3">各エスプレッソ抽出アイコンと、エスプレッソ抽出レバーの抽出回数を表示します。
前回リセットしてから現在までのエスプレッソ抽出回数です。</td><td rowspan="4">『リセット』アイコンをタップすると数値が０になります。</td></tr>
<tr><td>ＧＲ２</td></tr>
<tr><td>ＧＲ３</td></tr>
<tr><td>ネットウ</td><td>各熱湯取出しアイコンの熱湯取出し回数を表示します。
前回リセットしてから現在までの熱湯取出し回数です。</td></tr>
</table>

「 レシピ 」

エスプレッソ抽出アイコンの設定を変更できます。

72ページ、75ページ、79ページを参照してください。

メニュー	サブメニュー	設定 / 選択値
GR1	1	：　コーヒー抽出量の設定：0～1999 (パラメータ値) ：　蒸らし時間の設定：OFF、0.5～10.0（単位：秒、0.5秒刻み） ：　実際にエスプレッソコーヒーを抽出しながら、画面にコーヒーボイラー温度などの動作状況を表示します。
	2	
	3	
	4	
		実際にエスプレッソコーヒーを抽出しながら抽出量を設定する場合に使用します。 アイコンをタップすると、アイコンの枠が赤色になり、アラーム音「ピッ」が2.4秒間隔で鳴ります。 この状態で、設定したいエスプレッソ抽出アイコンをタップした後、『エスプレッソ抽出レバー』を操作してコーヒーを抽出します。 『エスプレッソ抽出レバー』を１段階上げていた時間が新しい蒸らし時間、上に止まるところまで起こして抽出を開始し、『エスプレッソ抽出レバー』を下げて抽出を停止させるまでに出た抽出量を新しい抽出量として設定されます。
GR2	GR1と同様	設定する内容はGR1と同じです。
GR3	GR1と同様	設定する内容はGR1と同じです。 機械が３連タイプの場合、設定可能
ネットウ	1 (熱湯取出し1)	SET：　熱湯取出量の設定：0.1～60.0（単位：秒、0.1秒刻み）
	2 (熱湯取出し2)	%：　熱湯取出温度の設定：LOW、0～100%（5%刻み）、HIGH ：　実際に熱湯を取出しながら､画面にメインボイラー圧力などの動作状況を表示します。
	start (熱湯スタート)	%：　熱湯取出温度の設定：　0～100%（5%刻み） ：　実際に熱湯を取出しながら､画面にメインボイラー圧力などの動作状況を表示します。

「 ECO 」

本機を省電力モードにします。
81ページを参照してください。

メニュー	内容	設定 / 選択値
ECO	本機を省電力モードにします。	『ECO』アイコンをタップすると同時に、省電力モードになり、LED照明が消灯します。 画面に「ショウデンリョク モード」と表示されます。 省電力モード中、メインボイラーは下記圧力に保ちます。 メインボイラー設定圧力が1.2bar以上の場合 → 0.8barに保ちます。 メインボイラー設定圧力が1.1bar以下の場合 → 「設定圧力—0.4bar」に保ちます。 コーヒーボイラーは、省電力モード中でも設定温度に保ちます。 カップウォーマーは設定がOFF以外の場合、省電力モード中は自動で「弱」の設定になります。 省電力モードを解除するには、任意のアイコンを１度タップしてください。

「 WASH 」

自動洗浄方法を選択し、自動洗浄をおこなうことができます。
自動洗浄時刻の設定ができます。

メニュー	サブメニュー	内容	設定 / 選択値
コーヒー	ジュンバン	全抽出器を1連目から順番に洗浄します。	『ジュンバン』を選択して『OK』アイコンをタップすると、すべてのエスプレッソ抽出器を1連目から順番に洗浄する動作を開始します。
	ドウジ	全抽出器を同時に洗浄します。	『ドウジ』を選択して『OK』アイコンをタップすると、すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄する動作を開始します。
	シングル	洗浄したい抽出器を1つ選択して洗浄します。	『シングル』を選択して、洗浄したいエスプレッソ抽出器を選択し、『OK』アイコンをタップすると、そのエスプレッソ抽出器のみ洗浄する動作を開始します。
ジコク 82ページを参照してください。	イレカエ	毎日、メインボイラー内の水の入れ替えをうながすメッセージの表示時刻を設定できます。	この機能をお使いになる場合は、お買い上げ店にご連絡ください。
	コーヒー	自動洗浄をうながすメッセージの表示時刻を設定できます。 設定した自動洗浄時刻になると、画面に「センジョウコーヒー」と表示され、「ピッ」というアラーム音が2秒間隔で鳴ります。 洗浄を実施しない場合、洗浄メッセージは1時間後に消えます。	洗浄方法の選択 『ジュンバン』 すべてのエスプレッソ抽出器を1連目から順番に洗浄 『ドウジ』 すべてのエスプレッソ抽出器を同時に洗浄 『キャンセル』 自動洗浄時刻の設定をキャンセル 洗浄時刻の設定：5分刻み

「

」

本機上部のカップウォーマーの温度の強さを設定できます。

85ページを参照してください。

メニュー	内容	サブメニュー	設定 / 選択値
ウォーマー	カップウォーマーの強さ設定	―	OFF 弱（工場出荷時の設定 50%） 中（工場出荷時の設定 75%） 強（工場出荷時の設定 100%） 「弱」「中」「強」の強さは、調整することができます。

「

」

各エスプレッソ抽出器の上部にあるコーヒーボイラーの設定温度を変更できます。

87ページを参照してください。

メニュー	内容	サブメニュー	設定 / 選択値
Cオンド	コーヒーボイラーの温度設定	1 (エスプレッソ抽出器1)	1連目のコーヒーボイラー温度設定： 温度設定変更範囲90.0～94.0℃ (0.5℃刻み)
		2 (エスプレッソ抽出器2)	2連目のコーヒーボイラー温度設定： 温度設定変更範囲90.0～94.0℃ (0.5℃刻み)
		3 (エスプレッソ抽出器3)	3連目のコーヒーボイラー温度設定： 温度設定変更範囲90.0～94.0℃ (0.5℃刻み)

コーヒーボイラーの温度設定範囲は、工場出荷時のものです。
上記の範囲を超える温度に設定する場合は、お買い上げ店へご連絡ください。

「

」

メインボイラー内の約60～70%の水を入れ替える機能です。

15ページを参照してください。

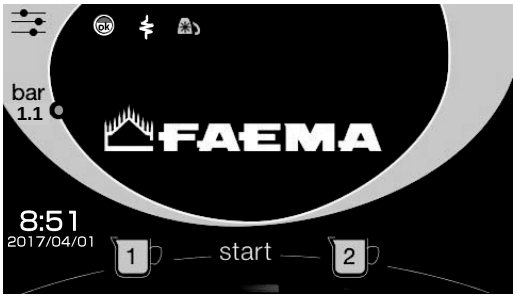
メニュー	内容	サブメニュー	設定 / 選択値
イレカエ	メインボイラーの 水の入れ替え	―	メインボイラー内の約60～70%の水を入れ替える機能です。 このアイコンをタップすると、メインボイラーのヒーターがOFFになり、熱湯ノズルから蒸気混じりの熱湯が排水されます。 排水中、メインタッチパネルには「ボイラーハイスイ」と表示されます。 排水は、約3分30秒間おこなわれます。 (排水中は、ポンプは作動しません) 排水を途中で止める場合は、メインタッチパネル中央下のいずれかの熱湯取出しアイコンをタップしてください。 排水動作終了後は、メインボイラーへの給水と昇温を開始します。 **お願い** メインボイラーの水の入れ替えは、ウォーミングアップが完了してからおこなってください。 ウォーミングアップ中でも水の入れ替えを開始することが可能ですが、ボイラー圧力が上昇していなければ、水道水だけが熱湯ノズルから出るだけとなり、メインボイラーの水は入れ替わりません。

日付の設定

現在の日付を設定します

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

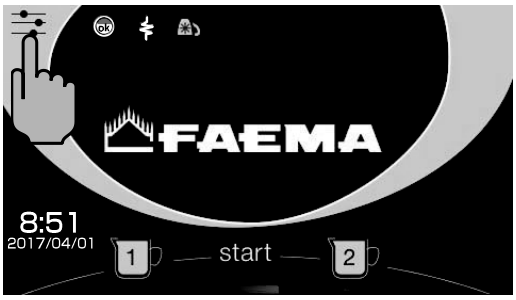
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

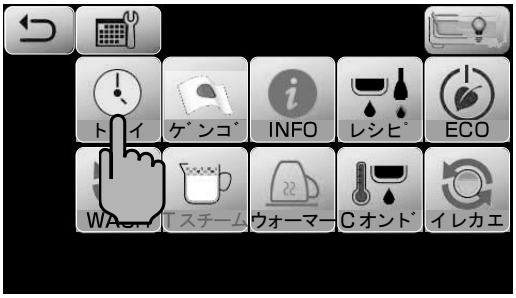
『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



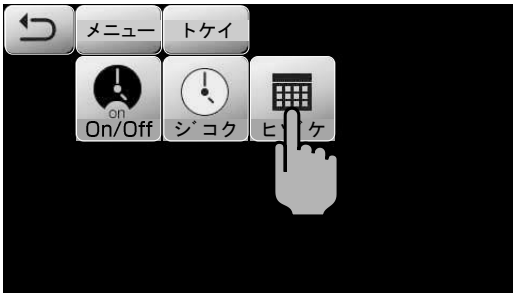
3. 『トケイ』アイコンをタップしてください

「トケイ」の画面が表示されます。

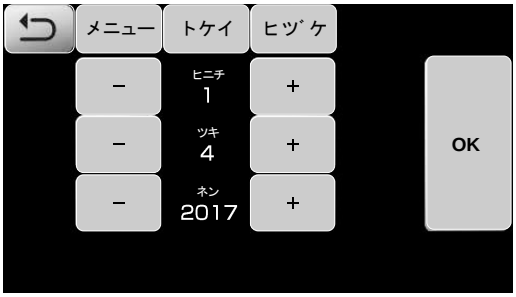


4. 『ヒヅケ』アイコンをタップしてください

「ヒヅケ」の画面が表示されます。



5. 日付を設定してください



「ヒヅケ」には以下の設定項目があります。

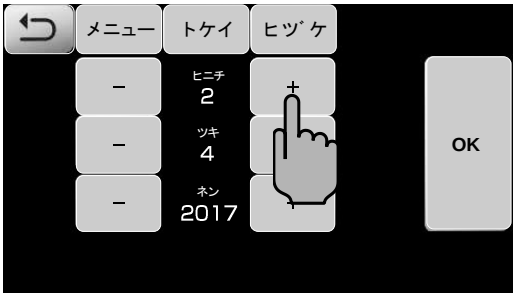
ヒニチ	日を設定します。
ツキ	月を設定します。
ネン	年（西暦）を設定します。

『＋』アイコン、または『－』アイコンをタップして、日付を変更してください。

『＋』アイコンをタップするごとに数値が増えます。
『－』アイコンをタップするごとに数値が減ります。

ここでは、1例として「ヒニチ」を1日から2日に変更します。

年や月を変更する必要がある場合は、同様の手順で変更してください。

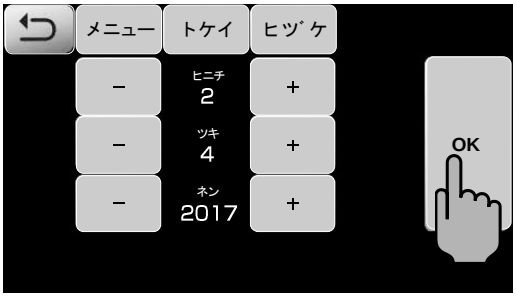


変更が完了しましたら『OK』アイコンをタップしてください。

変更が確定され、１つ前の画面に戻ります。

変更をキャンセルする場合は、『⮌』アイコンをタップすると変更をキャンセルして、１つ前の画面に戻ります。

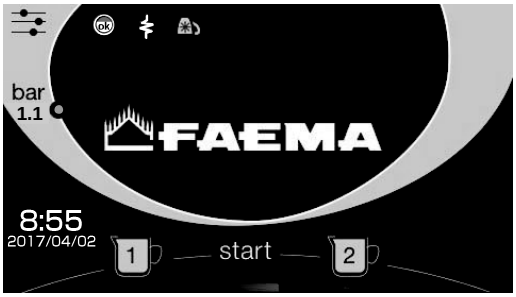
これで「ヒニチ」が１日から２日に変更されました。



6. プログラムモードを終了してください

『⮌』アイコンを２回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

メインタッチパネルには設定した日付が表示されます。

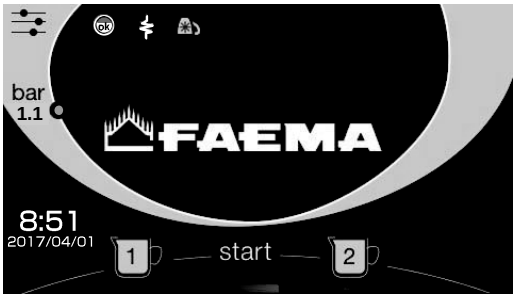


時刻の設定

現在の時刻を設定します

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

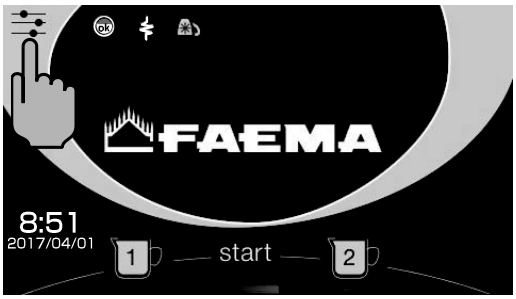
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

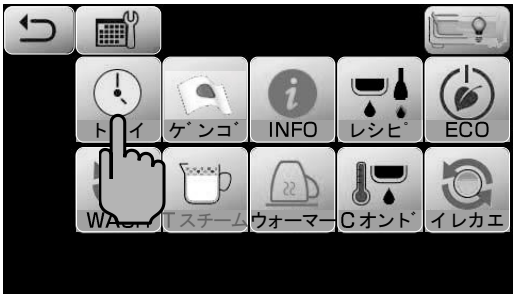
『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



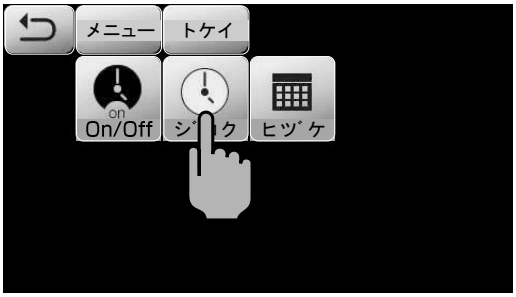
3. 『トケイ』アイコンをタップしてください

「トケイ」の画面が表示されます。

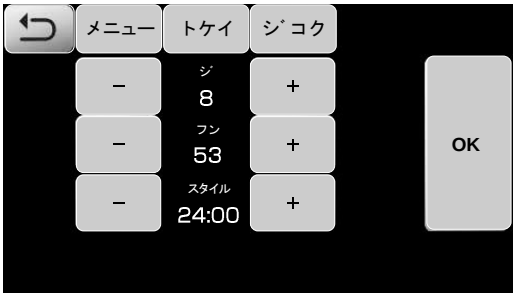


4. 『ジコク』アイコンをタップしてください

「ジコク」の画面が表示されます。



5. 時間を設定してください



「ジコク」には以下の設定項目があります。

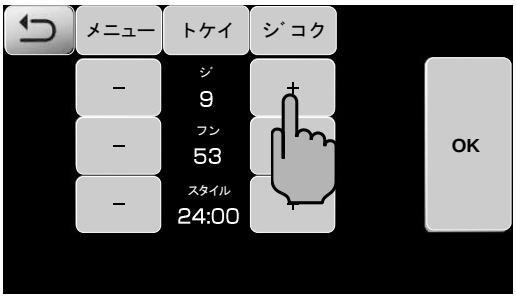
ジ	時を設定します。
フン	分を設定します。
スタイル	24時間制(24:00)、または12時間制(AM/PM)に切替えます。

『 ＋ 』アイコン、または『 － 』アイコンをタップして、時刻を変更してください。

『 ＋ 』アイコンをタップするごとに数値が増えます。
『 － 』アイコンをタップするごとに数値が減ります。

ここでは、1例として「ジ」を8時から9時に変更します。

分を変更する必要がある場合は、同様の手順で変更してください。

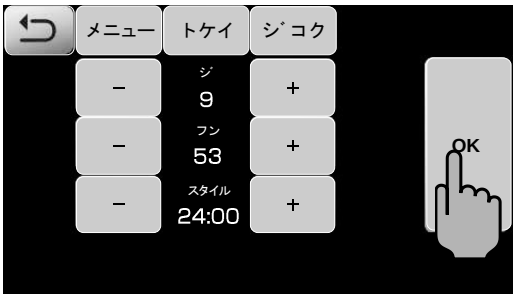


変更が完了しましたら『OK』アイコンをタップしてください。

変更が確定され、１つ前の画面に戻ります。

変更をキャンセルする場合は、『 ⮌ 』アイコンをタップすると変更をキャンセルして、１つ前の画面に戻ります。

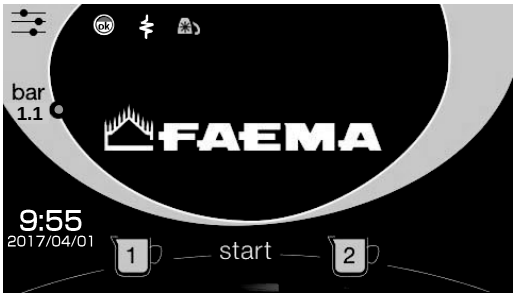
これで「ジ」が8時から9時に変更されました。



6. プログラムモードを終了してください

『 ⮌ 』アイコンを２回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

メインタッチパネルには設定した時間が表示されます。



自動ON･OFFタイマーと定休日の設定

自動ON･OFFタイマーを設定すると、自動ONの時刻に電源が入り、ボイラータンクへの給水をおこない、ウォーミングアップをして待機します

また、自動OFFの時刻になると、電源が切れます
（すべてのタッチパネルは表示されたままで、メインタッチパネルには「マシン オフ」と表示されます）

自動OFFの時刻を設定する場合は終業時の洗浄に要する時間をプラスして設定をおこなってください
洗浄には電源が入っていないとおこなえないものがあります
詳しくは「洗浄、清掃のしかた」（28ページ）を参照してください

自動ON･OFFタイマーを使用しない場合は「シヨウ」を「NO」にしておくか、ON･OFFを同じ時刻に設定しておいてください

自動ON・OFFタイマーを使用する場合、定休日の設定をすると、定休日は自動ONタイマーがはたらかなくなります

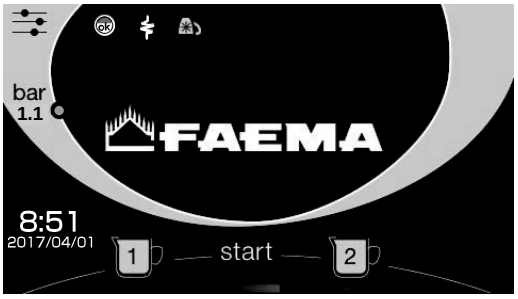
自動ON・OFFタイマーを使用する場合、「シヨウ」を「ECO」に設定すると、自動OFFの時間帯でもメインボイラーヒーターへ通電され、メインボイラー圧力を0.2barに保ちます

お願い

自動 ON・OFF タイマーを使用する場合は、電源スイッチは「OFF（切）」にしないでください。
電源スイッチを「OFF（切）」にしていると、自動ON・OFFタイマーは機能しません。

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

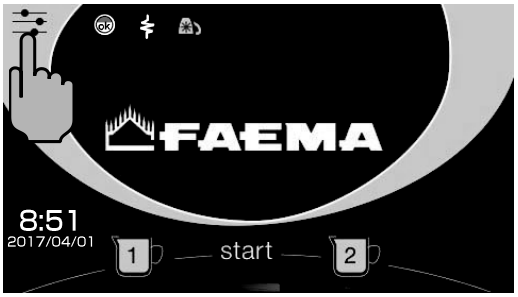
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

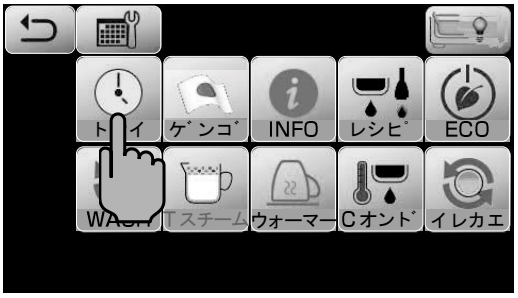
『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



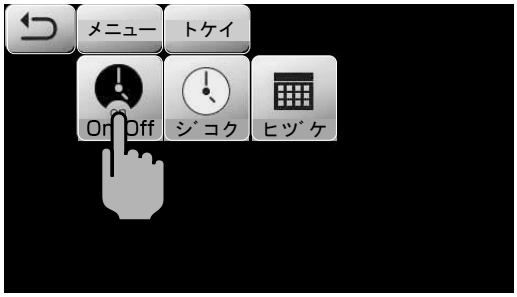
3. 『トケイ』アイコンをタップしてください

「トケイ」の画面が表示されます。

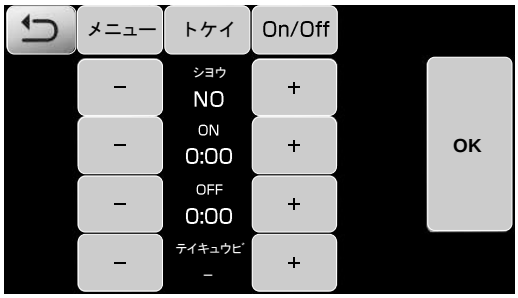


4. 『On/Off』アイコンをタップしてください

「On/Off」の画面が表示されます。



5. 自動ON･OFFになる時刻を設定してください



「On/Off」には以下の設定項目があります。

シヨウ	自動ON・OFFタイマーの使用を選択します。 NO　：自動ON・OFFタイマーを使用しません。 ECO　：自動ON・OFFタイマーを使用し、自動OFFの時間帯はメインボイラー圧力を0.2barに保ちます。 YES　：自動ON・OFFタイマーを使用します。
ON	本体の電源が自動的に「ON」になり、ウォーミングアップを始める時刻を設定します。 時刻は、10分刻みで変更できます。 設定時刻になると電源が入り自動給水と昇温動作を開始します。
OFF	本体の電源が自動的に「OFF」になる時刻を設定します。 時刻は、10分刻みで変更できます。
テイキュウビ	定休日を設定します。 定休日に設定した曜日は、自動ON･OFFタイマーが機能しなくなります。

メモ

自動 ON・OFF タイマーを使用する場合、「シヨウ」を「ECO」に設定すると、自動 OFF の時間帯でもメインボイラーヒーターへ通電され、メインボイラー圧力を 0.2bar に保ちます。
この機能を使用しますと、ウォーミングアップにかかる時間が短縮できます。

『＋』アイコン、または『－』アイコンをタップして各項目を設定してください。

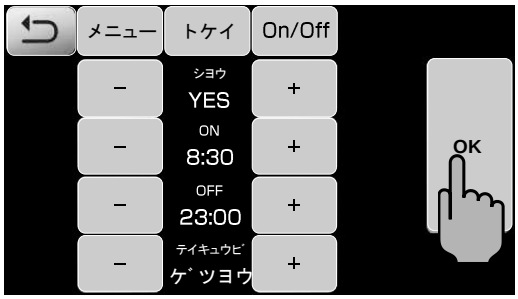
時間の設定は、『＋』アイコンをタップするごとに数値が10分ずつ増え、『－』アイコンをタップするごとに数値が10分ずつ減ります。
『＋』アイコン、または『－』アイコンを押しつづけると数値は速く変わります。

設定が完了しましたら『OK』アイコンをタップしてください。

設定が確定され、１つ前の画面に戻ります。

設定をキャンセルする場合は、『⮌』アイコンをタップすると設定をキャンセルして、１つ前の画面に戻ります。

これで自動ON・OFFタイマーが変更されました。



6. プログラムモードを終了してください

『⮌』アイコンを２回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

メモ

機械は、自動 ON·OFF タイマーで設定した電源 OFF の時間帯になると、タッチパネルの画面は下のようになります。

エスプレッソ抽出タッチパネル

メインタッチパネル

自動 ON·OFF タイマーで設定した電源 OFF の時間帯に機械を操作するときは、いずれかのタッチパネルのアイコン部分をタップしてください。
　ウォーミングアップが始まり、完了後、抽出可能な状態になります。

もう一度「マシン オフ」（自動 ON·OFF タイマーで設定した電源 OFF の時間帯）の状態に戻すには、一度本体の電源スイッチを「OFF（切）」にして、再度電源スイッチを「ON（入）」にしてください。

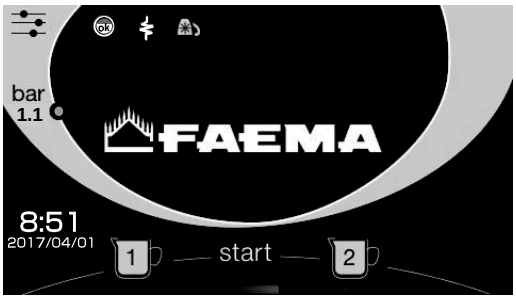
言語の選択

メインタッチパネルに表示される言語を変更することができます

工場出荷時の設定は、「ニホンゴ」（日本語）になっています

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

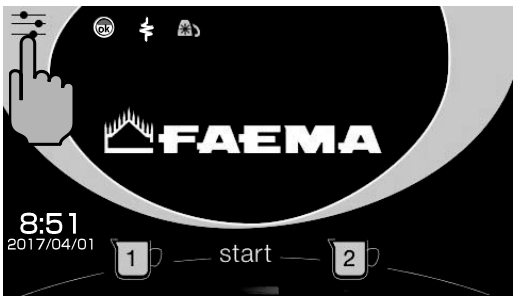
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

『 』アイコンをタップしてください。

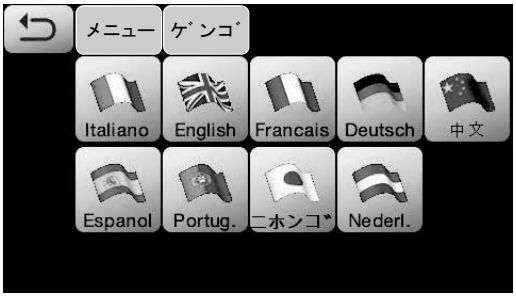
プログラムモードの画面が表示されます。



3. 『ゲンゴ』アイコンをタップしてください

「ゲンゴ」の画面が表示されます。

『Italiano』『English』など他の言語のアイコンをタップすると、メインタッチパネルに表示される言語が変更され、１つ前の画面に戻ります。



お願い

日本語を使用する場合は、他の言語のアイコンをタップしないでください。

言語を変更しない場合は、『 』アイコンをタップして、１つ前の表示に戻ってください。

4. プログラムモードを終了してください

『 』アイコンをタップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

エスプレッソコーヒー抽出杯数および熱湯の使用回数の管理

エスプレッソコーヒーの抽出杯数のほか熱湯を取り出した回数の管理をします

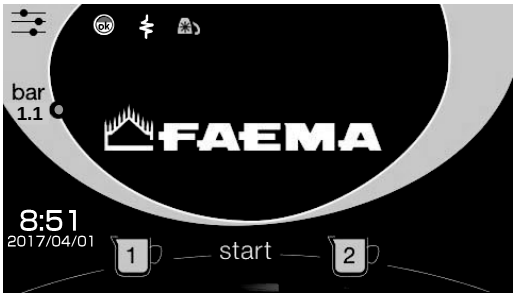
エスプレッソコーヒーの抽出杯数は、前回リセットしてから現在までに何杯抽出したかを確認できます

熱湯を取り出した回数は、前回リセットしてから現在までに何回使用したかを確認できます

機械が稼働してから現在までのエスプレッソコーヒーの合計抽出杯数を確認できます

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

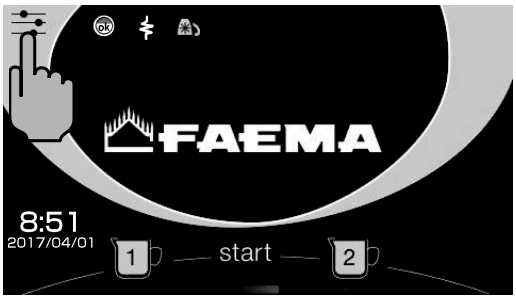
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。

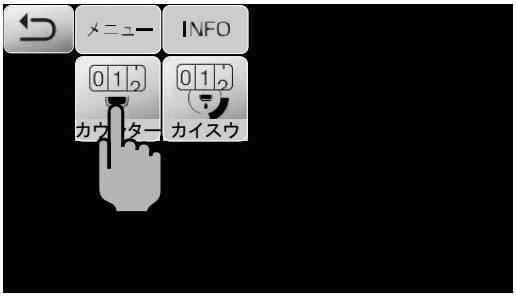


3. 『INFO』アイコンをタップしてください

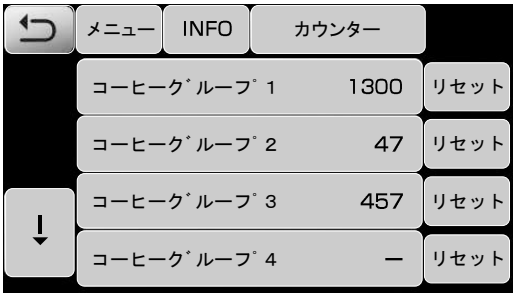
「INFO」の画面が表示されます。

4. 『カウンター』アイコンをタップしてください

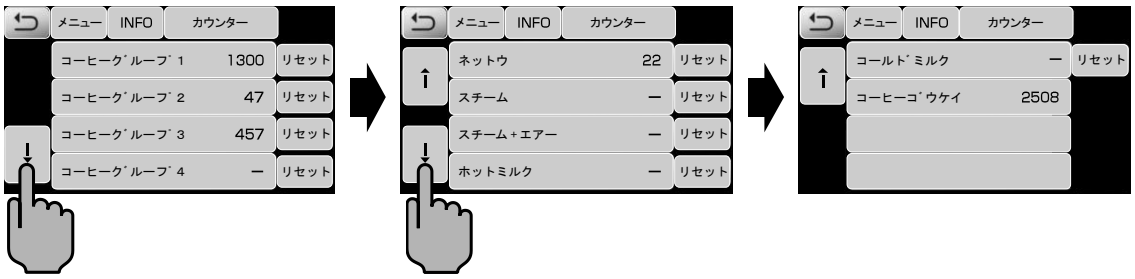
「カウンター」の画面が表示されます。



エスプレッソの抽出杯数を確認することができます。



『↓』アイコン、または『↑』アイコンをタップすると、下のような画面が表示されます。



各項目は以下のことをあらわしています。

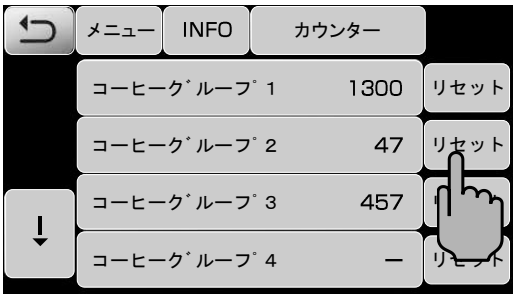
コーヒーグループ１	エスプレッソ抽出器ごとの抽出杯数の表示です。 「コーヒーグループ１」は、左側のエスプレッソ抽出器を表しています。 前回リセットしてから現在までのエスプレッソ抽出杯数です。 2杯取り用のエスプレッソ抽出アイコンは、1回の抽出でコーヒーを2杯抽出したものとしてカウントされます。 『スタート/ストップ』アイコン、および『エスプレッソ抽出レバー』によるコーヒーの抽出は、抽出時間が５秒以上なら１杯抽出したものとしてカウントします。
コーヒーグループ２	
コーヒーグループ３	
コーヒーグループ４	
ネットウ	前回リセットしてから現在までの熱湯取出し回数です。 メインタッチパネルに表示されている『熱湯スタート』アイコンをタップして熱湯を取り出した回数もカウントされます。
スチーム	本機では使用しません。
スチーム＋エアー	本機では使用しません。
ホットミルク	本機では使用しません。
コールドミルク	本機では使用しません。
コーヒーゴウケイ	すべてのエスプレッソ抽出器からこれまでに抽出したコーヒー杯数の合計です。 2杯取り用のエスプレッソ抽出アイコンは、1回の抽出でコーヒーを2杯抽出したものとしてカウントされます。 『スタート/ストップ』アイコン、および『エスプレッソ抽出レバー』によるコーヒーの抽出は、抽出時間が５秒以上なら１杯抽出したものとしてカウントします。 この項目は数値をリセットできません。

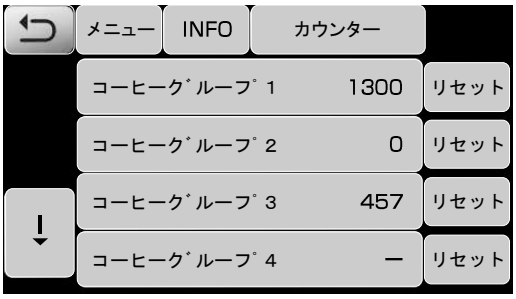
各抽出杯数をリセットする場合

リセットする項目の『リセット』アイコンをタップしてください。

抽出杯数の数値が「0」に変わります。

「コーヒーグループ」の数値をリセットしても「コーヒーゴウケイ」の数値は、変わりません。





5. プログラムモードを終了してください

内容を確認した後は、『 』アイコンを３回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

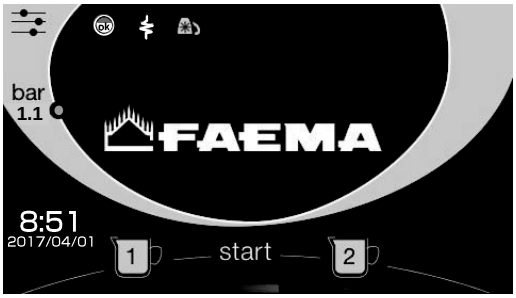
各エスプレッソ抽出アイコン、エスプレッソ抽出レバー、および各熱湯取出しアイコンの使用回数の管理

各エスプレッソ抽出アイコンの使用回数のほかエスプレッソ抽出レバーや各熱湯取出しアイコンの使用回数の管理をします

前回リセットしてから現在までに何回使用したかを確認できます

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

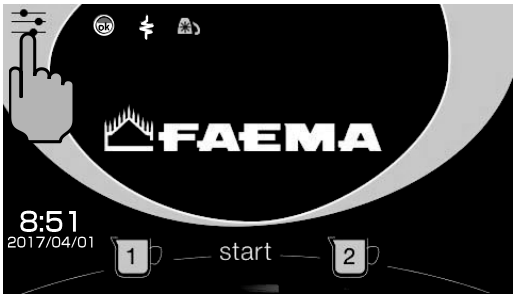
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

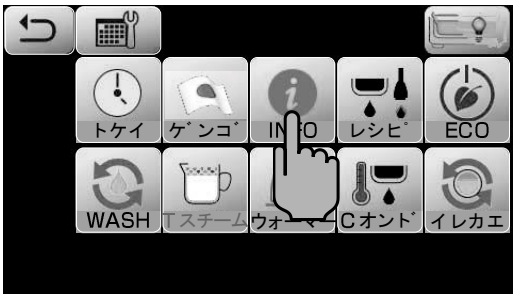
『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



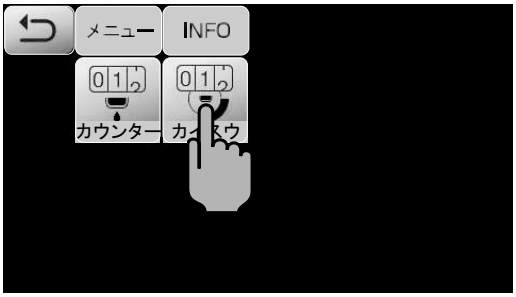
3. 『INFO』アイコンをタップしてください

「INFO」の画面が表示されます。



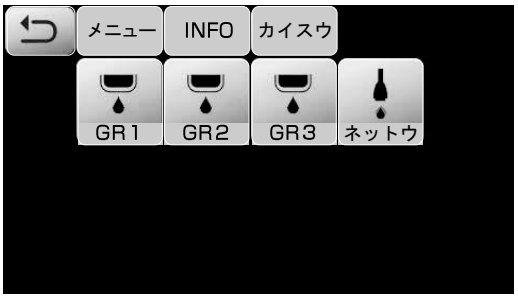
4. 『カイスウ』アイコンをタップしてください

「カイスウ」の画面が表示されます。



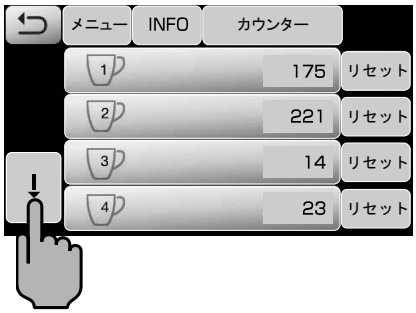
5. 使用回数を確認するグループのアイコンをタップしてください

グループの一覧が画面に表示されます。



いずれかのコーヒーグループのアイコンをタップした場合、グループの一覧が画面に表示され、各使用回数を確認することができます。

『↓』アイコンをタップすると、右下の画面が表示されます。



「 」はエスプレッソ抽出レバーの使用回数です。

『ネットウ』アイコンをタップした場合、熱湯取出しグループの一覧が画面に表示され、各使用回数を確認することができます。

各項目は以下のことをあらわしています。

GR1	各エスプレッソ抽出アイコンと、『エスプレッソ抽出レバー』の使用回数の表示です。 前回リセットしてから現在までの各使用回数です。
GR2	
GR3	
ネットウ	各熱湯取出しアイコンの熱湯取出し回数の表示です。 前回リセットしてから現在までの熱湯取出し回数です。

各抽出回数をリセットする場合

リセットする項目の『リセット』アイコンをタップしてください。

使用回数の数値が「0」に変わります。

6. プログラムモードを終了してください

内容を確認した後は、『 』アイコンを4回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

エスプレッソコーヒー抽出量と蒸らし時間の変更 (数値で変更する方法)

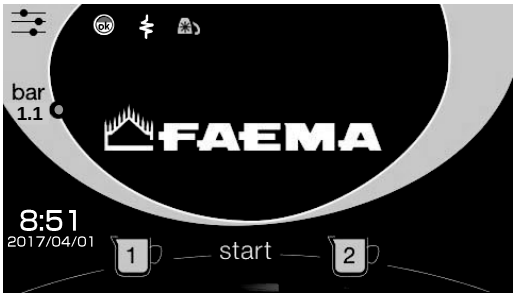
抽出湯量の数値を変更してエスプレッソコーヒーの抽出量を変えることができます
また、蒸らし時間も変更することができます

エスプレッソコーヒーの抽出量と蒸らし時間は、本機の据え付け後の味合わせの際に、お買上げ店の担当者がお客様のご希望に合わせて設定いたします

本機のご利用中にお客様のご都合により抽出プログラムを変更される場合は、以下の手順にしたがって変更をおこなってください

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

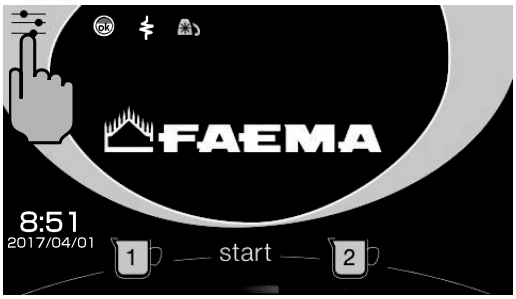
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

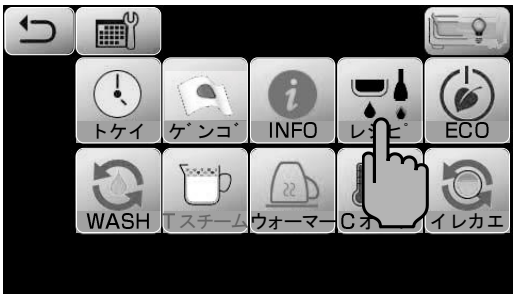
『 』アイコンをタップしてください。

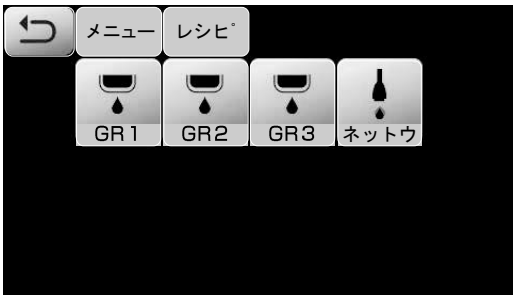
プログラムモードの画面が表示されます。



3. 『レシピ』アイコンをタップしてください

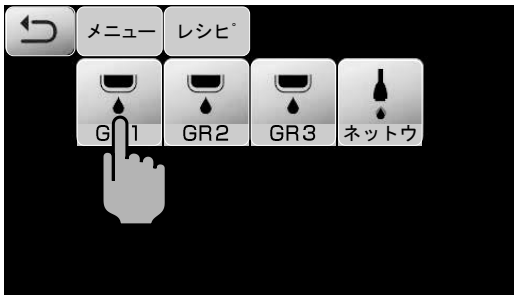
「レシピ」の画面が表示されます。





4. 変更したいエスプレッソ抽出グループのアイコンをタップしてください

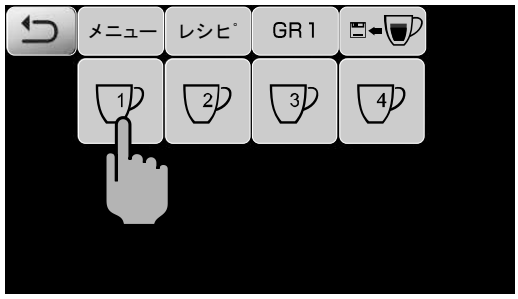
『GR1』アイコンをタップした場合、「GR1」（エスプレッソ抽出グループ１）の画面が表示されます。



『GR1』…エスプレッソ抽出グループ1（左側の抽出器）
『GR2』…エスプレッソ抽出グループ2（左側から2番目の抽出器）
『GR3』…エスプレッソ抽出グループ3（左側から3番目の抽出器）

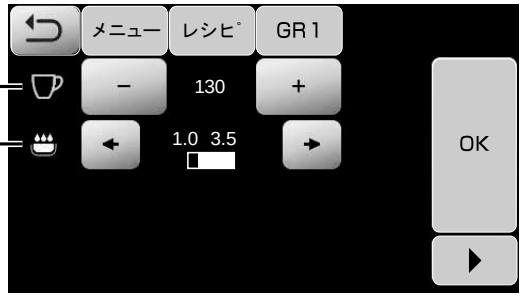
5. 設定を変更するエスプレッソ抽出アイコンをタップしてください

エスプレッソ抽出アイコンの設定画面が表示されます。



選択したエスプレッソ抽出グループのタッチパネルには右のようにエスプレッソ抽出アイコンの番号が表示されます。

6. エスプレッソ抽出湯量と蒸らし時間を変更してください



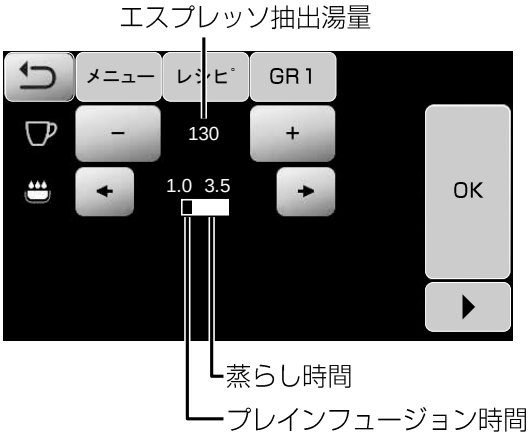
各エスプレッソ抽出アイコンの工場出荷時の設定は、下表のようになっています。

抽出アイコン	エスプレッソ抽出湯量の設定値	蒸らし時間の設定値
エスプレッソ　1杯用(小)	130	3.5秒
エスプレッソ　2杯用(小)	230	3.5秒
エスプレッソ　1杯用(大)	240	3.5秒
エスプレッソ　2杯用(大)	440	3.5秒

エスプレッソコーヒーの抽出量は、設定値「10」に対して約3mLです。

設定値が「130」の場合、抽出量は約39mLになります。
（数値は、あくまでも目安です。抽出量は、コーヒー粉の量やメッシュの粗さなどの条件によって異なります。）

エスプレッソ抽出湯量を変更する場合は、『 － 』、または『 ＋ 』アイコンをタップして数値を変更してください。
『 － 』アイコンをタップすると数値が減ります。
『 ＋ 』アイコンをタップすると数値が増えます。
設定範囲：0～1999



蒸らし時間の目盛りは、左側がプレインフュージョン時間、右側が蒸らし時間になります。
時間の単位は秒です。
プレインフュージョン時間(工場出荷時1.0秒)はテクニカルモードでのみ変更が可能です。
数値を変更したい場合は、「プレインフュージョン時間の設定」(91ページ)を参照してください。

蒸らし時間を変更する場合は、『 ← 』、または『 → 』アイコンをタップして数値を変更してください。
『 ← 』アイコンをタップすると数値が減ります。
『 → 』アイコンをタップすると数値が増えます。
設定範囲：OFF、0.5～10.0（単位：秒、0.5秒刻み）

変更が完了しましたら『OK』アイコンをタップして、変更を確定してください。
変更をキャンセルする場合は、『 』アイコンをタップすると、変更をキャンセルして、1つ前の画面に戻ります。

他のエスプレッソ抽出アイコンの設定を変更する場合は、同様の手順で変えてください。

7. プログラムモードを終了してください

『 』アイコンを4回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

エスプレッソコーヒー抽出量と蒸らし時間の変更 (エスプレッソコーヒーを抽出しながら設定する方法)

エスプレッソ抽出器で任意の時間蒸らしをおこない、任意の量のエスプレッソコーヒーを抽出して、そのときの蒸らし時間とエスプレッソコーヒーを抽出した量を新しい設定値として変えることができます

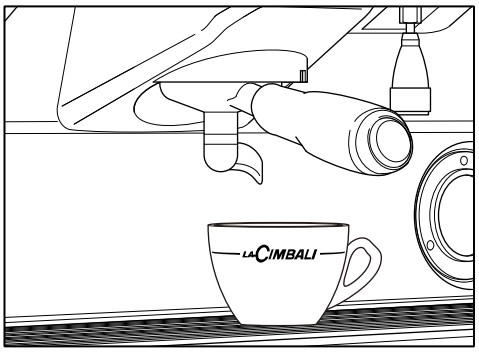
エスプレッソコーヒーの抽出量と蒸らし時間は、本機の据え付け後の味合わせの際に、お買上げ店の担当者がお客様のご希望に合わせて設定いたします

本機のご利用中にお客様のご都合により抽出プログラムを変更される場合は、以下の手順にしたがって変更をおこなってください

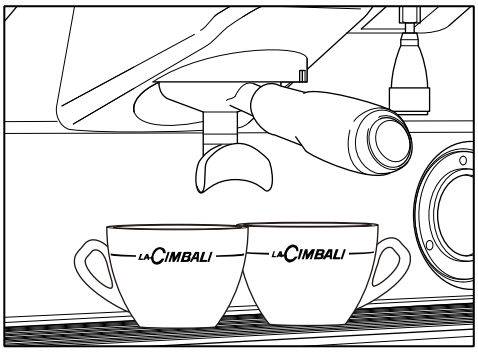
1. エスプレッソ抽出器にコーヒー粉を入れたエスプレッソ抽出容器を取り付けてください

実際に使用する量のコーヒー粉を入れたエスプレッソ抽出容器をエスプレッソ抽出器に取り付けてください。

エスプレッソ抽出口の下に、コーヒーカップを置いてください。



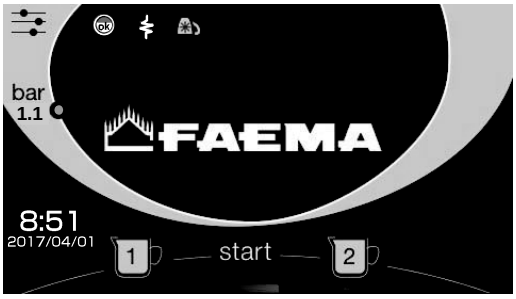
1 人用の場合



2 人用の場合

2. 本体が通常の状態であることを確認してください

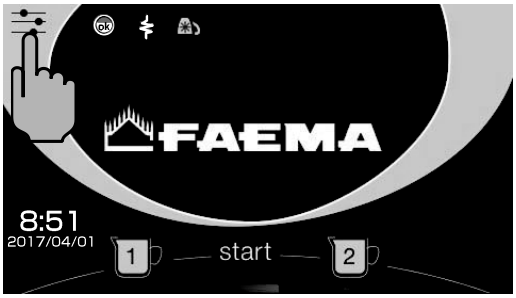
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



3. プログラムモードに入ってください

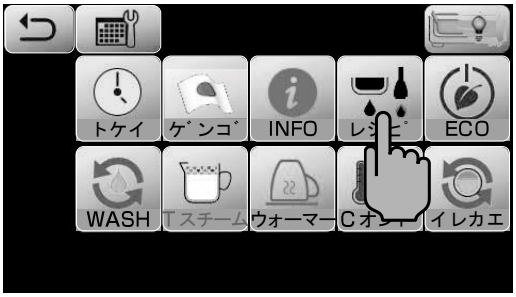
『 』アイコンをタップしてください。

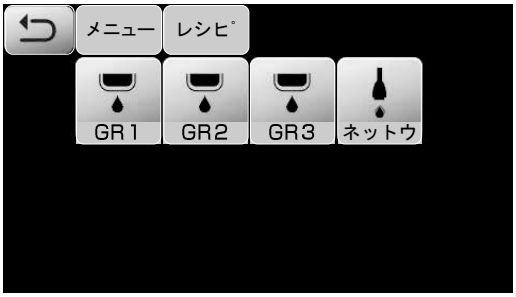
プログラムモードの画面が表示されます。



4. 『レシピ』アイコンをタップしてください

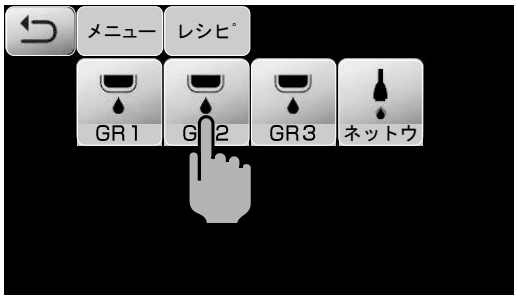
「レシピ」の画面が表示されます。





5. 変更したいエスプレッソ抽出グループのアイコンをタップしてください

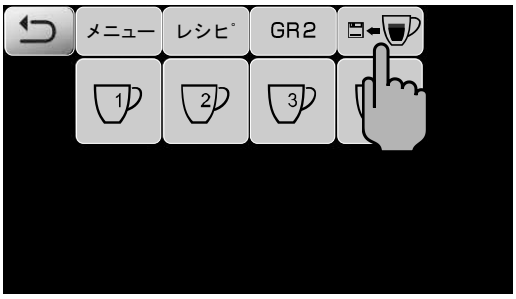
『GR2』アイコンをタップした場合、「GR2」（エスプレッソ抽出グループ2）の画面が表示されます。



『GR1』…エスプレッソ抽出グループ1（左側の抽出器）
『GR2』…エスプレッソ抽出グループ2（左側から2番目の抽出器）
『GR3』…エスプレッソ抽出グループ3（左側から3番目の抽出器）

6. 『 』アイコンをタップしてください

『 』アイコンの枠が茶色に変わり、アラーム音「ピッ」が2.4秒間隔で鳴ります。

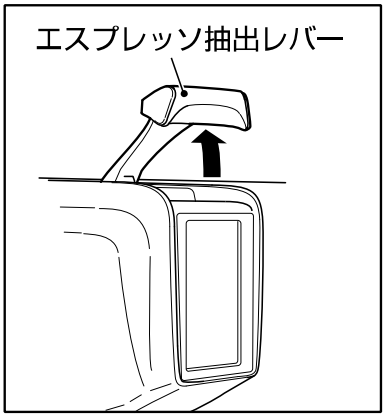


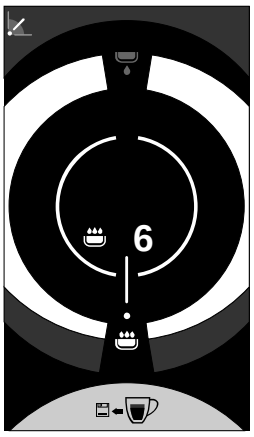
7. 設定の変更をしたいエスプレッソ抽出アイコンを１度タップしてください

8. 『エスプレッソ抽出レバー』で抽出をおこなって設定値を変更してください

『エスプレッソ抽出レバー』を停止位置から蒸らし位置へ上げてください。

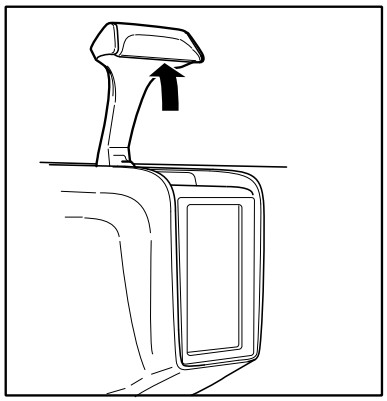
エスプレッソ抽出タッチパネルに蒸らしの経過時間が表示されます。





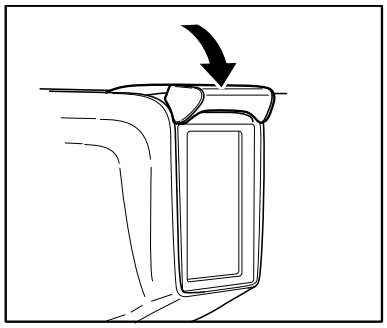
お好みの時間蒸らしをおこないましたら、『エスプレッソ抽出レバー』を蒸らし位置から抽出位置へ上げてください。

エスプレッソ抽出タッチパネルに抽出の経過時間が表示されます。



お好みの量までエスプレッソコーヒーが出たら、『エスプレッソ抽出レバーを停止位置に下げてください。

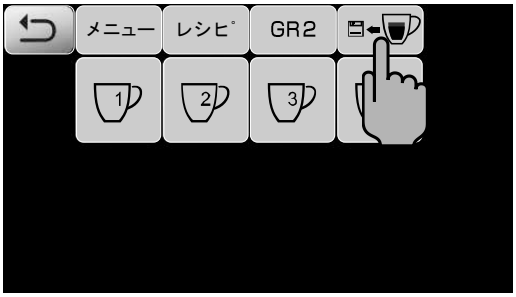
エスプレッソコーヒーの抽出が止まり、この蒸らし時間と抽出した量が新しい設定値として変更されます。



他のエスプレッソ抽出アイコンの設定を変更する場合は、同様の手順で変えてください。

9. 設定モードを終了する場合は、メインタッチパネルの『 』アイコンをタップしてください。

『 』アイコンの枠の色が戻り、アラーム音は停止します。



10. プログラムモードを終了してください

メインタッチパネルの『 』アイコンを３回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

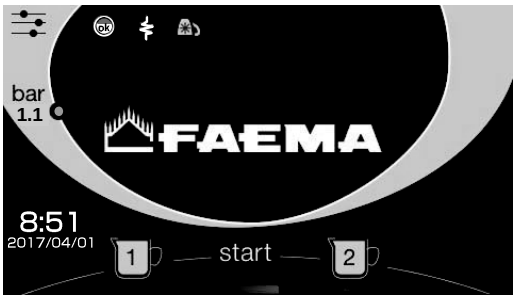
熱湯の取出量と取出温度の変更

熱湯の取出時間と取出温度を変更することができます

熱湯の取出量や温度を変更される場合は、以下の手順にしたがって変更をおこなってください

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

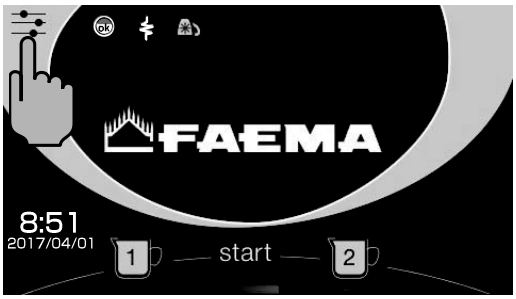
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

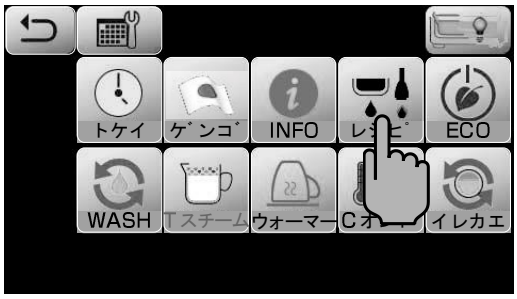
『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



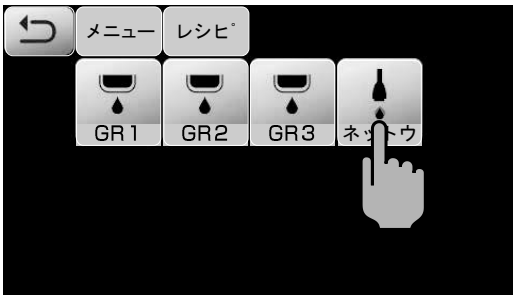
3. 『レシピ』アイコンをタップしてください

「レシピ」の画面が表示されます。



4. 『ネットウ』アイコンをタップしてください

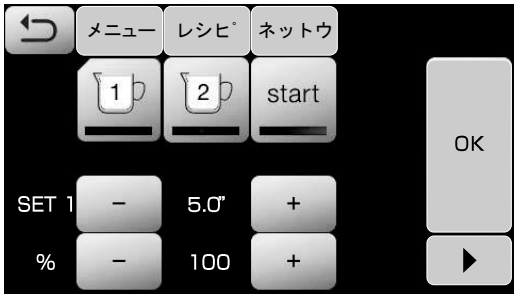
「ネットウ」の画面が表示されます。

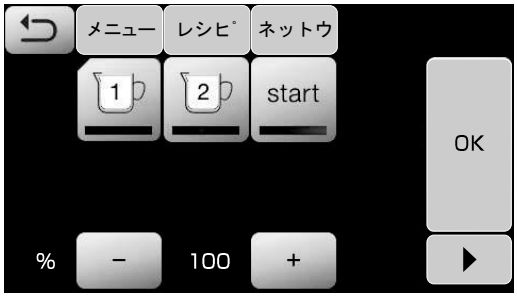


5. 設定の変更をする熱湯取出しアイコンをタップしてください

右の画面は「熱湯取出し１」の設定画面です。

『熱湯スタート』アイコンをタップした場合は、右下のような設定画面が表示されます。





6. 熱湯の取出量と取出温度を変更してください

各熱湯取出しアイコンの工場出荷時の設定は、下表のようになっています。

１（熱湯取出し１）	熱湯取出量： 5.0（秒）	熱湯取出温度：100%
２（熱湯取出し２）	熱湯取出量：10.0（秒）	熱湯取出温度：100%
start（熱湯スタート）	—	熱湯取出温度：100%

熱湯の取出量は、熱湯取出温度の設定やメインボイラーの圧力などの条件によって異なります。

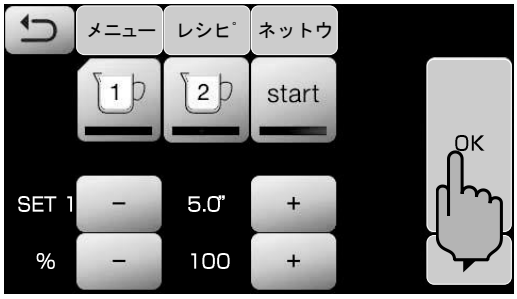
熱湯取出温度の設定が100%、メインボイラーの圧力が1.1bar時の熱湯取出量の目安は、設定値「1」（秒）に対して約50mLです。
設定値が「5.0」の場合、熱湯取出量は約250mLになります。

『 − 』、または『 ＋ 』アイコンをタップして数値を変更してください。

『 ＋ 』アイコンをタップすると数値が増えます。
『 − 』アイコンをタップすると数値が減ります。

設定範囲

熱湯取出量	0.1～60.0（秒）（0.1秒刻み）
熱湯取出温度	LOW、0～100%（5%刻み）、HIGH（『熱湯スタート』アイコンは、LOWとHIGHの設定は無し）



変更が完了しましたら『OK』アイコンをタップして確定してください。

変更をキャンセルする場合は『 』アイコンをタップすると、変更をキャンセルして、１つ前の画面に戻ります。

7. プログラムモードを終了してください

『 』アイコンを３回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

機械を省電力モードにする

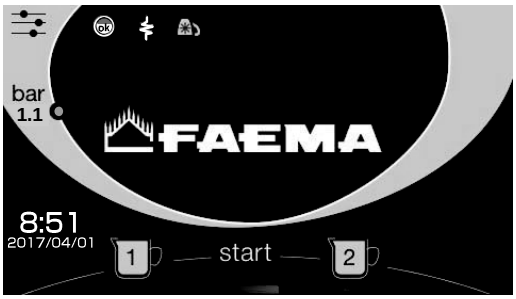
使用頻度が少ない時間帯は、本機を省電力モードにしておくことで、電力コストを抑えることができます

省電力モードは、メインボイラーの圧力を少し下げて待機するため、電源スイッチを「OFF（切）」にするより、本機を再びお使いになる際にかかるウォーミングアップの時間を短縮できます

省電力モード時のメインボイラー圧力は、設定圧力が1.2bar以上の場合は0.8barに保ち、設定圧力が1.1bar以下の場合は「設定圧力—0.4bar」に保ちます

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

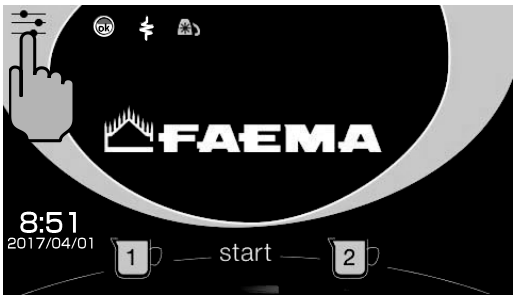
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



3. 『ECO』アイコンをタップしてください

機械は、省電力モードになり、メインタッチパネルは、通常画面に戻って、「ショウデンリョクモード」と表示されます。

エスプレッソ抽出タッチパネルは薄く表示され、エスプレッソ抽出器下部と背面パネルの照明が消灯します。

メインボイラーの圧力は徐々に下がっていきます。
省電力モード時のメインボイラー圧力は、設定圧力が1.2bar以上の場合は0.8barに保ち、設定圧力が1.1bar以下の場合は「設定圧力—0.4bar」に保ちます。

省電力モード中、コーヒーボイラーは設定温度に保たれます。

カップウォーマーは設定が「OFF」以外の場合、省電力モード中は自動で「弱」の設定になります。

省電力モードを解除するには、任意のアイコンをタップしてください。

洗浄時刻の設定

本機は、毎日終業時に「エスプレッソ抽出器の洗浄」をおこなう必要があります

お店の営業時間などに合わせて洗浄時刻を設定します

タイマー機能で自動洗浄時刻の設定をおこなうと、万一洗浄を忘れた場合でも、設定した時刻にアラーム音とメインタッチパネルに洗浄メッセージが表示されます

メインタッチパネルに洗浄メッセージが表示されましたら、１時間以内に全エスプレッソ抽出器の自動洗浄をおこなってください

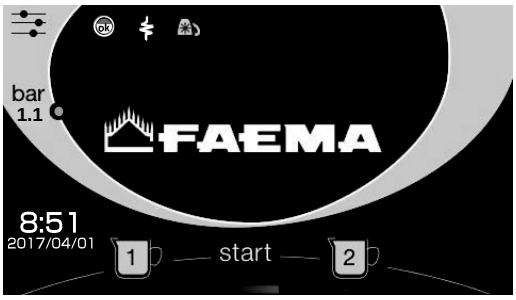
洗浄時刻は、下記の「洗浄時刻の設定」を参照してご希望の時刻を設定してください

工場出荷時は、「キャンセル」（機能を使用しない）に設定しています

エスプレッソ抽出器の洗浄を手動でおこなう場合は、「キャンセル」に設定しておいてください

１. 本体が通常の状態であることを確認してください

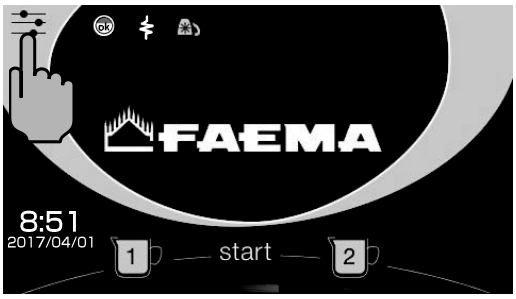
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



２. プログラムモードに入ってください

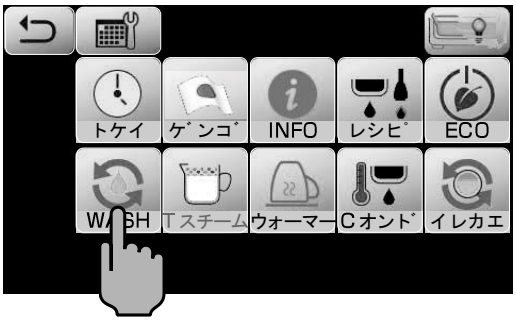
『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



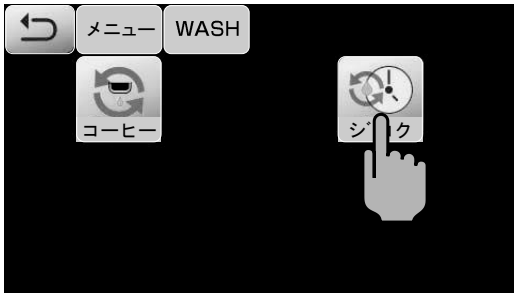
３. 『WASH』アイコンをタップしてください

「WASH」の画面が表示されます。



4. 『ジコク』アイコンをタップしてください

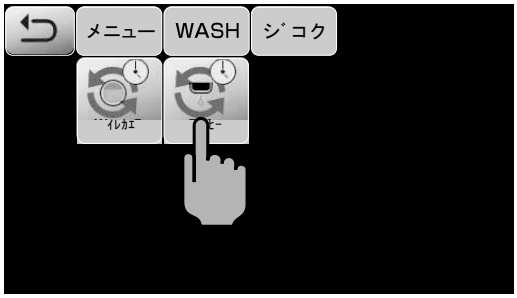
「ジコク」の画面が表示されます。



5. 『コーヒー』アイコンをタップしてください

洗浄方法のアイコンが表示されます。

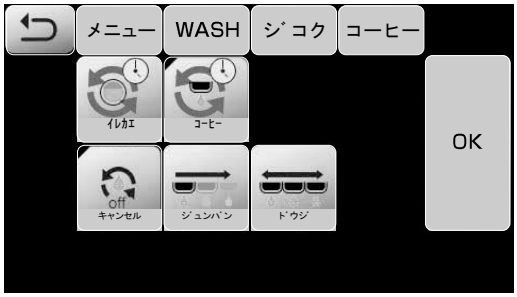
『イレカエ』アイコンについては84ページを参照してください。



6. 洗浄方法を選択してください

『ジュンバン』、または『ドウジ』アイコンをタップしてください。

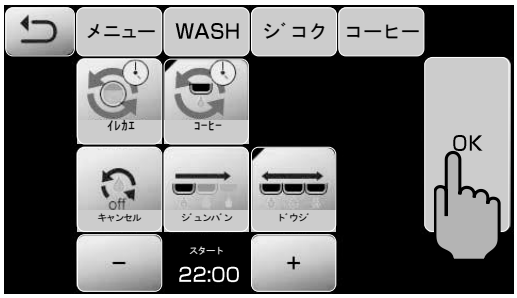
『ジュンバン』は、エスプレッソ抽出器を１連目から順番に自動洗浄します。
『ドウジ』は、すべてのエスプレッソ抽出器を同時に自動洗浄します。



7. 洗浄時刻を設定してください

『＋』アイコン、または『－』アイコンをタップして時刻を設定してください。

『＋』アイコンをタップすると時刻が５分ずつ進みます。
押しつづけると時刻が速く進みます。
『－』アイコンをタップすると時刻が５分ずつ戻ります。
押しつづけると時刻が速く戻ります。



設定が完了しましたら『OK』アイコンをタップして確定してください。

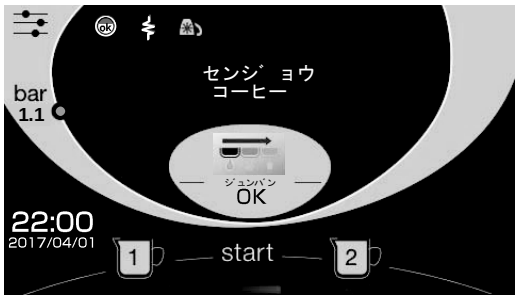
変更をキャンセルする場合は、『⮌』アイコンをタップすると、変更をキャンセルして、１つ前の画面に戻ります。
洗浄時刻を設定しない場合、または洗浄時刻を解除したい場合は、『キャンセル』アイコンをタップしてください。

8. プログラムモードを終了してください

『⮌』アイコンをタップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

洗浄時刻になったら

設定した洗浄時刻になると、アラーム音とメインタッチパネルへの表示でお知らせします。



メモ

設定した洗浄時刻になったとき、過去 24 時間以内に自動洗浄をおこなっていた場合は、「センジョウ コーヒー」が表示されませんのでご注意ください。

詳しくは34・35ページを参照してください。

例：洗浄時刻を20:00に設定した場合

17:00

「センジョウ コーヒー」が表示されていない17:00に自動洗浄をおこなった。

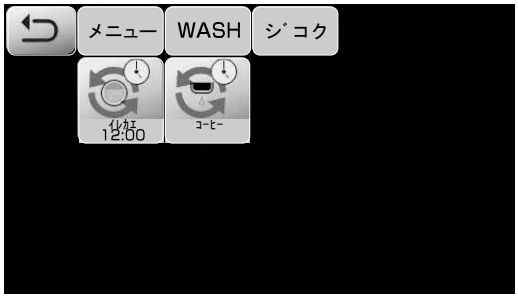
20:00

設定した洗浄時刻になっても「センジョウ コーヒー」は表示されません。

『イレカエ』は、毎日決まった時刻にメインボイラーの水の入替えをされる場合、設定した時刻になるとアラーム音と、メインタッチパネルへのメッセージ表示でお知らせする機能です。

通常は、設定できない状態になっています。

この機能を使用する必要がある場合は、お買い上げ店にご連絡ください。

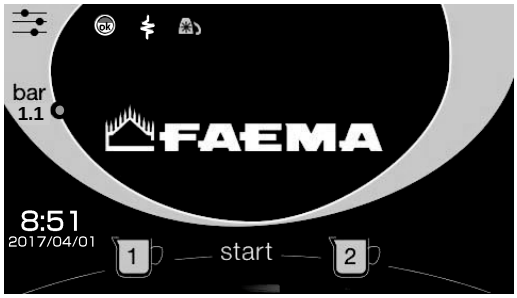


カップウォーマーの温度設定

本機の天板にあるカップウォーマーの温度を変更することができます

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

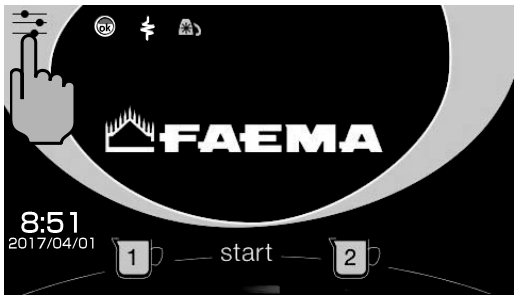
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

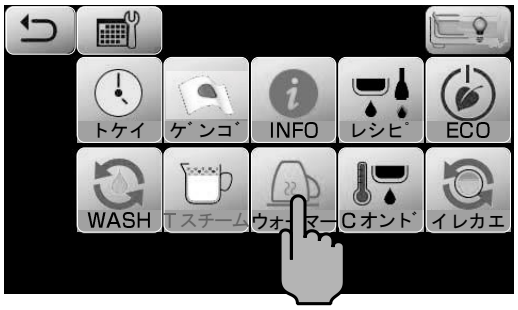
『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



3. 『ウォーマー』アイコンをタップしてください

「ウォーマー」の画面が表示されます。



4. カップウォーマーの強さを選択してください

お好みの温度のアイコンをタップしてください。

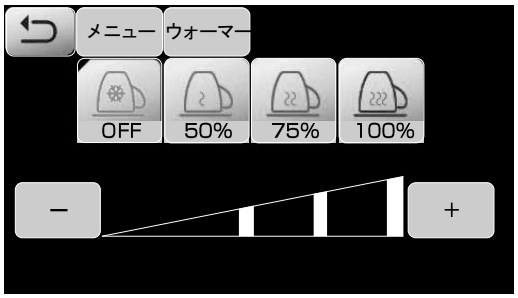
工場出荷時、各アイコンは下記の設定になっています。

『OFF』アイコン → 切

『弱』アイコン → 50%

『中』アイコン → 75%

『強』アイコン → 100%



「OFF」を除く各アイコンの強さは、調整することができます。

強さを変更する場合は『 − 』、または『 ＋ 』アイコンをタップして数値を変更してください。

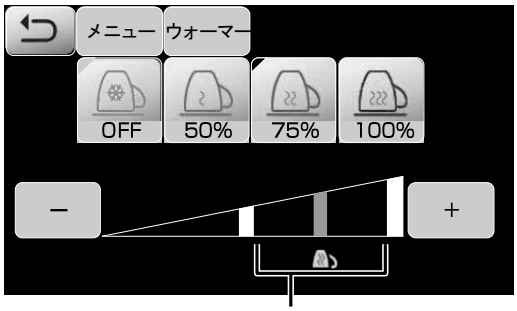
『 ＋ 』アイコンをタップすると数値が増えます。

『 − 』アイコンをタップすると数値が減ります。

数値の変更は5%刻みになります。

ただし、隣接するアイコンの設定値を超えることはできません。

例えば、『弱』アイコンの値が50%、『強』アイコンの値が100%にしている場合、『中』アイコンの設定範囲は55%～95%になります。



『中』アイコンの設定範囲

5. プログラムモードを終了してください

『 』アイコンを2回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

画面には、下記のように表示されます。

「OFF」を選択した場合 →

「弱」を選択した場合 →

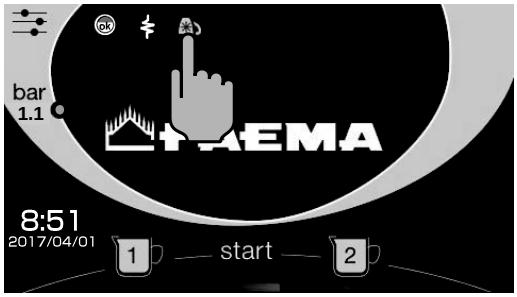
「中」を選択した場合 →

「強」を選択した場合 →

メモ

メインタッチパネルの『 』をタップするとカップウォーマーの強さを変更することができます。

『 』をタップするごとに下記のように変わります。

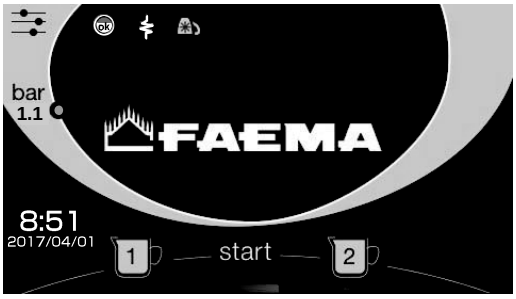


コーヒーボイラーの温度設定

各エスプレッソ抽出器の上部にある各コーヒーボイラーの設定温度を変えることができます

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

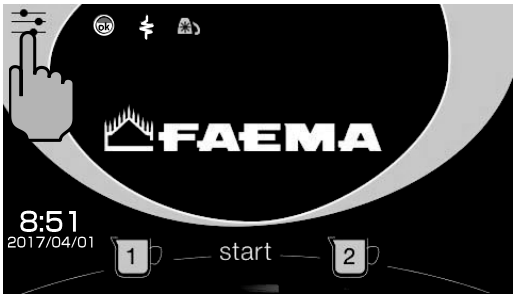
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



3. 『Cオンド』アイコンをタップしてください

「Cオンド」の画面が表示されます。

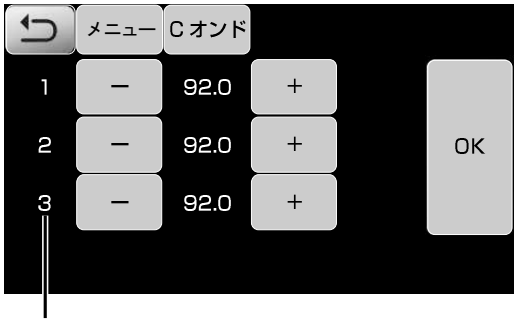
4. コーヒーボイラーの温度を変更してください

変更したいコーヒーボイラーの設定温度を『 − 』、または『 ＋ 』アイコンをタップして変えてください。

『 ＋ 』アイコンをタップするごとに数値が0.5℃ずつ増えます。
『 − 』アイコンをタップするごとに数値が0.5℃ずつ減ります。

工場出荷時は、92.0℃に設定しています。

温度設定可能範囲は、90.0〜94.0℃です。(工場出荷時)



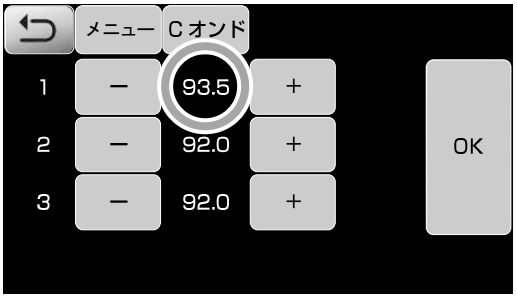
「1」は左側のコーヒーボイラー
「2」は左側から2番目のコーヒーボイラー
「3」は左側から3番目のコーヒーボイラー

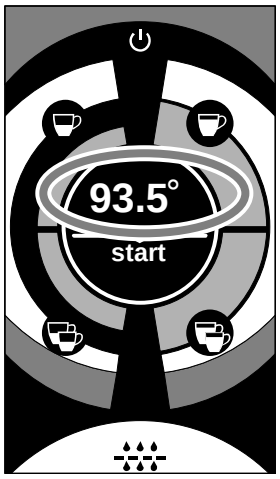
変更が完了しましたら『OK』アイコンをタップしてください。
変更が確定され、１つ前の画面に戻ります。

変更をキャンセルする場合は『 』アイコンをタップすると、変更をキャンセルして、１つ前の画面に戻ります。

エスプレッソ抽出タッチパネルの温度表示の値が変更されます。

例として、『Cオンド』の画面で、一連目のエスプレッソ抽出器の温度を93.5℃に変更して『OK』アイコンをタップして確定したときは、１連目のエスプレッソ抽出タッチパネルの温度表示が93.5℃に変わります。





5. プログラムモードを終了してください

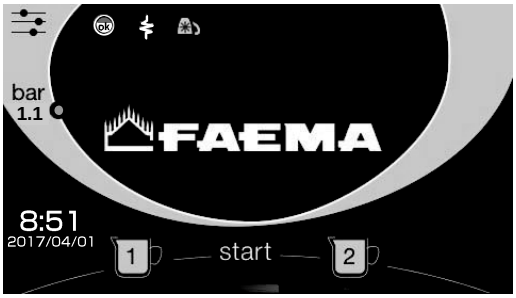
『 』アイコンをタップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

エスプレッソ抽出器下部と背面パネルの照明の設定

各エスプレッソ抽出器下部の照明と、背面パネルの照明は、明るさの設定を変更することができます
明るさの設定は、４段階の明るさと消灯になります。

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

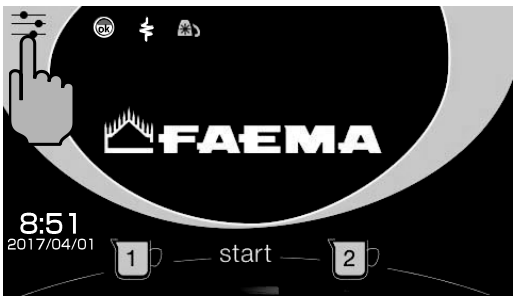
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

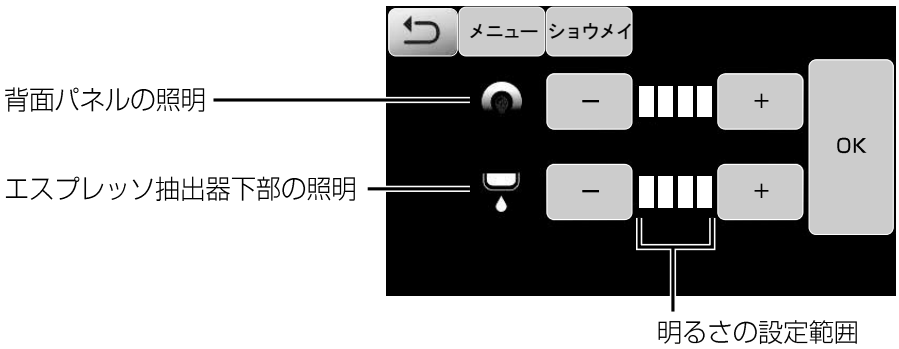
『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



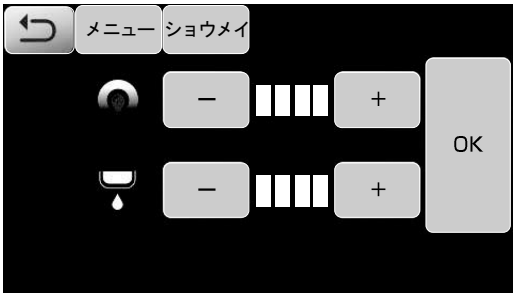
3. 『 』アイコンをタップしてください

「ショウメイ」の画面が表示されます。



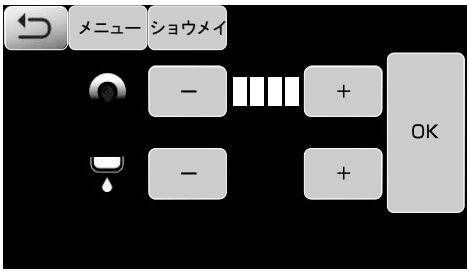
4. 明るさの設定を変更してください

変更したい照明の明るさの設定を『 ー 』、または『 ＋ 』アイコンをタップして変えてください。



『 ＋ 』アイコンをタップするごとに明るくなります。
『 ー 』アイコンをタップするごとに暗くなります。

『 ー 』アイコンをタップして、目盛りを消すと照明は消灯します。



エスプレッソ抽出器の照明を消灯に設定

変更が完了しましたら『OK』アイコンをタップして確定してください。

変更をキャンセルする場合は『 』アイコンをタップすると、変更をキャンセルして、１つ前の画面に戻ります。

5. プログラムモードを終了してください

『 』アイコンをタップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

テクニカルモードのプログラム設定

ここでは、プレインフュージョン時間の設定変更と、右端のエスプレッソ抽出器の「レシピ」を他すべてのエスプレッソ抽出器にコピーする方法について説明します

プレインフュージョン時間の設定変更

プレインフュージョンとは、エスプレッソコーヒーを抽出するときの蒸らし用の湯かけのことです

ここでは、エスプレッソ抽出アイコンを使ってコーヒーを抽出する際のプレインフュージョン時間を変更する方法について説明します

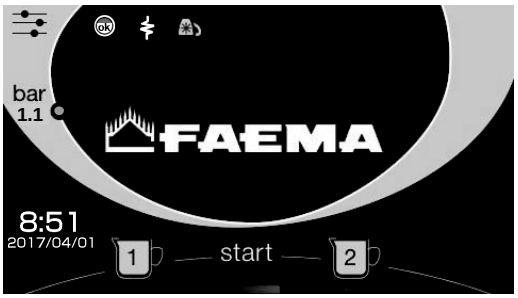
本機ご利用中にお客様のご都合により変更される場合は、以下の手順にしたがって変更をおこなってください

お願い

テクニカルモードでは「レシピ」以外の設定は、変更しないでください。
設定を変更した場合、本機の動作が変わることがあります。

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

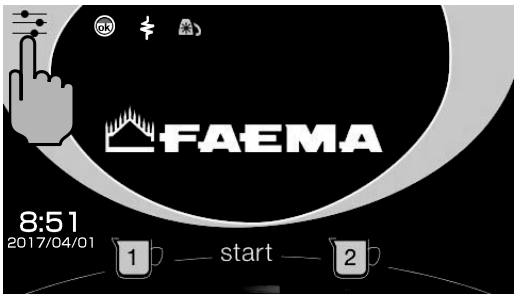
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



3. テクニカルモードに入ってください

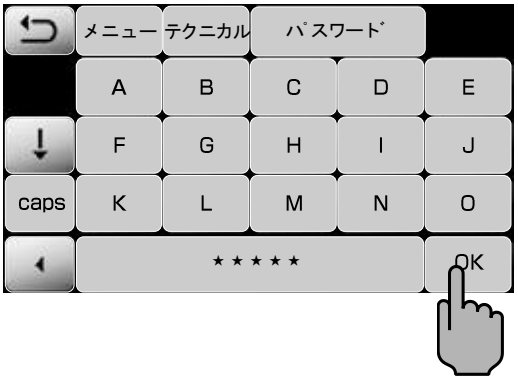
『 』アイコンをタップしてください。

「パスワード」の画面が表示されます。

パスワードを入力し、『OK』アイコンをタップしてください。

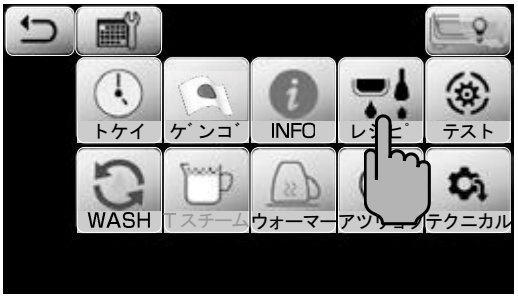
工場出荷時のパスワードは「FAEMA」です。

テクニカルモードの画面が表示されます。



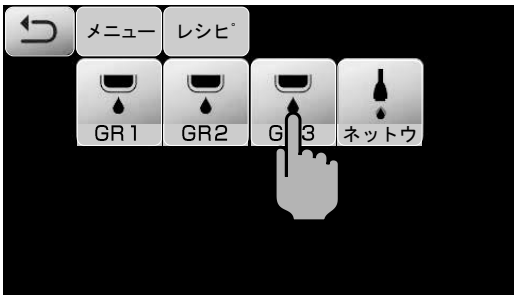
4. 『レシピ』アイコンをタップしてください

「レシピ」の画面が表示されます。



5. 変更したいエスプレッソ抽出グループのアイコンをタップしてください

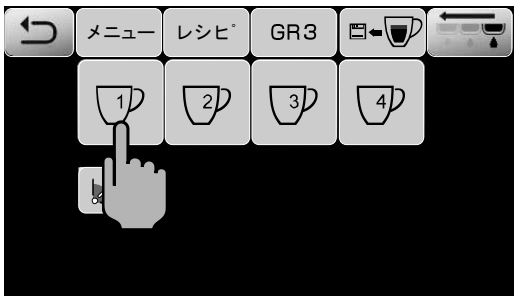
エスプレッソ抽出グループの画面が表示されます。



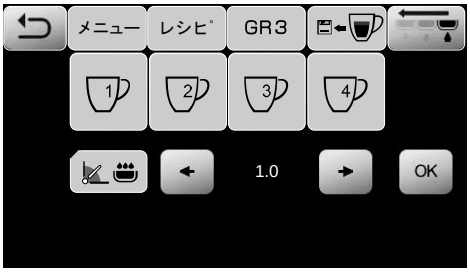
E71GTI-A/3 の場合

6. プレインフュージョン時間を変更するエスプレッソ抽出アイコンをタップしてください

エスプレッソ抽出アイコンの設定画面が表示されます。



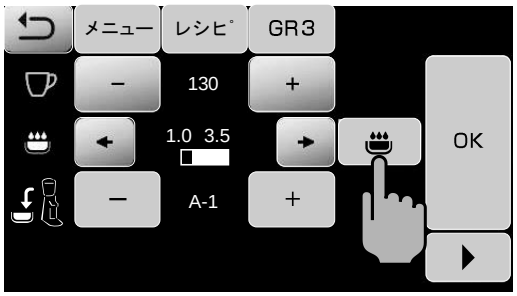
『 』アイコンをタップすると、下の画面になり、『エスプレッソ抽出レバー』使用時のプレインフュージョン時間が変更できます。

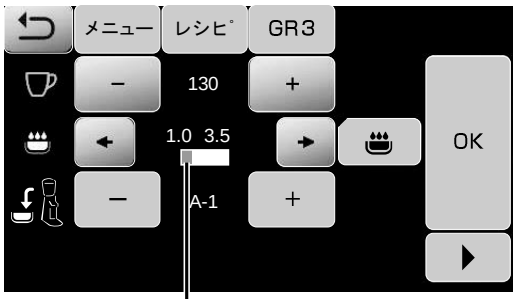


7. プレインフュージョン時間を変更してください

『 』アイコンをタップしてください。

プレインフュージョン時間の目盛りが赤色に変わります。





プレインフュージョン時間
赤色に変わる

プレインフュージョン時間を変更する場合、『 ← 』、または『 → 』アイコンをタップして数値を変更してください。
『 ← 』アイコンをタップすると数値が減ります。
『 → 』アイコンをタップすると数値が増えます。
設定範囲： 0.5～3.0（単位：秒、0.5秒刻み）

変更が完了しましたら『OK』アイコンをタップして、変更を確定してください。

変更をキャンセルする場合は、『 』アイコンをタップすると、変更をキャンセルして、１つ前の画面に戻ります。

他のエスプレッソ抽出アイコンの設定を変更する場合は、同様の手順で変えてください。

8. プログラムモードを終了してください

『 』アイコンをタップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

右端のエスプレッソ抽出器の「レシピ」を他のエスプレッソ抽出器にコピー

本機右端のエスプレッソ抽出器に設定した「レシピ」を他すべてのエスプレッソ抽出器にコピーすることができます
この操作は、右端のエスプレッソ抽出器の「レシピ」のみおこなうことができます

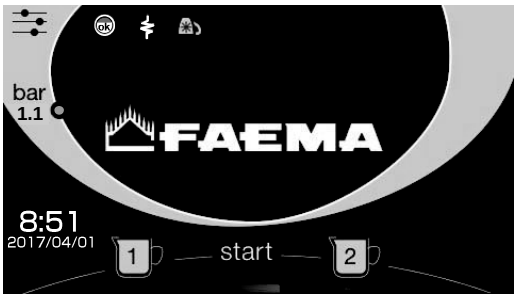
本機ご利用中にお客様のご都合により変更される場合は、以下の手順にしたがって変更をおこなってください

お願い

テクニカルモードでは「レシピ」以外の設定は、変更しないでください。
設定を変更した場合、本機の動作が変わることがあります。

1. 本体が通常の状態であることを確認してください

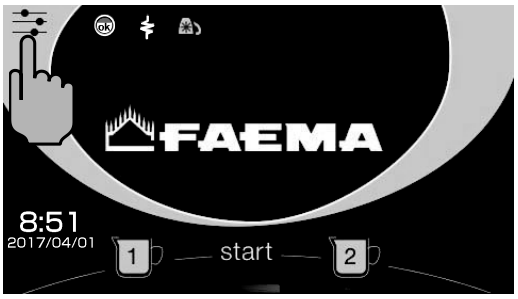
メインタッチパネルには、右のように表示されていることを確認してください。



2. プログラムモードに入ってください

『 』アイコンをタップしてください。

プログラムモードの画面が表示されます。



3. テクニカルモードに入ってください

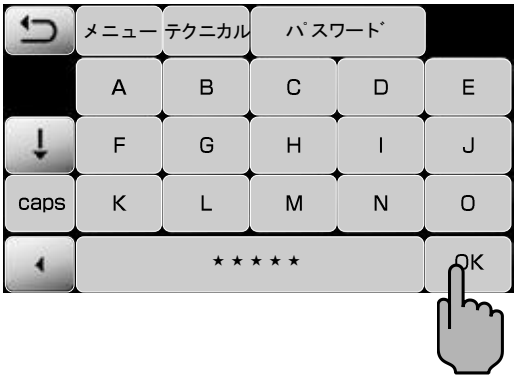
『 』アイコンをタップしてください。

「パスワード」の画面が表示されます。

パスワードを入力し、『OK』アイコンをタップしてください。

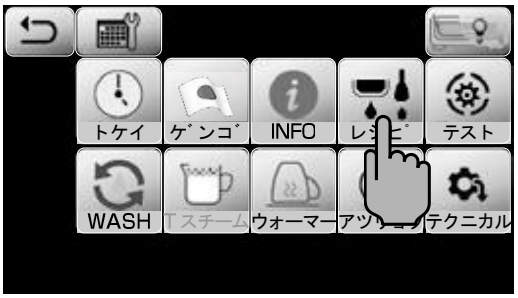
工場出荷時のパスワードは「FAEMA」です。

テクニカルモードの画面が表示されます。



4. 『レシピ』アイコンをタップしてください

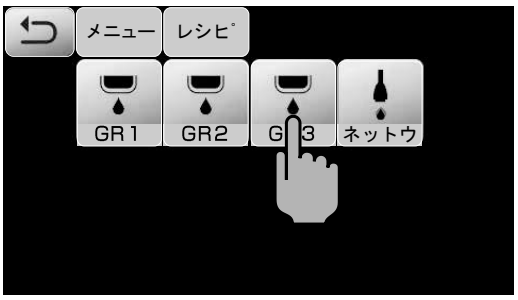
「レシピ」の画面が表示されます。



5. 右端のエスプレッソ抽出器グループのアイコンをタップしてください

E71GTI A/2の場合は『GR2』アイコンをE71GTI A/3の場合は『GR3』アイコンをタップしてください。

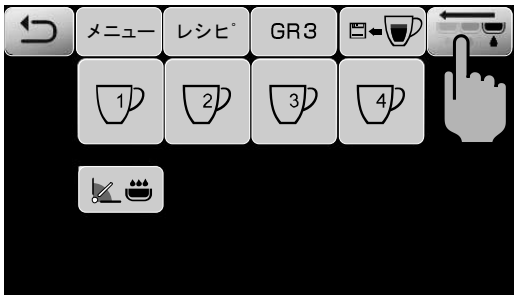
エスプレッソ抽出器グループの画面が表示されます。



E71GTI A/3 の場合

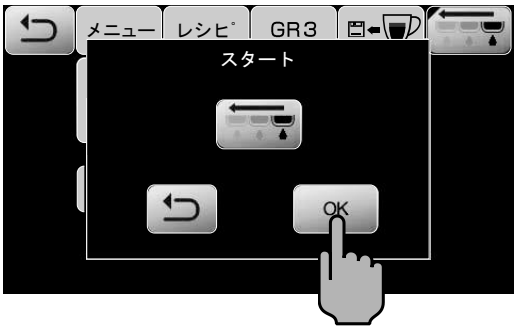
6. 『 』アイコンをタップしてください

確認画画面が表示されます。

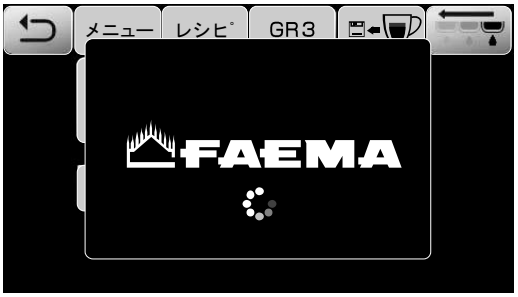


コピーをおこなう場合は、『OK』アイコンをタップしてください。

コピーをキャンセルする場合は、『 』アイコンをタップしてください。



コピーが開始されると、画面には右のように表示されます。



コピーが完了すると元の画面が表示されます。

7. プログラムモードを終了してください

『 』アイコンを３回タップして、プログラムモードから出て通常の画面に戻ってください。

その他の機能

コーヒーボイラーの電源OFF機能（省電力）

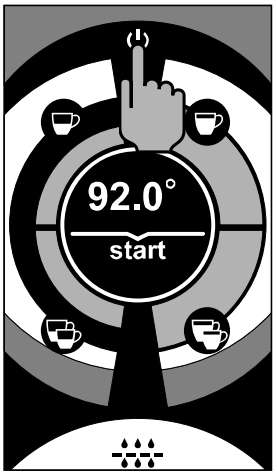
使用しないエスプレッソ抽出器は、コーヒーボイラーの電源をOFFにしておくことができます

コーヒーボイラーの電源をOFFにすると、各エスプレッソ抽出器の上部にあるコーヒーボイラーヒーターへの通電を止めます

この機能は、各エスプレッソ抽出器単位でおこなうことができます

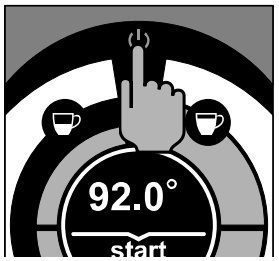
1. エスプレッソ抽出タッチパネルの『⏻』アイコンをタップしてください

『⏻』アイコンが赤色に変わります。



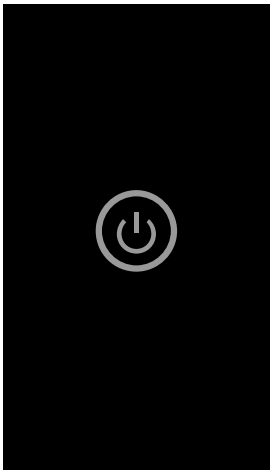
2. 8秒以内に『⏻』アイコンをタップしてください

コーヒーボイラーヒーターへの通電が止まり、エスプレッソ抽出器のLED照明が消灯します。



エスプレッソ抽出タッチパネルの画面中央には、「⏻」が赤色で大きく表示されます。

コーヒーボイラーの電源をOFFにすると、本機の電源スイッチを「OFF（切）」にして、再度「ON（入）」にしてもコーヒーボイラーの電源OFF状態を維持します。



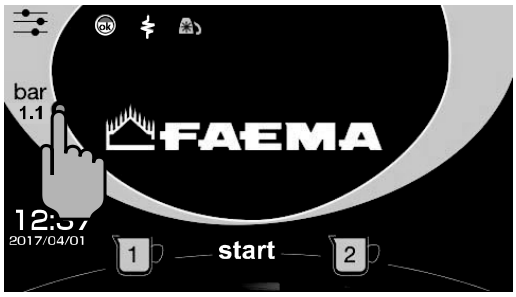
コーヒーボイラーの電源をONにするには、電源がOFFになっているエスプレッソ抽出タッチパネルをタップしてください。

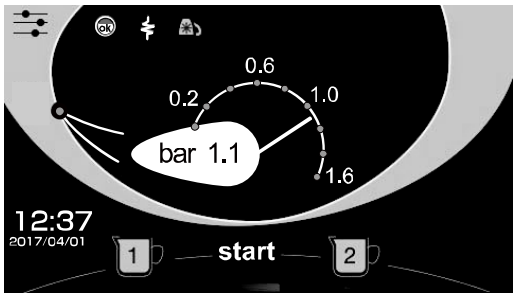
メインボイラー圧力のグラフィックメーター表示

メインボイラー圧力をグラフィックメーターで表示することができます

メインタッチパネルのメインボイラー圧力表示をタップしてください

メインタッチパネルに、グラフィックメーターが表示されます。





グラフィックメーターの表示を消すには、もう一度メインボイラー圧力表示をタップしてください。

据え付けについて

ここでは、本機の据付けについて説明します

据付工事

配管用部品

はじめに、下記の配管用付属品がそろっているか確認してください

1. ステンレスフレキシブルホース（0.25m）……1本
2. 減圧弁……1個
3. 両ナット付アダプター……1個
4. 排水ホース（2m）……1本
5. 給水ホース（ニップル3/8×1/2付）……1本

※給水ホースは機械に取り付け済です。

〈別売品〉

1. 浄水器ヘッド……1個
2. 浄水器カートリッジ……1個
3. ステンレスフレキシブルホース（1.5m）……1本

据付前の準備

本機を据え付けされるには、事前に下記の設備をお客様側にておこなっていただく必要があります。

据付場所

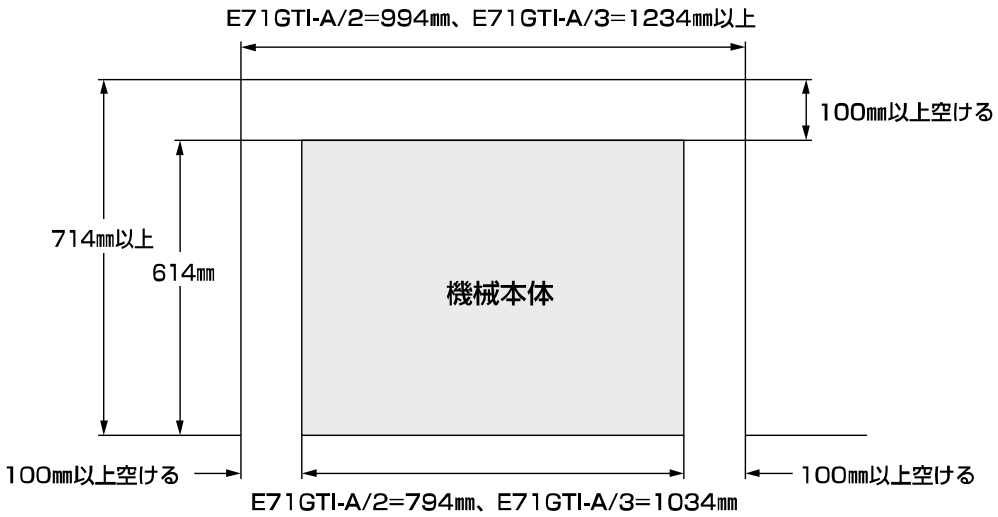
据付台の下には、浄水器、配管設備のスペースを確保してください

目安として、機械本体と同等のスペース（面積）を確保してください。

機械の周辺は、壁面から100㎜以上離してください

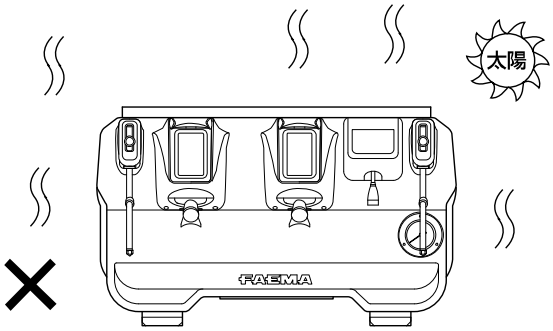
熱がこもると電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

据付図



直射日光の当たる所や、機械の周囲の温度が32℃を超える高温の場所には据え付けないでください

高温になると、電気部品に影響をおよぼし、故障の原因になります。

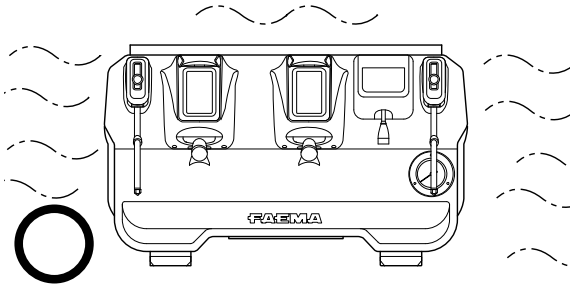


熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないでください

熱で本体が変形したり、電気部品に影響をおよぼして故障の原因になります。

風通しの良い所に据え付けてください

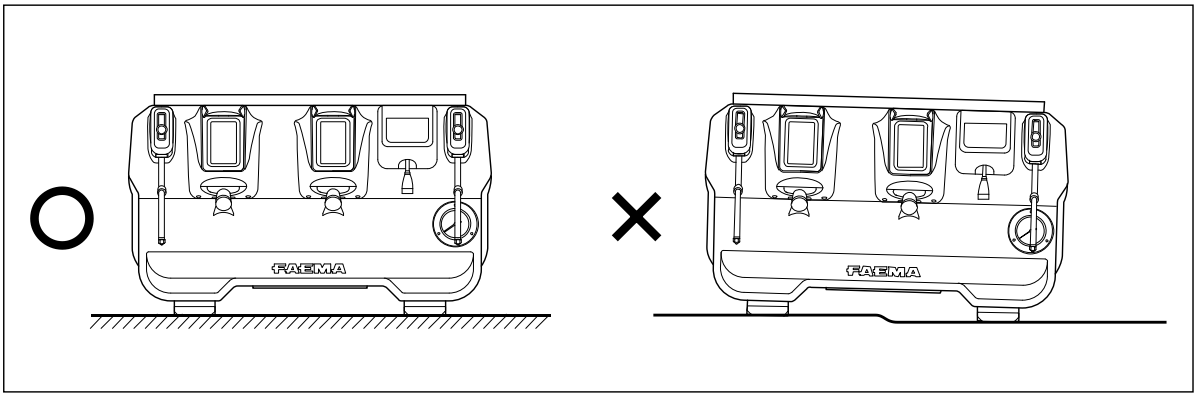
風通しが悪いと蒸気がこもり、機械の寿命を短くしたり、漏電の原因になります。



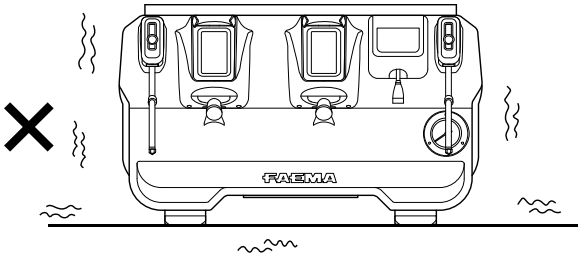
水をこぼしてもよい所へ据え付けてください

使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に散ることがありますので、濡れると不都合なところには、据え付けないでください。

丈夫で凹凸のない、水平な台へ据え付けてください



振動のない所へ据え付けてください



水道

⚠ 注 意

給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること
飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。

水道栓は、ステンレスフレキシブルホースが取り付けられるように、コックの先に「G1/2オスネジ」付きのものを用意してください

水道圧力は、流れている状態で0.15～0.6MPaの範囲内にしてください

電源

⚠ 警 告

本機の電源は，専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

アースを必ずとること
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合、感電の原因になります。
電気工事士によるD種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。

電気容量

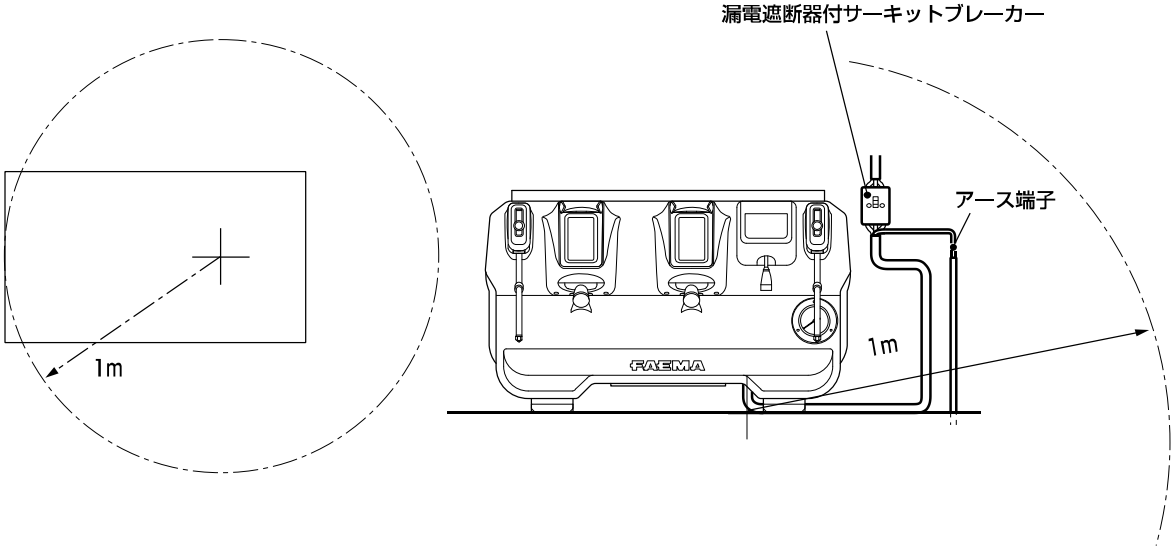
	三相200V（50/60Hz）	単相200V（50/60Hz）
E71GTI A/2	5.3kVA　19A	5.3kVA　26.5A
E71GTI A/3	6.4kVA　19.5A	6.4kVA　32A

本機の電源は、必ず専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続してください

本機は、電源に近いところ（できれば1m以内）に据え付けてください

電源コードの長さ：約2.0m

本機の電源コードを電源設備に接続する際、電源コードが長すぎる場合は、束ねたりせず、少し余裕を持たせて適切な長さにカットして接続してください



排水設備

排水孔、または排水溝は、機械近くの低い所に設けてください

排水孔の大きさは、直径40㎜以上にしてください

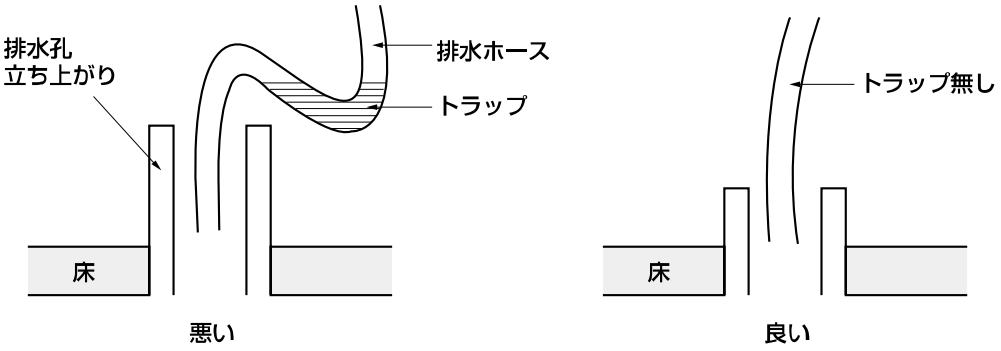
立ち上がりは、できるだけ低くしてください

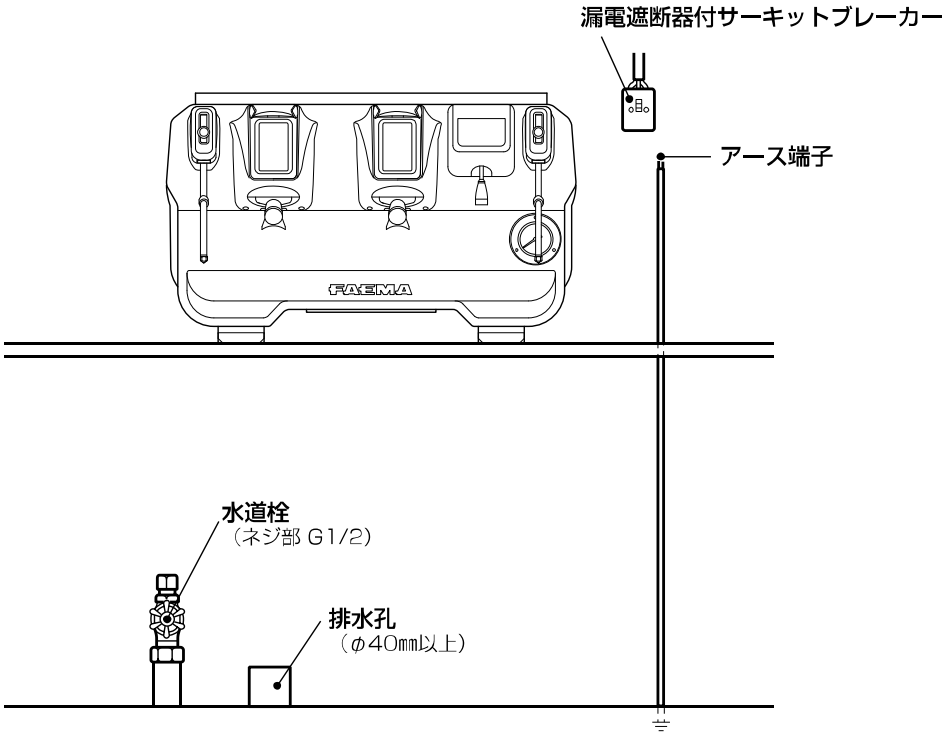
立ち上がりが高いと、トラップが発生し、排水ができなくなります。

熱湯を流すことがありますので、耐熱性のある排水設備を設けてください

間接排水にしてください

排水ホースを差し込みすぎて排水孔内の排水に浸かった場合、機械からの排水の流れが悪くなります。





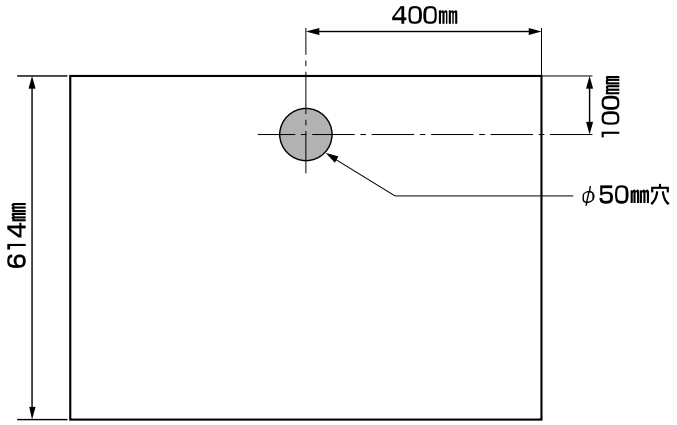
据付け

レイアウト

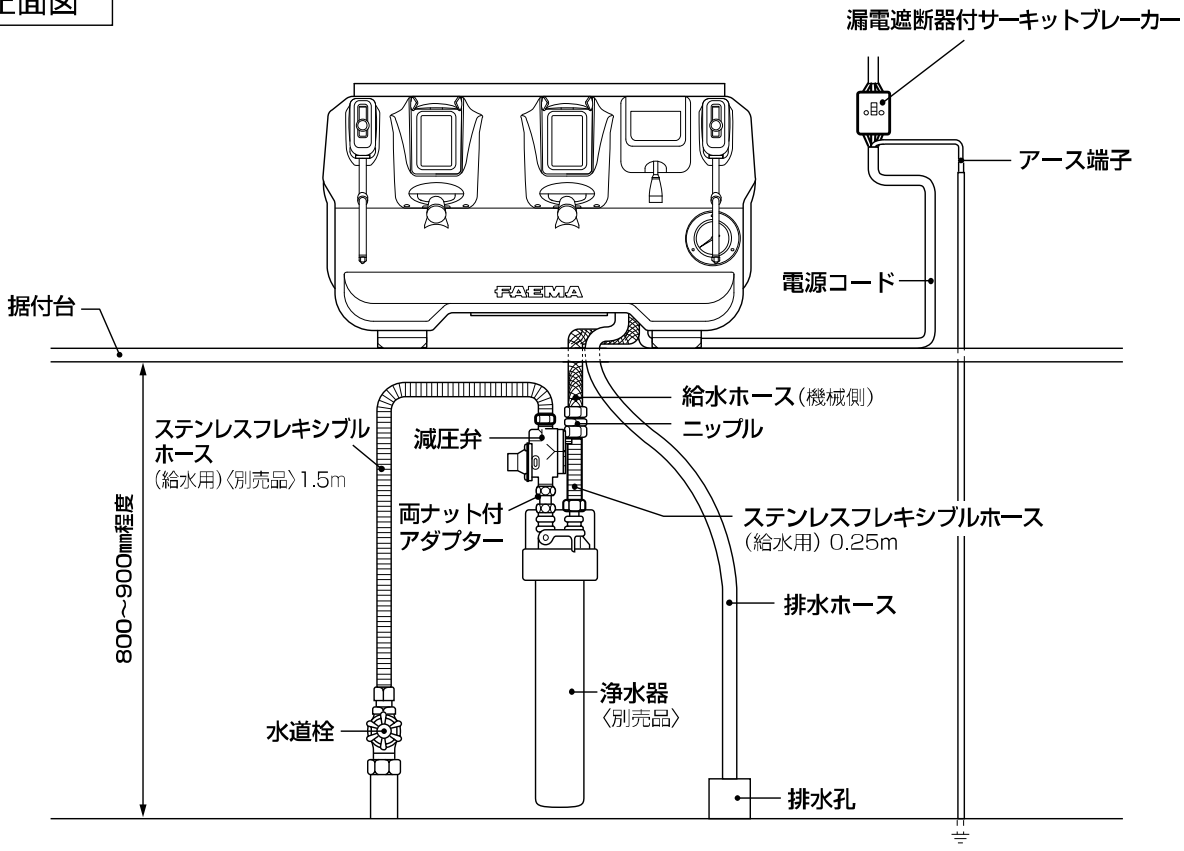
下図は、据付台に配管穴をあけた理想的な据え付け方法です。

据付台には、下記の平面図に記載の寸法で穴をあけ、正面図のように配線および配管をしてください。

平面図



正面図

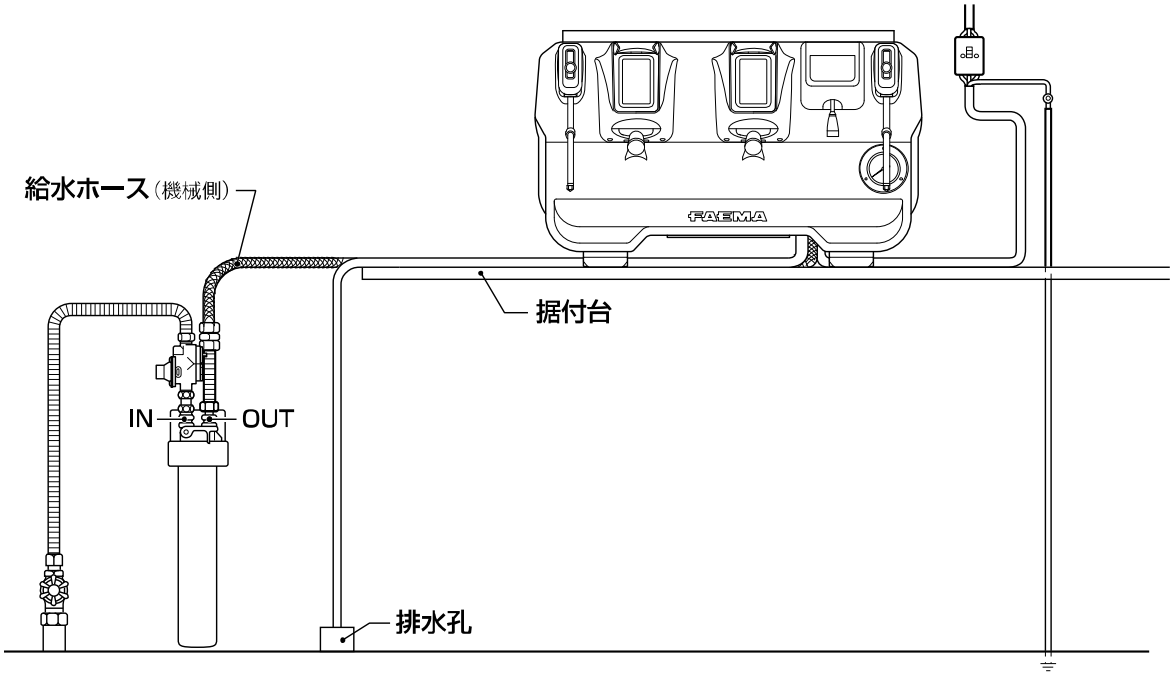


下図は、据付台に穴加工ができない場合の据え付け方法です。

お願い

排水ホースは、絶対にトラップをつくらないようにし、できるだけ傾斜を大きくとってください。

【据付台に穴があけられない場合】



給排水の配管

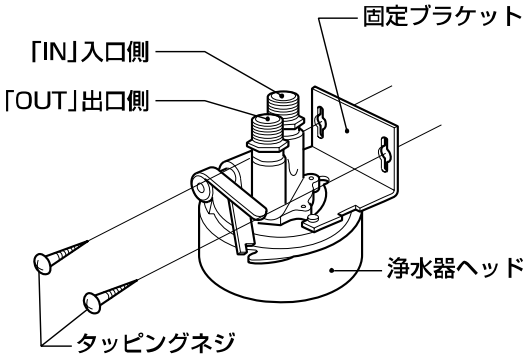
全体レイアウトが決まったら、以下の要領で据付と接続をしてください。

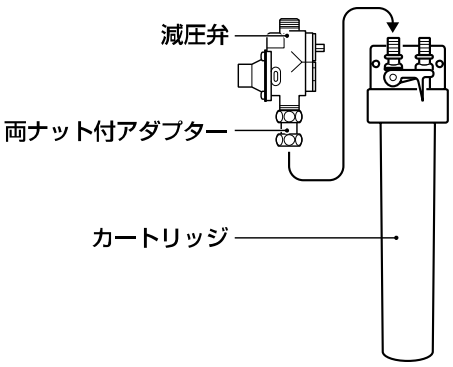
お願い

浄水器を取り付けないとコーヒーの味に影響を与えます。
水道水内のゴミ等により、機械故障の原因となることがありますので、必ず浄水器をつけてください。

1. 浄水器ヘッドを取り付けてください

1）減圧弁「OUT」側に両ナット付アダプターを取り付けてください。
2）浄水器「IN」側に、減圧弁「OUT」側の両ナット付アダプターを取り付けてください。
3）浄水器ヘッドの固定ブラケットを、据付台下の壁面にタッピングネジか釘で取り付けてください。





2. カートリッジを浄水器ヘッドに取り付けてください

浄水器カートリッジの取り付け方（取り外し方）は、カートリッジに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

3. 浄水器内部を洗浄してください

浄水器は、機械に取り付けられている給水ホースに接続する前に約3分間水を流して内部を洗浄してください。

1）水道栓と、減圧弁「IN」側をステンレスフレキシブルホース（1.5m）で接続してください。

2）浄水器「OUT」側にステンレスフレキシブルホース（0.25m）を接続し、ホースのもう一方の端を排水孔、または排水溝へ差し込んでください。

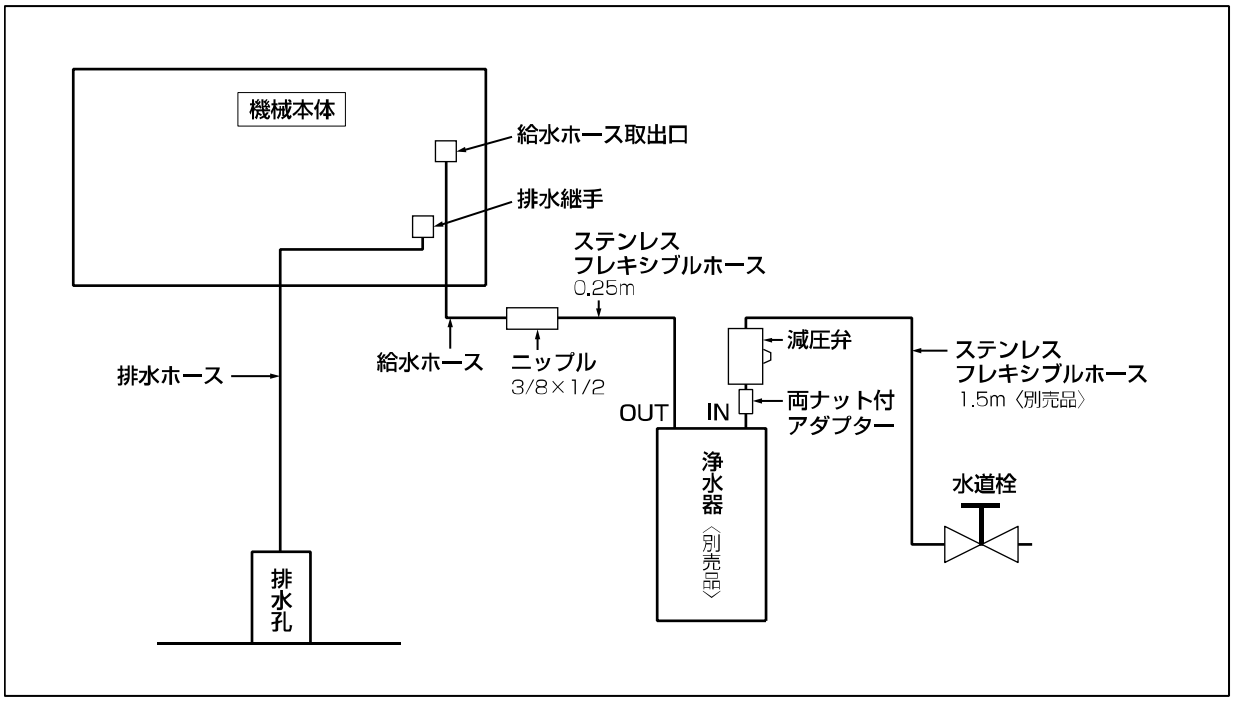
3）水道栓を開いて、約3分間水を出し、内部のゴミやホコリなどを流してください。

お願い

浄水器は条件により異なりますが、半年または 1 年毎にカートリッジを交換してください。
交換につきましては、お買上げ店にご相談ください。

4. 内部の洗浄が終わった浄水器「OUT」側に接続されたステンレスフレキシブルホース（0.25m）と、機械に取り付けられている給水ホースの端とを接続してください

5. 機械の排水継手に、排水ホースを接続し、もう一方の端を排水孔に差し込んでください



お願い

配管の際は、ネジ部を必要以上に締め付けずに、水が漏れない程度にしてください。

配線

1. 電源コードを専用の漏電遮断器付サーキットブレーカー等に直接接続してください

工場出荷時、本機は三相200V仕様になっています。

単相200V仕様に変更する場合は、「電気配線変更方法」（108ページ）を参照して本機内部の配線を変更してから電源に接続してください。

2. アース線（緑色の線）をアース端子に接続してください

据付けが完了しましたら、水道栓と浄水器の栓を開け、配管部に水漏れがないか確認してください。

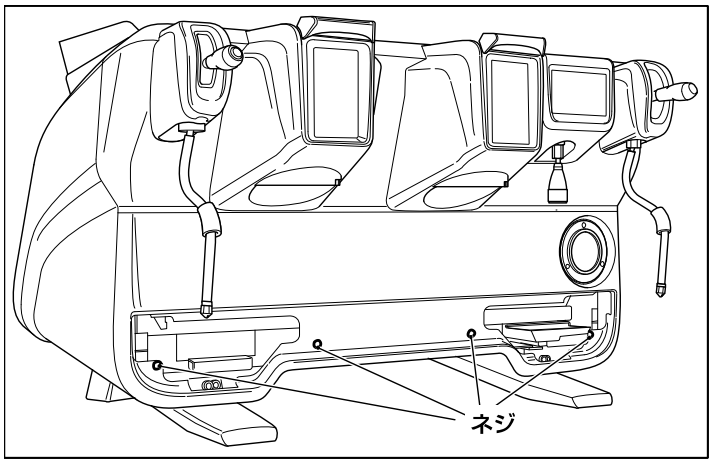
電気配線変更方法

電源が単相200Vで設備されている場合は、下記の手順に従って電気配線を変更してください。

1. 電源から、電源コードが切り離されているか確認してください

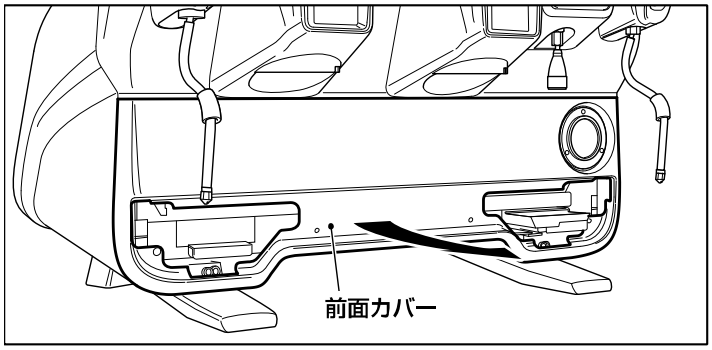
2. 前面カバーを固定しているネジを取り外して、前面カバーを取り外してください

前面カバーを固定しているネジ4本を取り外してください。



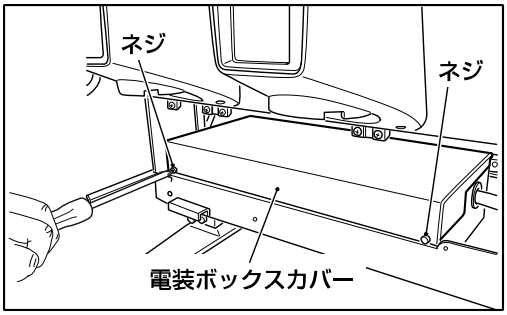
3. 前面カバーを取り外してください

前面カバーは、下側を少し手前に引きながら、下側にずらすようにして取り外してください。

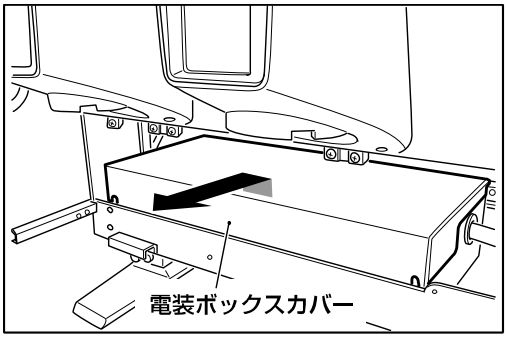


4. 電装ボックスのカバーを取り外してください

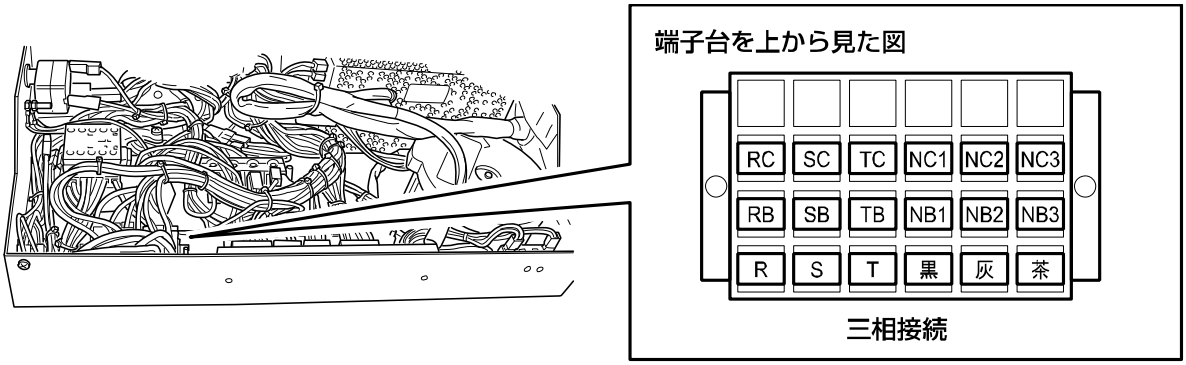
電装ボックスのカバーを固定している2本のネジを取り外してください。



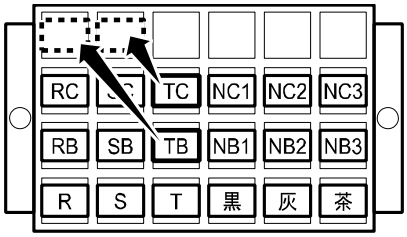
電装ボックスのカバーは、手前側を少し上に持ち上げながら、手前に引いて取り外してください。



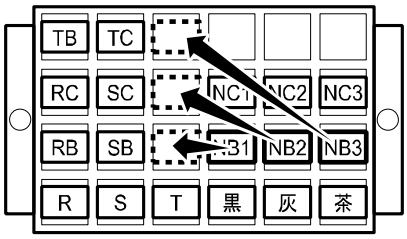
5. 電装ボックス内の左手前側にある中継端子台の配線を変更してください



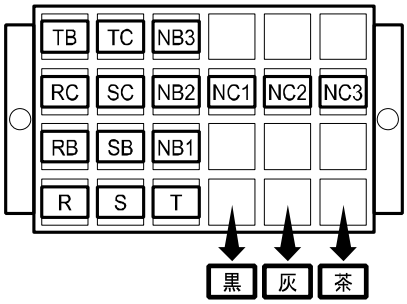
ファストン端子「TC」と「TB」を右図のように接続を変更してください。



ファストン端子「NB1」、「NB2」、「NB3」を右図のように接続を変更してください。



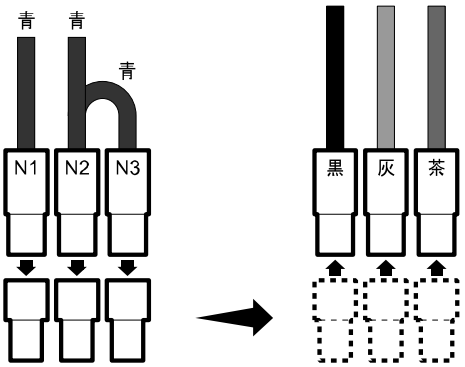
ファストン端子「黒」、「灰」、「茶」を右図のように端子台から取り外してください。



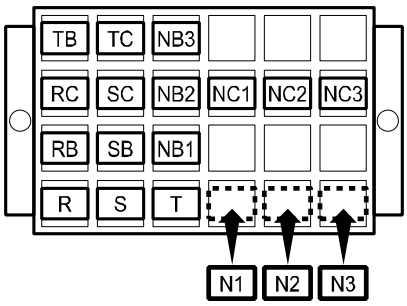
端子台の手前周辺にある単相用の配線(青色)「N1」、「N2」、「N3」を引き出して、先端の半透明キャップを取り外してください。

取り外した半透明キャップは、先に端子台から取り外したファストン端子「黒」、「灰」、「茶」に取り付けてください。

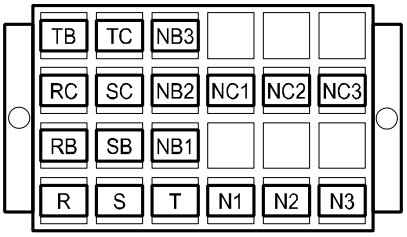
ファストン端子「黒」、「灰」、「茶」は、端子台の左側に他の配線の邪魔にならないように収納してください。



端子台にファストン端子「N1」、「N2」、「N3」を右図のように接続してください。



右図のように、ファストン端子が端子台に接続されていることを確認してください。



単相接続

6. 電装ボックスにカバーを元通りに取り付けてください

お願い

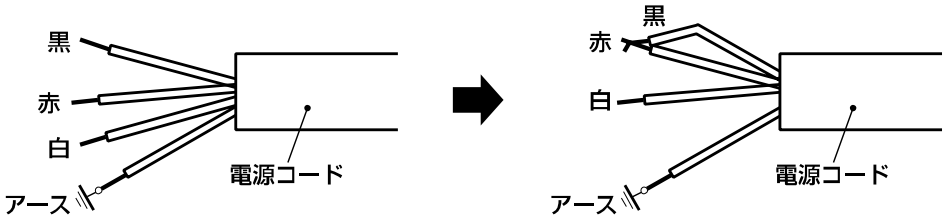
電装ボックスのカバーを取り付けるときは、周囲の配線やチューブなどを挟み込まないようにしてください。
配線やチューブなどを挟み込みますと、故障の原因になります。

電装ボックスのカバーを取り外した2本のネジで固定してください。

7. 本機の前面カバーを元通りに取り付けてください

取り外した４本のネジで前面カバーを固定してください。

8. 電源コードの黒線と赤線の心線を束ねてください



三相接続　　単相接続

9. 電源コードを専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーなどに直接接続してください

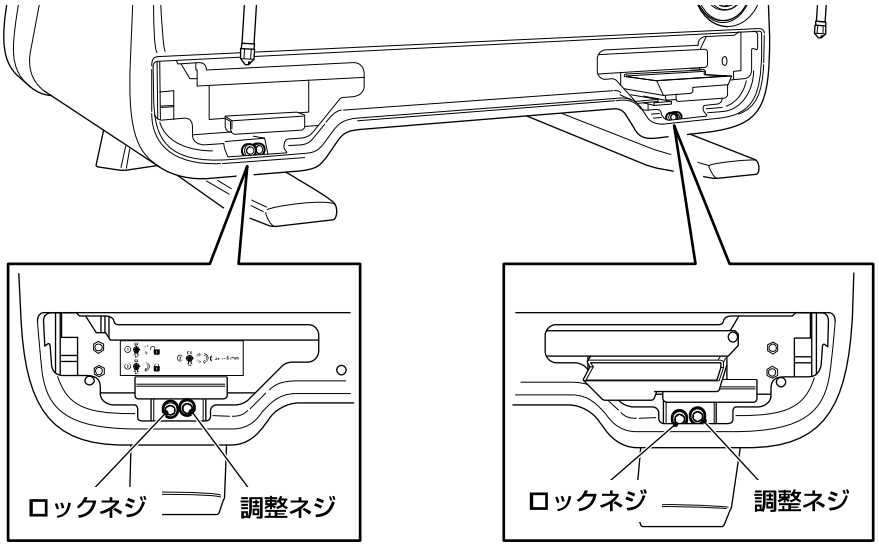
本機を水平にする

本機を設置場所に据え付けた後、本機が水平になっているかを確認してください。

水平になっていない場合、本機の手前側は、左右にある調整ネジを回して脚の高さを調整し、後側は、左右のアジャスト脚を回して脚の高さを調整し、本機を水平にしてください。
　調整ネジの左側のネジは、ロックネジになっています。

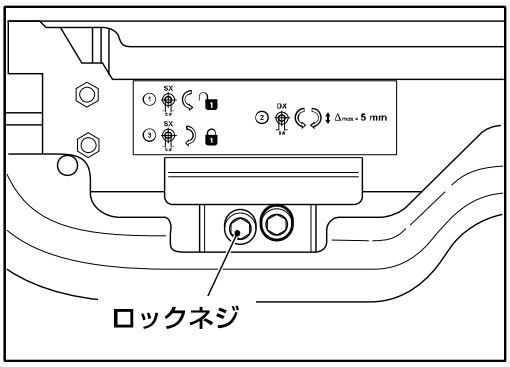
脚の高さを調整するときは、以下の手順でおこなってください。

本機手前側の高さ調整方法



1. ロックネジを反時計方向に回して緩めてください

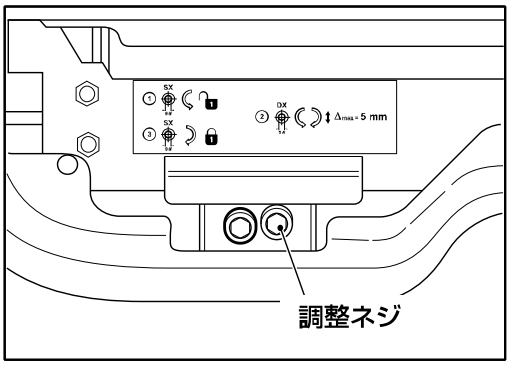
必ず、ロックネジを先に緩めてください。



2. 調整ネジを回して脚の高さを調整し、本機を水平にてください

調整ネジは反時計方向に回すと低くなり、時計方向に回すと高くなります。

脚の高さの調整幅は5㎜です。



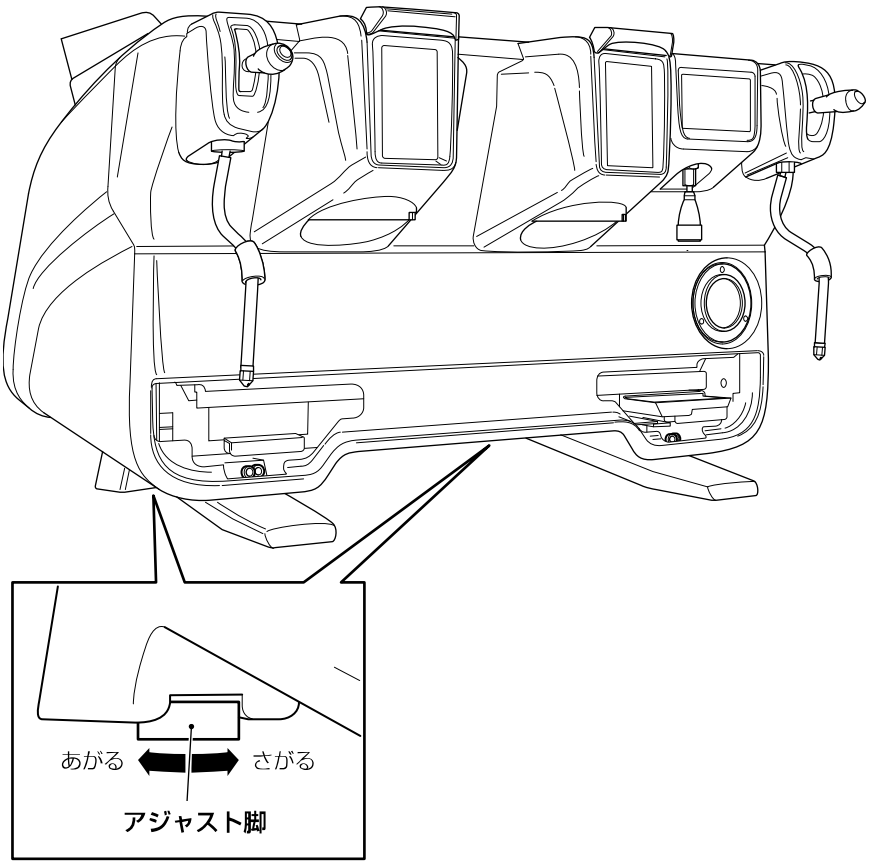
3. 本機が水平になりましたら、ロックネジを時計方向に回して締め付けてください

調整後は、必ずロックネジを締め付けて固定してください。

本機奥側の高さ調整方法

本機奥側脚部分にあるアジャスト脚を回して本機を水平にしてください

アジャスト脚の高さの調整幅は5㎜です。



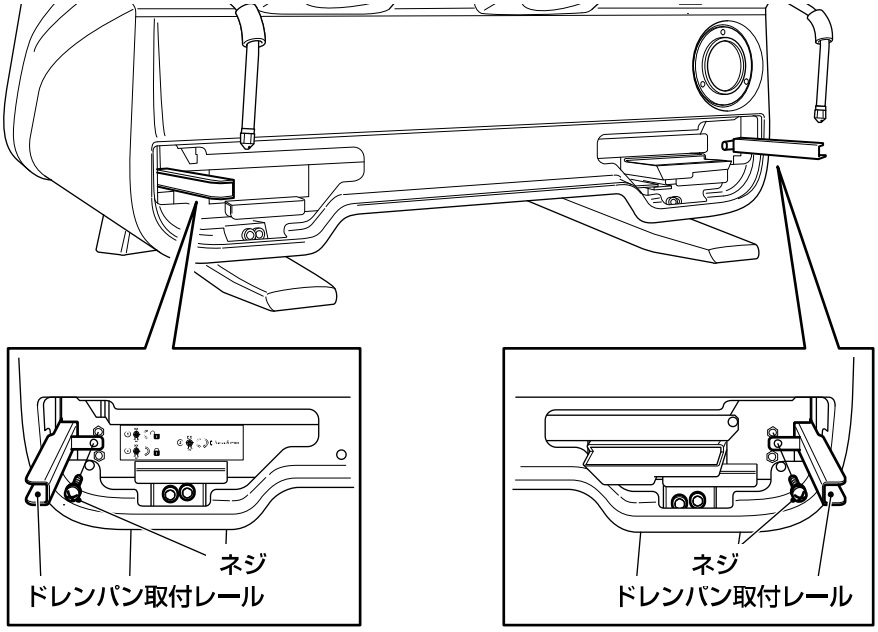
ドレンパンとドレンプレートの取り付け方法

本機を据付けた後は、以下の手順でドレンパンとドレンプレートを取り付けてください。

1. 付属品の箱に入っているドレンパン取付レール2本を取り付けてください

下図のように本機の左右両方に付属のドレンパン取付レール2本を本体に差し込んでください。
2本のドレンパン取付レールは同じものですが、差し込む方向を間違えないようにしてください。

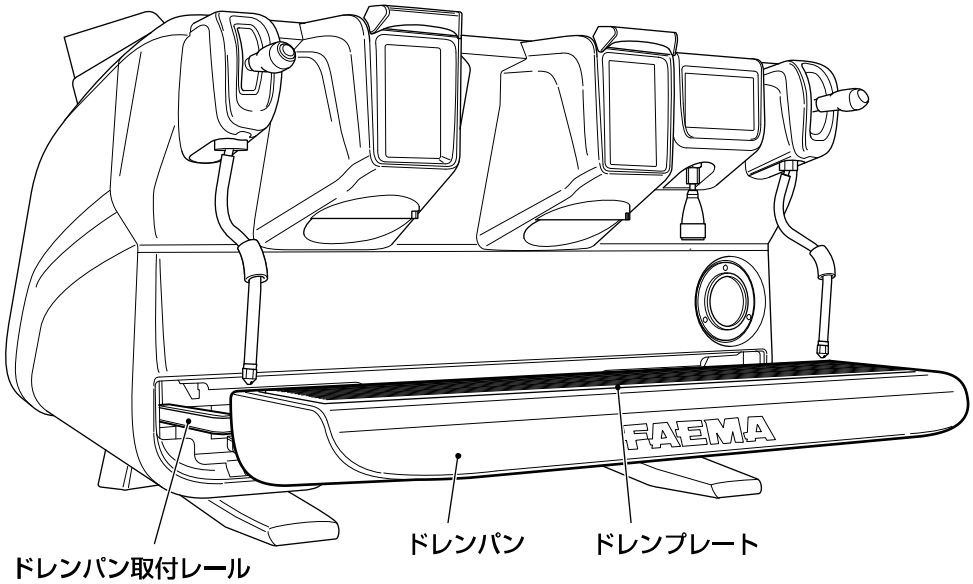
本機にドレンパン取付レールを差し込んだ後、ネジで固定してください。



2. 取り付けたドレンパン取付レールにドレンパンをはめ込んで取り付けてください

ドレンパンにドレンプレートを取り付けた状態で、本機に取り付けてください。

ドレンパンは、左右両端の下部分を持って、しっかり奥まではめ込んでください。



据付後の動作確認

1. 水道栓と浄水器の栓を開いてください

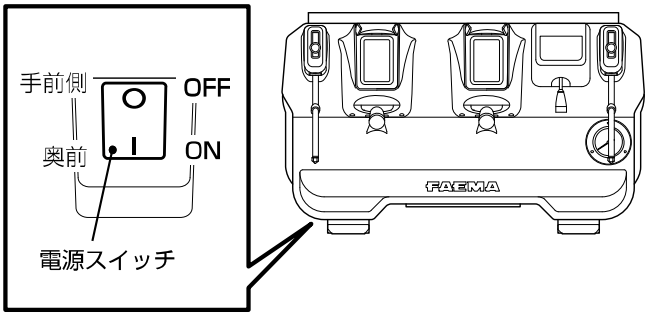
2. 本機専用電源（漏電遮断機付サーキットブレーカー）を「ON（入）」にしてください

3. 本機左下部にある電源スイッチを「ON（入）」にしてください

電源スイッチ（緑）とLED照明が点灯し、全てのタッチパネルが表示され、ウォーミングアップを開始します。

ウォーミングアップとは、本機の電源スイッチをONにしたとき、ボイラータンクへ自動給水し、ボイラータンク内の水を加熱する一連の動作のことです。

約15分経過すると、ボイラータンクの湯が沸きます。



メモ

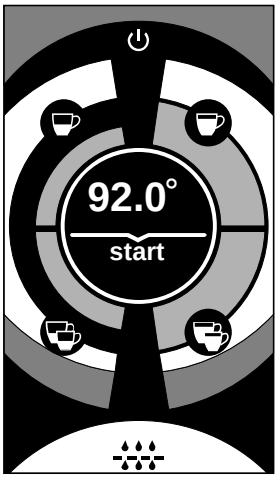
ウォーミングアップ中に、エスプレッソ抽出アイコンや、熱湯取出しアイコンをタップしても右のような画面が表示され、動作しません。
ただし、エスプレッソ抽出タッチパネルの『スタート/ストップ』アイコンをタップする、または『エスプレッソ抽出レバー』を操作すると、抽出動作はしますが、エスプレッソ抽出器からは、ぬるいお湯が出てきます。
　ウォーミングアップが完了するまでお待ちください。

ウォーミングアップ中、本機から「カチ、カチ」という音がしますが、これは本機内部の電磁弁が開閉する音で異常ではありません。

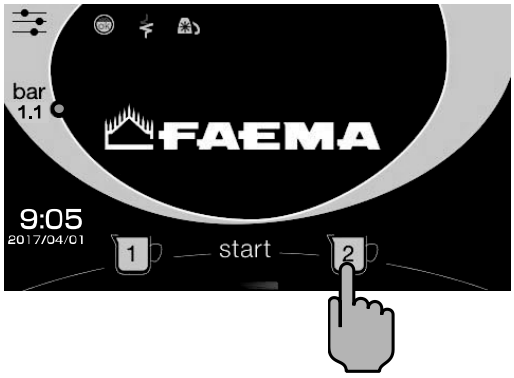
⚠ 警 告

メインタッチパネルのメインボイラー圧力の表示が1.6bar以上になるときは電源スイッチを切ること
メインボイラー圧力の適正範囲は1.0～1.4barです。

4. エスプレッソ抽出タッチパネルの各エスプレッソ抽出アイコンをタップして、エスプレッソ抽出器から熱湯が出ることを確認してください



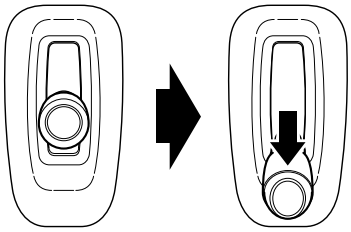
5. メインタッチパネルの『熱湯取出し1』や『熱湯取出し2』アイコン、『熱湯スタート』アイコンをタップして、熱湯ノズルから熱湯が出ることを確認してください



6. 各『蒸気レバー』を操作して、それぞれの蒸気ノズルから蒸気が出ることを確認してください

確認後は、『蒸気レバー』を戻して、蒸気を止めてください。

本機の左右にある蒸気ノズルとも確認してください。



7. 電源を切るときは、本体左下部の電源スイッチを「OFF（切）」にし、本体専用電源（漏電遮断機付サーキットブレーカー）も「OFF（切）」にしてください

8. 水道栓と浄水器の栓を閉じてください

これで据付け完了です。

仕様

品名	エスプレッソコーヒーマシン 【ファエマ】	
型式	E71GTI A/2	E71GTI A/3
タイプ	エスプレッソ2連+蒸気2連+熱湯	エスプレッソ3連+蒸気2連+熱湯
外形寸法	幅 794・奥行 614・高さ 485mm (突起物を含む 奥行 654・高さ 555mm)	幅 1034・奥行 614・高さ 485mm (突起物を含む 奥行 654・高さ 555mm)
電源	三相 200V 50 / 60Hz【単相も可能】	
電流	19A【単相時 26.5A】	19.5A【単相時 32A】
消費電力	5.3kW	6.4kW
質量	75kg	91kg
メインボイラー容量	7L	7L
コーヒーボイラー容量	0.6L×2	0.6L×3
エスプレッソ抽出能力	320杯/h 30mL/1杯で2杯取り2連時	480杯/h 30mL/1杯で2杯取り3連時
カプチーノ抽出能力	スチームノズルを使用してミルクを泡立てることができます。	
熱湯取出能力	30L/h	30L/h
蒸気取出能力	連続	
コーヒー抽出温度	約85℃（抽出湯温設定可能 60～100℃）	
熱湯温度	約75～95℃（温度調節可能）	
昇温時間	約15分（水温により多少異なります。）	
給水設備	給水栓：G1/2 オスネジ	
水道圧力	0.15～0.60MPa	
電源コード	3.5mm² 4心 長さ 2m 外径φ14mm	

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

		A/2	A/3
付属品	エスプレッソ抽出容器（2人用）	2個	3個
	エスプレッソ抽出容器（1人用）	1個	1個
	エスプレッソフィルター（2人用）	2個	3個
	エスプレッソフィルター（1人用）	1個	1個
	タンパー	1個	1個
	粉計量カップ	1個	1個
	洗浄ブラシ（エスプレッソ抽出器洗浄用）	1個	1個
	エスプレッソ抽出器洗浄キャップ	2個	3個
	洗浄漂白剤「バブルクリーン 240g」	1個	1個
	ウエス	1枚	1枚
	取扱説明書（商品保証書付）	1冊	1冊

エフ･エム･アイ商品保証書

《本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。保証期間経過後の修理等につきましては、お買上げ店にご相談ください。》

保証期間

保証の効力は、商品お買上げと同時に発生いたします。
その期間は、１年間有効とし、機器本体を対象とします。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常なご使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、お買上げ店へご連絡ください。弊社にて「**無料修理**」いたします。
2. 無料修理を受ける場合は、お買上げ店にご依頼のうえ、出張修理に際しまして本書をご呈示ください。
3. 保証期間内でも次の場合には「**有料修理**」となります。
   1）ご使用上の誤り、および製品の改造や不当な修理により発生した故障および損傷。
   2）火災、地震、風水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧その他の外部要因による故障および損傷。
   3）車輌、船舶に搭載して使用された場合の故障および損傷。
   4）お買上げ後の転倒、落下や取付場所の移動などによる故障および損傷。
   5）本書の提示がない場合。
   6）本書にお客様名、お買上げ年月日、お買上げ店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   7）指定外の使用電源（電圧、周波数）の使用による故障および損傷。
   8）本書は日本国内においてのみ有効です。
   9）消耗部品（”O”リング、パッキン、チューブ）は、保証の対象範囲から除外させていただきます。

※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げ店にお問い合わせください。

修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）

当社では、本製品の修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を販売打ち切り後５年とさせていただいております。
修理対応期間（補修用性能部品の保有期間）を終了している場合は、修理のご依頼をお受けできないことがあります。

<table>
<tr><td colspan="2">品　　名</td><td colspan="3">エスプレッソコーヒーマシン【ファエマ】</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">型　　式</td><td>□ E71GTI A/2</td><td rowspan="2">製造番号</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>□ E71GTI A/3</td></tr>
<tr><td rowspan="2">お客様</td><td>ご 芳 名</td><td colspan="3">様</td></tr>
<tr><td>ご 住 所</td><td colspan="3">〒　　TEL.　　（　　）</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買上げ店</td><td colspan="3">店名・住所</td></tr>
<tr><td colspan="2">お買上げ日</td><td>年　　月　　日</td><td>無料修理保証期間</td><td>お買上げ日より１年間</td></tr>
</table>

株式会社エフ・エム・アイ

東　京		〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号	Tel.03(5561)6521
大　阪		〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号	Tel.06(6969)9393
営業所	札　幌	〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号	Tel.011(813)8651
	仙　台	〒983-0034 仙台市宮城野区扇町2丁目1番9号	Tel.022(238)5711
	名古屋	〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地	Tel.052(361)7891
	広　島	〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号	Tel.082(876)1855
	福　岡	〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号	Tel.092(481)2931
出張所	北　陸	〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号	Tel.076(243)7810
	沖　縄	〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号	Tel.098(870)2766
サービスステーション	盛　岡	〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号	Tel.019(648)5390
	四　国	〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1	Tel.0875(57)5161
	鹿児島	〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号	Tel.099(263)8281
東京修理工場		〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号	Tel.03(5819)1280

ホームページ　http://www.fmi.co.jp/

PA

Copyright (C) 2017 FMI Corporation. All Rights Reserved.